

2014年度

歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学分野	1
口腔解剖学分野	4
生理学分野	7
口腔小児科学分野	9
歯科矯正学分野	15
口腔生物再生医工学講座	
生化学分野	22
微生物学分野	24
歯周病学分野	26
基礎生物学分野	33
基礎化学分野	34
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学分野	36
歯科補綴学分野(有床義歯)	38
歯科補綴学分野(クラウンブリッジ)	41
保存治療学分野	46
オーラル・リハビリテーション学分野	49
病態診断治療学講座	
病理学分野	52
薬理学分野	55
総合臨床歯科学分野	62
歯科放射線学分野	65
口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)	68
口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)	72
歯科麻酔学分野	75
歯科法医学分野	81
社会健康科学講座	
口腔衛生学分野	83
スポーツ歯学分野	88
障がい者歯科学分野	91
基礎数学・統計学分野	92
総合臨床医学講座	
内科学分野	93
特別研究室	
M P L	94

形態機能成育学講座

解 剖 学 分 野

口 腔 解 剖 学 分 野

生 理 学 分 野

口 腔 小 児 科 学 分 野

齒 科 矯 正 学 分 野

解剖学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 天野 修: 6-V 歯と歯肉の脈管 In: 脇田 稔, 前田健康, 中村浩彰, 網塚憲生編, 口腔組織・発生学 第2版, 医歯薬出版. pp211-215. 2015年2月
- 2) 天野 修: 9-III 唾液腺 In: 脇田 稔, 前田健康, 中村浩彰, 網塚憲生編, 口腔組織・発生学 第2版, 医歯薬出版. pp270-282. 2015年2月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sekine S, Shimodaira C, Uesawa Y, Kagaya H, Kanda Y, Ishihara M, Amano O, Sakagami H, Wakabayashi H: Quantitative structure-activity relationship analysis of cytotoxicity and anti-UV activity of 2-aminotropones. *Anticancer Res*, 34(4): 1743-1750. 2014. 4
- 2) Bando Y, Yamamoto M, Sakiyama K, Inoue K, Takizawa S, Owada Y, Iseki S, Kondo H, Amano O: Expression of epidermal fatty acid binding protein (E-FABP) in septoclasts in the growth plate cartilage of mice. *J Mol Histol*, 45(5): 507-518. 2014. 5
- 3) Yamada T, Sasaki A, Bando Y, Sakiyama K, Suda N, Kanegae H, Amano O: Immunolocalization of heat shock protein 25 (Hsp25) in developing secondary plate of mouse embryos. *Ped Oral Maxillofac Surg*, 24(1): 27-37. 2014. 6
- 4) Mizobe K, Kawabe Y, Bando Y, Sakiyama K, Araki H, Amano O: Localization of Hsp27 in the rat submandibular gland following the application of various surgical treatments. *Acta Histochem Cytochem*, 47(6): 255-264. 2014. 12
- 5) Tokunaga H, Bando Y, Sakiyama K, Amano O: Localization and roles of hepatocyte growth factor (HGF) in development and disappearance of mouse Meckel's cartilage. *J Meikai Dent Med*, 44(1): 74-86. 2015. 1
- 6) Inoue K, Bando Y, Sakiyama K, Takizawa S, Sakashita H, Kondo H, Amano O: Development and regression of the thyroglossal duct in mice. *Ann Anat*, 200: 54-65. 2015. 1

2. 総説

- 1) 崎山浩司, 天野 修: 総義歯治療のための機能解剖学. *日本歯科医師会雑誌*, 67(12): 31-40. 2015年3月

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Amano O: History of KENTAI: the body donation system of Japan. International Anatomical Sciences and Cell Biology Conference 2014, Hualien, Taiwan. 2014.12

(3) 一般演題

- 1) Bando Y, Sakiyama K, Amano O: Expression of Epidermal Type-Fatty Acid-Binding Protein in Septoclasts in Mouse Growth Plates. International Anatomical Sciences and Cell Biology Conference 2014, Hualien, Taiwan. 2014. 12

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 川邊好弘, 溝部健一, 天野 修: 外科的刺激後のラット顎下腺筋上皮細胞の形態変化. 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡市, 2014年9月

(3) 一般演題

- 1) 崎山浩司: IGF-1 遺伝子を導入した筋細胞の影響. 第23回明海歯科医学会学術大会, 坂戸市, 2014年6月
- 2) 崎山浩司, 坂東康彦, 川邊好弘, 坂下 英, 天野 修: 成長因子と irisin との関連. 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡市, 2014年9月
- 3) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 天野 修: ビタミン A・レチノイン酸の過剰・欠乏がマウス成長板軟骨の septoclast に及ぼす影響. 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡市, 2014年9月
- 4) 佐々木会, 長谷川尚哉, 坂上 宏, 天野 修, 安達一典, 須田直人: 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルの薬理学的評価. 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡市, 2014年9月
- 5) 坂上 宏, 嶋田智哉子, 神田由未子, 天野 修, 杉本昌弘, 高尾浩一, 杉田義昭: (E)-3-(4-Hydroxystyryl)-6-methoxy-4H-chromen-4-one のヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する選択毒性の解析. 第131回日本薬理学会関東部会, 横浜市, 2014年10月
- 6) Sakiyama K, Bando Y, Kawabe Y, Sakashita H, Amano O: Insulin-growth factor 1 affects the expression of irisin. 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会第92回日本生理学会大会合同大会, 神戸市, 2015年3月
- 7) Bando Y, Sakashita H, Kawabe Y, Sakiyama K, Yamamoto M, Iseki S, Owada Y,

- Amano O: Influence by excess and deficiency of retinoic acids on septoclasts in the epiphyseal plate of mice. 第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会 第 92 回日本生理学会大会合同大会, 神戸市, 2015 年 3 月
- 8) Kawabe Y, Mizobe K, Bando Y, Sakiyama K, Amano O: Morphological changes of myoepithelial cells in the rat submandibular gland following the partial or total sialoadenectomy. 第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会 第 92 回日本生理学会大会合同大会, 神戸市, 2015 年 3 月
- 9) Sakashita H-D, Bando Y, Sakiyama K, Kawabe Y, Owada Y, Sakashita H, Amano O: Immunolocalization of E-FABP in Meckel's cartilage of mice. 第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会 第 92 回日本生理学会大会合同大会, 神戸市, 2015 年 3 月
- 10) Sakagami H, Shimada C, Kanda Y, Amano O, Sugimoto M, Takao K, Sugita Y: Metabolic profiling of 3-styrylchromone-induced cytotoxicity in an oral squamous cell carcinoma cell line. 第 88 回日本薬理学会年会, 名古屋市, 2015 年 3 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学. 歯科医師生涯研修 (インプラントベーシックプログラム 10 日間コース、新宿), 東京, 2014 年 4 月
- 2) 崎山浩司: スペイン留学先で研究した『下顎隆起の起源は何?』について. 東京歯科大学解剖学講座 OB 会総会, 東京, 2014 年 8 月
- 3) 天野 修: 解剖学者メッケル一族とメッケル軟骨. 明海大学歯学部図書館第 3 回レアブック展示会トークショー, 坂戸市, 2015 年 2 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C)

- 1) 天野 修: 軟骨吸収における脂肪酸と脂肪酸結合タンパク質の役割

口腔解剖学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Hayashida C, Ito J, Nakayachi M, Okayasu M, Ohyama Y, Hakeda Y, and Sato T :
Osteocytes produce interferon- β as a negative regulator of osteoclastogenesis. *The Journal of Biological Chemistry*, 289(16), 11545-11555. 2014, 4.
- 2) 三島弘幸, 門田理佳, 尾崎真帆, 服部淳彦, 鈴木信雄, 筧光夫, 松本敬, 池亀美華, 見明康雄 : メラトニン投与による象牙質の組成や組織構造の変化に関する分析学的及び組織学的研究. *日本再生歯科医学会誌*, 12, 11-22, 2014年12月
- 3) Ohtake K, Nakano G, Ehara N, Sonoda K, Ito J, Uchida H, and Kobayashi J :
Dietary nitrite supplementation improves insulin resistance in type 2 diabetic KKA(y) mice. *Nitric Oxide*, 44, 31-38. 2015, 1.
- 4) Nakayachi M, Ito J, Hayashida C, Ohyama Y, Kakino A, Okayasu M, Sato T, Ogasawara T, Kaneda T, Suda N, Sawamura T, and Hakeda Y : Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1 abrogation causes resistance to inflammatory bone destruction in mice, despite promoting osteoclastogenesis in the steady state. *Bone*, doi: 10.1016/j.bone.2015.02.025. 2015, 3.

C. その他の刊行物など

- 1) 林田千代美, 羽毛田慈之 : 一からわかる骨組織-解剖学からインプラントまで-骨細胞と骨組織. *DENTAL DIAMOND*, 39(5), 14-19. 2014年4月

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Mishima H, Hattori A, Suzuki N, Kakei M, Matsumoto T, and Miyake Y :
Histological and analytics studies on the formation and composition of the incremental lines of rat dentin by melatonin medication. 41st European Symposium on Calcified Tissues. Praha, Czech. 2014, 5.
- 2) Kakei M, Sakae T, Mishima H, and Yoshikawa M : Fluoride exposure accelerates the development of postmenopausal osteoporosis: Animal model. 41st European Symposium on Calcified Tissues. Praha, Czech. 2014, 5.

(3) 一般演題

- 1) Sato T, Hayashida C, Ito J, Nakayachi M, Ohyama Y, and Hakeda Y : Osteocytes Produce Interferon- β as a Negative regulator of Osteoclastogenesis. 36th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. Houston, Texas, USA. 2014, 9.

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 佐藤卓也, 林田千代美, 羽毛田慈之 : 骨細胞による破骨細胞分化に対する負の制御. 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, サテライトシンポジウム14. 福岡, 2014年9月

(3) 一般演題

- 1) 中島由加里, 内田博之, 大竹一男, 伊東順太, 小林順 : 絶食による廃用性腸管粘膜萎縮に及ぼす非消化物質摂食のNOSを介した改善効果. 第14回日本NO学会学術集会. 佐賀. 2014年5月
- 2) 伊東順太 : 炎症性骨破壊におけるRANKLの発現に対するlectin-like oxidized LDL receptor-1 (LOX-1)の役割に関する研究. 明海歯科医学会第23回学術大会. 坂戸, 埼玉. 2014年6月
- 3) 中谷地舞, 伊東順太, 岡安麻里, 須田直人, 羽毛田慈之 : レクチン様酸化LDL受容体-1 (LOX-1)欠損マウスは骨量を減少させるが炎症性骨吸収に抵抗を示す. 第73回日本矯正歯科学会大会. 幕張, 千葉. 2014年10月
- 4) 中島由加里, 内田博之, 大竹一男, 伊東順太, 小林順 : 絶食ラット腸管粘膜における非消化物質摂取による物理的刺激の役割. 第14回日本食物繊維学会学術集会. 東京. 2014年11月
- 5) 筧光夫 : 生体アパタイト結晶の電顕観察. 東京大学バイオミネラルワークショップ. 千葉. 2014年12月
- 6) 三島弘幸, 門田理佳, 尾崎真帆, 服部淳彦, 鈴木信雄, 筧光夫, 松本敬, 池亀美華, 見明康雄 : 生体リズム同調因子メラトニンが象牙質の組織構造や成長線周期に及ぼす影響. 東京大学バイオミネラルワークショップ. 千葉. 2014年12月
- 7) 三島弘幸, 尾崎真帆, 門田理佳, 服部淳彦, 鈴木信雄, 筧光夫, 松本敬, 見明康雄, 池亀美華, 見明康雄 : Histological and analytics studies on the role of melatonin in the structure and composition of teeth dentin. 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会. 神戸, 兵庫. 2015年3月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 基盤研究 (B) 羽毛田慈之 (代表) : 炎症性骨疾患の骨吸収への脂質の役割—特に酸LDL 受容体LOX-1 の役割を探る—. 2014 年度.
- 2) 挑戦的萌芽 羽毛田慈之 (代表) : 酸化LDL受容体LOX-1を標的分子とした新規歯周病治療法の確立を目指して. 2014年度.
- 3) 若手研究 (B) 伊東順太 (代表) : 炎症によって惹起される骨芽細胞のLOX-1依存的RANKL発現機構の解明. 2014年度.

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 宮田研究奨励金 (A) 林田千代美 : 破骨細胞が産生する非液性タンパク質 keratoepithelin の骨吸収・骨形成カップリングファクターとしての機能解析. 2014 年度.

生理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 第 15 章 嗅覚. In: 基礎歯科生理学 (第 6 版). 森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 (編), 村本和世, 2014 年 2 月, 医歯薬出版, 東京, pp292-298
- 2) 第 22 章 味覚. In: ビジュアル生理学・口腔生理学 (第 3 版). 和泉博之・浅沼直和 (編), 村本和世・外崎肇一, 2014 年 3 月, 学建書院, 東京, pp310-317
- 3) 第 3 章 筋と運動. In: ビジュアル生理学・口腔生理学 (第 3 版). 和泉博之・浅沼直和 (編), 村本和世・外崎肇一, 2014 年 3 月, 学建書院, 東京, pp26-39
- 4) 第 4 章 感覚. In: ビジュアル生理学・口腔生理学 (第 3 版). 和泉博之・浅沼直和 (編), 村本和世・外崎肇一, 2014 年 3 月, 学建書院, 東京, pp40-67

2. 訳本

- 1) 第 1 章: 序説・唾液腺の解剖と生理機能. In: 唾液・歯と口腔の健康 (原著第 4 版). 渡部茂監訳, 村本和世, 2014 年 10 月, 医歯薬出版, 東京, pp1-14

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Cytoarchitecture-Dependent Decrease in Propagation Velocity of Cortical Spreading Depression in the Rat Insular Cortex Revealed by Optical Imaging., "Fujita S, Mizoguchi N, Aoki R, Cui Y, Koshikawa N and Kobayashi M", 2015, 1, Cereb Cortex. [Epub ahead of print]

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 匂い・臭い・香りーニオイのもたらす多様な世界, 村本和世, 2014 年 3 月, 日本咀嚼学会「健康咀嚼指導士・平成 26 年度フォローアップセミナー」, 東京医科歯科大学, 東京

(2) シンポジウム

- 1) 島皮質における化学感覚の統合機構, 溝口尚子, 小林真之, 村本和世, 2014 年 9 月, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会 (サテライトシンポジウム), 福岡

(3) 一般演題

- 1) マウス顎下腺に存在するマイクロ RNAs の性ホルモンによる発現調節: DHT 依存性の疾患を標的にするバイオマーカーとしての可能性, 栗原琴二, 中西信夫, 友村明

- 人, 村本和世, 2014 年 3 月, 第 91 回日本生理学会大会, 鹿児島
- 2) 歯根膜刺激に応答する大脳皮質領域生理学的特性 Intracortical interaction evoked by periodontal ligament nociception in rat., "Minoda A, Mizoguchi N, Suda N, Muramoto K.", 2015 年 3 月, 第 92 回日本生理学会大会・第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会・合同大会
 - 3) 唾液マイクロ RNA のバイオマーカーとしての可能性, 栗原琴二, 村本和世, 2014 年 12 月, 第 59 回日本唾液腺学会, 東京
 - 4) 唾液腺の分泌機構に依存したマイクロ RNA パターンによるバイオマーカーとしての唾液の可能性, 栗原琴二, 村本和世, 2015 年 3 月, 第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 92 回日本生理学会大会・合同大会, 神戸国際会議場・展示場, 神戸
 - 5) 無顆粒島皮質における味覚および嗅覚情報の統合 The integration of gustatory and olfactory information in the agranular insular cortex, "Mizoguchi N, Kobayashi M, Muramoto K.", 2014 年 3 月, 第 91 回日本生理学会大会, 鹿児島

E. その他の研究会、講演など

- 1) イメージング法を用いたラット・マウスでの化学研究の統合機構の研究, 村本和世, 2014 年 10 月, 第 2 回ケモビ研究会 (Chemosensory and Behavior Workshop 2014), 箱根 (神奈川県)
- 2) 五感を使っておいしく食べよう! 村本和世, 2014 年 10 月, 2014 年度明海大学歯学部公開講座「食事をず〜っと「おいしく」食べるには?」, 明海大学坂戸キャンパス (埼玉県坂戸市)
- 3) 子どもの嚥下のしくみと異常, 村本和世, 2014 年 11 月, 埼玉県小児保健協会第 82 回研究会 (テーマ: 口腔が支える子どもの全身の健康), 埼玉県さいたま市
- 4) 明海大学歯学部公開講座「食事をず〜っと『おいしく』食べるには?」紹介, 村本和世, 2014 年 11 月, 生活情報番組 Gogo Tama (ごごたま), テレビ埼玉, 埼玉県さいたま市

口腔小児科学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 渡部 茂 : 17 小児への投薬 : よく・わかる 歯科用薬剤ガイド 症例別処方プログラム, 一般社団法人 日本歯科薬物療法学会編. デンタルダイヤモンド社, 東京, pp126 - 131, 2014 年 6 月
- 2) 渡部 茂 : E 健康医学 乳幼児健診 9. 歯科健診 : 小児科研修ノート改訂第 2 版, 永井良三総監修, 五十嵐 隆責任編集. 診断と治療社, 東京, pp334 - 336, 2014 年 7 月
- 3) 渡部 茂, 渡辺幸嗣 : 2. 心身の発育 : 新・歯科衛生士マニュアル 小児歯科学, 木村光孝, 牧 憲司, 渡部 茂, 他編集. クインテッセンス出版, 東京, pp16-33, 2014 年 12 月

2. 訳本

- 1) 渡部 茂 監訳 : 唾液 歯と口腔の健康, M. Edgar, C. Dawes, D. O' Mullane 編著, Saliva and Oral Health 第 4 版, 医歯薬出版, 2014 年 10 月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 大橋英夫, 小口寛子, 山田亜由子, 鈴木 亮, 片海智子, 沖殿ちひろ, 荻原 孝, 渡辺幸嗣, 渡部 茂 : 小児歯科における表面麻酔剤使用に関する実態調査, 明海歯科医学, 43, 155-159, 2014 年 9 月
- 2) 駒澤大悟, 松井成幸, 小口寛子, 梅崎栄作, 渡部 茂 : 急速拡大装置併用における上顎前方牽引時の縫合部に生じる力学的解析 - 三次元有限要素法 -, 明海歯科医学, 43, 160-168, 2014 年 9 月
- 3) 吉田美香子, 鈴木正二, 小口寛子, 鈴木 亮, 小野義晃, 高森一乗, 渡部 茂 : 血液透析療法前後の唾液分泌速度と pH ならびに成分変化について, 明海歯科医学, 44, 87-91, 2015 年 2 月
- 4) Matsui S, Umezaki E, Komazawa D, Otsuka Y and Suda N: Evaluation of mechanical properties of esthetic brackets, Journal of Dental Biomechanics, 6, 1-7, 2015.3
- 5) Watanabe K, Tanaka T, Maki K, Nakashima H and Watanabe S: Amount of Calcium Elution and Eroded Lesion Depth in Bovine Enamel Derived from Single Short Time Immersion in Carbonated Soft Drink in Vitro, Open Journal of Stomatology,

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Komazawa D, Matsui S, Umezaki E and Watanabe S: Stress analysis when torque is loaded onto maxillary anterior teeth from brackets of different materials, 9th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Singapore, Shingapore, 2014.8
- 2) Watanabe K, Tanaka T, Ogihara T and Watanabe S: Depth of erosive lesion due to carbonated soft drink intake -In vitro study-, The 11th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistry, Beijing, China, 2014.9
- 3) Adachi K, Hino S, Odai R, Shimoyama T, Sakagami H, Lavigne GJ and Sessle BJ: Glycine mediated jaw-opening reflex excitability in rats, Neuroscience 2014, Washington DC, USA, 2014.11
- 4) Ogihara T, Nakamura A, Watanabe K and Watanabe S: The effect of zinc on enamel remineralization, 93rd General Session & Exhibition of the IADR, Boston, USA, 2015.3
- 5) Oguchi H and Watanabe S: Influence of Tongue Movements on Masticatory Muscle Activity, 93rd General Session & Exhibition of the IADR, Boston, USA, 2015.3

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 渡部 茂: 子どもの健診でわかることわからないこと, 第7回日本健康医療学会 学術集会市民公開講座, 千葉, 2014年12月

(3) 一般演題

- 1) 高橋昌司, 山田亜由子, 三木崇裕, 荻原 孝, 渡部 茂: 牽引困難であった萌出不全中切歯に対し外科的挺出を試みた1例, 第52回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014年5月
- 2) 駒澤大悟, 江田康輔, 渡部 茂: 急速拡大装置併用における上顎前方牽引時に生じる力学的解析 - 三次元有限要素法 -, 第52回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014年5月
- 3) 大橋英夫, 池田英史, 黒下礼奈, 沖殿ちひろ, 小口寛子, 荻原 孝, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 表面麻酔剤の使用に関する調査, 第52回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014年5月
- 4) 中村昭博, 佐藤智之, 春藤真知子, 八木 茜, 大場英和, 渡辺泰平, 渡辺幸嗣,

- 高橋昌司, 村本和世, 渡部 茂: オレンジジュース飲用時における口腔内唾液 pH のモニタリング, 第 52 回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014 年 5 月
- 5) 渡辺泰平, 市川智久, 木村明子, 中村昭博, 沼倉春美, 吉原幸司郎, 渡辺幸嗣, 村本和代, 渡部 茂: 睡眠中の口腔内唾液 pH のモニタリング, 第 52 回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014 年 5 月
- 6) 小口寛子, 福島理恵, 中村徳三, 鈴木 亮, 駒澤大悟, 渡部 茂: 舌運動制限時の咀嚼能率および筋活動, 第 52 回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014 年 5 月
- 7) 棚瀬康介, 駒澤大悟, 鈴木 亮, 片海智子, 渡部 茂: 舌位の違いにおける口腔周囲筋の筋電図に対する考察, 第 52 回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014 年 5 月
- 8) 吉原幸司郎, 棚瀬康介, 江田康輔, 池田英史, 川上詠理, 吉田美香子, 鈴木 昭, 渡部 茂: 当科における上顎過剰歯の臨床統計的検討, 第 52 回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014 年 5 月
- 9) 駒澤大悟, 荻原 孝, 江田康輔, 吉原幸司郎, 渡部 茂: 小児におけるガム咀嚼前後の口腔内細菌数の変化, 第 61 回日本小児保健協会学術集会, 福島, 2014 年 6 月
- 10) 尾台令奈, 荻原 孝, 五十嵐公英, 渡部 茂: 東日本大震災被災地における震災前後の小・中学校歯科健康診断結果, 第 61 回日本小児保健協会学術集会, 福島, 2014 年 6 月
- 11) 江田康輔, 吉原幸司郎, 棚瀬康介, 雀部貴志, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 一般に行われている歯科健康診断の精度, 第 61 回日本小児保健協会学術集会, 福島, 2014 年 6 月
- 12) 渡辺幸嗣, 鈴木 亮, 中村昭博, 池田英史, 江田康輔, 吉原幸司郎, 渡部 茂: 染め出しと QLF-D による歯垢検知法の比較—Bland-Altman Plot を応用して—, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月
- 13) 尾台令奈, 日野峻輔, 渡部 茂, 坂上 宏, 安達一典: 三叉神経運動核へのグリシン投与がラットの顎開口反射興奮性に及ぼす影響, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月
- 14) 田中庄二, 秋田紗世子, 谷口 潔, 片山 直, 荻原 孝, 小口寛子, 渡部 茂, 坂上 宏, 杉本昌弘: 小児および成人の唾液メタボローム解析: 特に、プロリン/グリシン比の変動に注目して, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月
- 15) 小口寛子: 舌の動きが咀嚼能率に及ぼす影響, 明海歯科医学会第 24 回学術大会, 埼玉, 2014 年 10 月
- 16) 駒澤大悟, 松井成幸, 梅崎栄作, 渡部 茂: 異なる材質のブラケットを用いて上顎前歯部にトルクをかけた際の応力解析, 第 73 回日本矯正歯科学会大会, 千

葉, 2014年10月

- 16) 吉田美香子, 巢瀬賢一, 中村徳三, 大橋英夫, 渡部 茂: 歌舞伎メーキャップ症候群患児の1症例, 第31回日本障害者歯科学会学術大会, 宮城, 2014年11月
- 17) 佐藤智之, 荻原 孝, 中村昭博, 吉原幸司郎, 鈴木 昭, 渡部 茂: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者に対する口腔ケア, 第31回日本障害者歯科学会学術大会, 宮城, 2014年11月
- 18) 鈴木 亮, 荻原 孝, 大場英和, 沖殿ちひろ, 渡部 茂: 本学付属病院小児歯科外来における口腔外科的疾患を主訴とした初診患者の実態調査, 第26回一般社団法人日本小児口腔外科学会学術大会, 栃木, 2014年11月
- 19) 鈴木 亮: 舌小帯短縮症の機能障害に関する研究, 明海歯科医学会第25回学術大会, 埼玉, 2014年12月

3. 地方会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 渡部 茂: 子ども大学「歯を守っておいしく食べよう」, 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会特別企画, 埼玉, 2014年9月

(3) 一般演題

- 1) 吉田美香子, 龍田恒康, 小野義晃, 鈴木 昭, 嶋田 淳, 渡部 茂: 上顎前歯部に4歯の過剰歯がみられた1例, 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会, 埼玉, 2014年9月
- 2) 渡辺幸嗣, 田中敏子, 中村徳三, 渡辺泰平, 牧 憲司, 渡部 茂: 炭酸飲料水摂取後の適切な歯みがきのタイミング, 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会, 埼玉, 2014年9月
- 3) 荻原 孝, 中村昭博, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: フッ化物存在下における亜鉛濃度の違いがエナメル質再石灰化に与える影響, 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会, 埼玉, 2014年9月
- 4) 鈴木 亮, 駒澤大悟, 小口寛子, 渡部 茂: 篩分法とグルコース法による咀嚼能率の相関関係および筋活動量の差異について, 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会, 埼玉, 2014年9月
- 5) 沖殿ちひろ, 大場英和, 三木崇裕, 片海智子, 小口寛子, 吉原幸司郎, 江田康輔, 池田英史, 棚瀬康介, 川上詠理, 荻原 孝, 渡部 茂: 本学付属病院小児歯科外来における初診患者の実態調査-2007年から2011年の5年間について-, 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会, 埼玉, 2014年9月
- 6) 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 上顎左側犬歯の埋伏と交叉咬合および叢生を伴った1例, 第29回日本小児歯科学会関

東地方会大会，埼玉，2014年9月

- 7) 中村朋美，中村徳三，大場英和，江田康輔，中村昭博，渡辺幸嗣，渡部 茂：上唇小帯強直症手術により口唇または鼻の形態改善がみられた症例，第29回日本小児歯科学会関東地方会大会，埼玉，2014年9月
- 8) 阿部真之介，鈴木悦子，鈴木 昭，中村昭博，尾臺令奈，渡部 茂：下顎右側第二大臼歯と過剰歯との癒合歯の1例，第29回日本小児歯科学会関東地方会大会，埼玉，2014年9月
- 9) 佐野哲文，駒澤大悟，荻原 孝，龍田恒康，渡部 茂，嶋田 淳：上顎骨歯槽骨骨折を伴った乳歯脱臼に顎内固定を行った1例，第29回日本小児歯科学会関東地方会大会，埼玉，2014年9月
- 10) 宮臺智晴，佐野哲文，小出明子，坂本有紗，荻原 孝，渡部 茂，佐野正之：性格分析（エゴグラム）に基づいて改善を図った思春期性歯肉炎の3例，第29回日本小児歯科学会関東地方会大会，埼玉，2014年9月
- 11) 駒澤大悟，松井成幸，梅崎栄作，渡部 茂：異なる材質のブラケットを通じてトルクを負荷した際に上顎前歯部に生じる応力解析，日本機械学会関東支部第21期総会・講演会，神奈川，2015年3月
- 12) 金井悠佑，佐藤雄太，梅崎栄作，松井成幸，駒澤大悟，須田直人：ワイヤー回転により生じる偶力を受ける矯正用ブラケットのデジタル画像相関解析，日本機械学会関東支部第21期総会・講演会，神奈川，2015年3月
- 13) 内海佑太，梅崎栄作，松井成幸，駒澤大悟，須田直人：ワイヤー回転により生じる偶力を受ける矯正用ブラケットの有限要素解析，日本機械学会関東支部第21期総会・講演会，神奈川，2015年3月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 渡部 茂：乳幼児健診に必要な歯科の知識，日本小児科学会主催第3回乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会，北海道，2014年5月
- 2) 渡部 茂：口腔の機能の発達，第61回日本小児保健協会学術集会 保健師のための乳幼児健康診査技能講習会，福島，2014年6月
- 3) 駒澤大悟，松井成幸，金井悠介，梅崎栄作，渡部 茂：材料が異なるブラケットを通じてトルクをかけた際の上顎前歯に生じる応力解析，ユーザーミーティング，東京，2014年8月
- 4) 尾臺令奈，日野峻輔，渡部 茂，坂上 宏，安達一典：睡眠時の刺激応答性変化に関わるグリシン受容体機構の検討，第8回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会，長野，2014年10月
- 5) 渡部 茂：口から見える子どもの生活～今子どもたちに何がおきている？～，調布市福祉健康部 平成26年度乳幼児歯科保健事業従事者研修会，東京，2014年

11月

- 6) 渡部 茂:子どもの口腔環境と唾液, 埼玉小児保健協会第82回研究会, 埼玉, 2014年11月
- 7) 渡部 茂:舌小帯短縮症と機能障害について, 日本小児口腔外科学会 第1回認定医・指導医の申請・更新のための教育講演会, 栃木, 2014年11月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 渡部 茂, 渡辺幸嗣:口腔内 pH の日内変動と幼若永久歯の萌出後成熟に関する研究, 平成26年度文部省科学研究費基盤研究(C)(研究代表者:渡部 茂)

2. 日本障害者歯科学会平成27年委託研究費

渡部 茂:反芻を有する障害者への歯科的対応法の確立

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 荻原 孝:光誘導蛍光定量法(QLF法)を用いた亜鉛によるエナメル質再石灰化の評価, 宮田研究奨励金(A)
- 2) 小口寛子:舌の動きが咀嚼能率に及ぼす影響, 宮田研究奨励金(E)

4. その他の公的機関からの助成金

- 1) 渡部 茂:歯科材料・歯科器材の研究ならびに研究成果への補助金

歯科矯正学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 須田直人：新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科矯正学, クインテセンス出版, 2015年1月

2. 訳本

- 1) 須田直人：英文誌掲載論文紹介 “Do dental esthetics have any influence on finding a job?”, 東京矯歯誌 24, 115., 2014年7月
- 2) 品川令, 須田直人：注目の海外文献, Clinical Calcium. 24, 120-122, 2014年1月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kanai Y, Umezaki E, Matsui S, Komazawa D, Suda N : Digital Image Correlation Analysis of Distal Movement of Mandibular Teeth Using Anchor Screws, Journal of JSEM, vol 14, Special Issue, s272-s278, 2014, 1
- 2) Fujimoto M, Ohte S, Shin M, Yoneyama K, Osawa K, Miyamoto A, Tsukamoto S, Mizuta T, Kokabu S, Machiya A, Okuda A, Suda N, Katagiri T : Establishment of a novel model of chondrogenesis using murine embryonic stem cells carrying fibrodysplasia ossificans progressiva-associated mutant ALK2, Biochem Biophys Res Commun. 12;455(3-4):347-52, 2014, 12
- 3) Matsui S, Umezaki E, Komazawa D, Otsuka Y, Suda N : Evaluation of mechanical properties of esthetic brackets, J Dent Biomech. 2015, 2015, 2
- 4) Yamada T, Sasaki A, Band Y, Sakiyama K, Suda N, Kanegae H, Amano O : Immunolocalization of heat shock protein 25 (Hsp25) in developing secondary palate of mouse embryos, Ped Oral Maxillof Sur, 24(1); 27-37, 2014, 6
- 5) Nakayachi M, Ito J, Hayashida C, Ohyama Y, Kakino A, Okayasu M, Sato T, Ogasawara T, Kaneda T, Suda N, Sawamura T, Hakeda Y : Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1 abrogation causes resistance to inflammatory bone destruction in mice, despite promoting osteoclastogenesis in the steady state, Bone. 75:170-182, 2015, 3
- 6) Fujimoto M, Ohte S, Osawa K, Miyamoto A, Tsukamoto S, Mizuta T, Kokabu S, Suda N, Katagiri T : Mutant activin-like kinase 2 in fibrodysplasia ossificans progressiva are activated via T203 by BMP type II receptors, Mol Endocrinol. 29:140-52, 2015, 1

- 7) 藤田昌樹, 大塚雄一郎, 西野広人, 遠藤則和, 三條恵介, 藤本舞, 吉川秀明, 龍田恒康, 松井成幸, 嶋田淳, 須田直人: 顔面非対称症例に対する Short Lingual Osteotomy を用いた SSRO と IVRO の術後成績, 明海歯学誌 43(2), 140-147, 2014年9月
- 8) 真野樹子, 時岡一幸, 松本美樹, 田中恵理, 長谷川紘也, 大浜令, 箕田碧, 富田至保, 中塚貴志, 須田直人: 唇顎口蓋裂児の顎裂部の三次元評価, 日本口蓋裂学会雑誌 Vol. 39, No. 3, p. 201-208, 2014年10月

3. 症例報告

- 1) 久保迪, 大塚雄一郎, 金子浩巳, 成田亜希子, 佐々木会, 遠藤則和, 三條恵介, 龍田恒康, 嶋田淳, 松井成幸, 須田直人: LeFort I 型骨切り術後に吸収性骨接合プレートにより骨片固定を行った3例, 日顎変形誌 24, 269-279, 2014年8月
- 2) 真野樹子, 佐々木会, 藤本舞, 金子優, 三條恵介, 品川令, 箕田碧, 富田志保, 菅原康志, 須田直人: 睡眠時の呼吸障害を伴う Crouzon 症候群の1例, 日顎変形誌 24, 325-335, 2014年12月

C. その他の刊行物など

- 1) 真野樹子: 混合歯列期で包括的に口腔内を把握することの大切さ 先天性欠如歯・過剰歯と埋伏歯, 埼玉歯科医師会 No. 556, p 10-13, 2014年9月

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Suda N: Presurgical infant Orthopedics Objective and Fabrication-, Hands on Course, 4th Workshop of the International Cleft lip and Palate Foundation, Sep 9-12, 2014, Ulaanbaatar, Mongolia, 2014
- 2) Suda N: Treatment outcome of secondary bone graft (SBG) using platelet-rich plasma (PRP) in unilateral cleft lip and palate (UCLP) cases Key Note Forum, 4th Workshop of the International Cleft lip and Palate Foundation, Sep 9-12, 2014, Ulaanbaatar, Mongolia, 2014

(3) 一般演題

- 1) Sanjo K, Otsuka Y, Suda N: Integration of craniofacial CT image and digital image of dental model using optimum CT value and ICP algorithm, 90th Congress of the European orthodontic Society. 6/18-21 2014. Poland Warsaw, 2014, 6

- 2) Otsuka Y, Sanjo K, Suda N : Interdisciplinary treatment of a case with incontinentia pigmenti, 90th Congress of the European orthodontic Society. 6/18-21 2014. Poland Warsaw, 2014, 6
- 3) Fujimoto M, Ohte S, Shin M, Yoneyama K, Osawa K, Tsukamoto S, Miyamoto A, Mizuta T, Kokabu S, Okuda A, Suda N, Katagiri T : Establishment and characterization of a novel Tet-Off embryonic stem cell lines carrying ALK2, ASBMR 2014 Annual Meeting. Houston. USA, 2014, 9
- 4) Fujimoto M, Ohte S, Shin M, Yoneyama K, Osawa K, Miyamoto A, Tsukamoto S, Mizuta T, Kokabu S, Machiya A, Okuda A, Suda N, Katagiri T : Establishment of a novel model for chondrogenic differentiation using murine embryonic stem cells carrying mutant ALK2, FASEB Skeletal Muscle Satellite and Stem Cells 2014. Colorado, USA, 2014, 7
- 5) Sasaki A, Hasegawa N, Takahashi K, Yun G, Nagao T, Suda N, Sakagami H, Adachi K : Morphological and physiological alterations evoked by orthodontic force in rats, Neuroscience 2014, Washington DC, USA, 2014, 11
- 6) Mano M, Segawa C, Suda N : Shape of sucking fossa on palatal plates used in PIO, The 4th workshop of the international cleft lip and palate foundation in conjunction with 5th conference. Ulaanbaatar, Mongolia, 2014, 9
- 7) Segawa C, Mano M, Suda N : The relationship between palate formation and suckling with CLA infants, The 4th workshop of the international cleft lip and palate foundation in conjunction with 5th conference. Ulaanbaatar, Mongolia, 2014, 9

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 須田直人 : ダウン症候群 -歯科的ケアについて-, 第 5 回遺伝カウンセリング学会 アドバンストセミナー, 2014 年 1 月
- 2) 須田直人 : 遺伝性疾患の QOL と歯科矯正学, 第 29 回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014 年 6 月

(2) シンポジウム

- 1) 須田直人 : 遺伝性疾患における歯根の異常, サテライトシンポジウム 8 「歯根と歯周組織発生の分子機構解明の新たなる展開と歯科疾患へのアプローチ」第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 2014 年 9 月 25 日, 福岡, 2014 年 9 月
- 2) 須田直人 : 先天性多数歯欠損患者での残存歯の形態, サテライトシンポジウム 5 「藤田恒太郎原著「歯の解剖学」の未解決問題を考える. 歯と顎の形態進化に着

目して。」第56回歯科基礎医学会学術大会, 2014年9月25日, 福岡, 2014年9月
3) 真野樹子: 口唇裂・口蓋裂と矯正歯科, 第29回小児歯科学会関東大会 大宮, 2014年9月

(3) 一般演題

- 1) 遠藤則和, 松井成幸, 日比野靖, 中畠裕, 須田直人: Self etching primer タイプの矯正歯科用接着剤におけるエナメル質性状と接着強度-第2報 塗布後の再石灰化-, 第73回日本矯正歯科学術大会, 2014年10月20日~22日, 千葉, 2014年10月
- 2) 大塚雄一郎, 金子優, 森脇由華, 三條恵介, 須田直人: CT 画像における上顎骨の yaw と roll の評価を目的とした基準平面の検討, 第24回日本顎変形症学会, 2014年6月10-11日, 福岡, 2014年6月
- 3) 箕田碧, 溝口尚子, 須田直人, 村本和世: Intracortical interaction evoked by periodontal ligament nociception in rat, 第92回日本生理学会大会, 2015年3月21日-23日, 神戸, 2015年3月
- 4) 川尻朱美, 真野樹子, 長谷川紘也, 三條恵介, 富田至保, 長谷川尚哉, 重松久夫, 松井成幸, 坂下英明, 須田直人: SARPE による上顎歯列の側方拡大と上下顎移動術を行った金属アレルギーを有する骨格性顔面非対称の1例, 第73回東京矯正歯科学会学術大会, 東京, 2014年7月
- 5) 藤本舞, 片桐岳信, 須田直人: Tet-off システムを用いた野生型および変異 ALK2 発現 ES 細胞の樹立とその機能解析, 第73回日本矯正歯科学会大会. 2014年10月. 千葉, 2014年10月
- 6) 真野 樹子, 松本美樹, 田中恵理, 時岡一幸, 奥結香, 坂下英明, 須田直人: UCLP 児における初診時鼻上顎複合体の特徴と術前顎矯正の関係, 第38回日本口蓋裂学会総会・集会, 札幌市, 2014年5月
- 7) 大浜令, 田巻友一, 須田直人, 中原貴: ヒト抜去歯由来幹細胞の採取組織と分離法に関する再生医療学的検討, 第56回歯科基礎医学会, 2014年9月25-27日, 福岡, 2014年9月
- 8) 金井 悠佑, 渡邊智則, 梅崎栄作, 松井成幸, 駒澤大悟, 須田直人: モーメントを受ける矯正用ブラケットのデジタル画像相関解析, 第20期日本機械学会関東支部講演, 2014年3月
- 9) 吉川正芳, 藤田昌樹, 坂本幸弘, 須田直人: リン酸酸性フッ化ナトリウム (APF) 塗布剤のエナメル質結晶への影響, 第73回日本矯正歯科学会, 2014年10月26-28日, 千葉, 2014年10月
- 10) 中谷地舞, 伊東順太, 岡安麻里, 須田直人, 羽毛田慈之: レクチン様酸化 LDL 受容体-1 (LOX-1) 欠損マウスは骨量を減少させるが炎症性骨吸収に抵抗を示す. 第

- 7 3回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20~22日, 幕張メッセ, 千葉, 2014年10月
- 11) 金井悠佑, 佐藤雄太, 梅崎栄作, 松井成幸, 駒澤大悟, 須田直人: ワイヤー回転より生じる偶力を受ける矯正用ブラケットのデジタル画像相関解析, 日本機械学会 関東支部第21期総会. 2015年3月20-21日, 横浜, 2015年3月
 - 12) 内海佑太, 梅崎栄作, 松井成幸, 駒澤大悟, 須田直人: ワイヤー回転より生じる偶力を受ける矯正用ブラケットの有限要素解析, 日本機械学会 関東支部第21期総会. 2015年3月20-22日, 横浜, 2015年3月
 - 13) 駒澤大悟, 松井成幸, 梅崎栄作, 渡辺茂: 異なる材質のブラケットを通じてトルクを負荷した際に上顎前歯部に生じる応力解析, 日本機械学会 関東支部第21期総会. 2015年3月20-23日, 横浜, 2015年3月
 - 14) 三條恵介, 大塚雄一郎, 須田直人: 顎顔面頭蓋のDICOM データと STL データの統合に及ぼす CT 値の影響, 第24回特定非営利活動法人 日本顎変形症学会総会・学術大会. 平成26年6月10日-11日. 福岡県福岡市, 2014年6月
 - 15) 加藤悠歩, 大塚雄一郎, 金子優, 森脇由華, 三條恵介, 須田直人: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症患者に対し前顔面部を基準とした上顎骨の yawing, rolling 評価の試み, 第24回日本顎変形症学会大会, 福岡, 2014年6月
 - 16) 小貫裕之, 森一将, 龍田恒康, 大原正太郎, 田中恵理, 佐々木会, 須田直人, 嶋田淳: 矯正治療に伴う便宜抜歯後に発生した下顎小臼歯部過剰歯の1例, 第68回日本口腔外科学会. 2014年5月7日~9日. 東京, 2014年5月
 - 17) 佐々木会, 長谷川尚哉, 坂上宏, 天野修, 安達一典, 須田直人: 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルの薬理的評価, 第56回歯科基礎医学会, 博多, 2014年9月
 - 18) 長谷川尚哉, 佐々木会, 坂上宏, 天野修, 安達一典, 須田直人: 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルを用いた評価系の開発 -第2報 歯の移動距離と疼痛のタイミング, 第73回日本矯正歯科学会. 2014年10月20-22日. 千葉市, 2014年10月
 - 19) 小貫裕之, 森一将, 龍田恒康, 大原正太郎, 田中恵理, 佐々木会, 須田直人, 嶋田淳: 矯正治療便宜抜歯後に発生した下顎小臼歯部過剰歯の1例, 第68回 日本口腔外科学会大会, 東京, 2014年5月
 - 20) 瀬川千花子, 真野樹子, 奥結香, 長谷川紘也, 中谷地舞, 坂下英明, 須田直人: 口蓋床により哺乳障害の改善を図った唇顎裂児の一例, 第38回口蓋裂学会・学術集会, 札幌, 2014年5月
 - 21) 三條恵介, 大塚雄一郎, 須田直人: 口蓋粘膜形態を利用した顎顔面頭蓋の DICOM データと STL データの統合, 第73回日本矯正歯科学会大会. 平成26年10月20日-22日. 千葉, 2014年10月
 - 22) 大浜令, 田巻友一, 中原貴, 須田直人: 酵素法と outgrowth 法で得られたヒト歯

- 小囊および歯根膜由来細胞の間葉系幹細胞特性の比較解析, 第 73 回日本矯正歯科学会, 2014 年 10 月 20-22 日, 千葉, 2014 年 10 月
- 23) 駒澤大悟, 松井成幸, 横山貴之, 梅崎栄作, 須田直人, 渡部茂: 三次元有限要素法を用いた異なる材料定数のブラケットモデルに生じる応力解析, 第 20 期日本機械学会関東支部講演, 2014 年 3 月
- 24) 瀬川千花子, 真野樹子, 松本美樹, 田中恵理, 長谷川紘也, 中谷地舞, 石田純子, 須田直人: 唇顎裂 (CLA) 児に対する術前顎矯正治療の意義, "第 73 回日本矯正歯科学会大会, 幕張, 2014 年 10 月
- 25) 長谷川紘也, 須田直人, 友村明人: 成熟破骨細胞の細胞内骨格に対するカルデクリンの影響, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
- 26) 長谷川紘也: 成熟破骨細胞の細胞内骨格構築に対するカルデクリンの影響, 明海歯科医学会第 23 回学術大会, 坂戸, 2014 年 6 月
- 27) 森脇由華, 大塚雄一郎, 金子優, 加藤悠歩, 大貫那未, 海老沢麻弥, 須田直人: 舌強直症症例における舌小帯切除術施行前後の舌挙上圧の変化について, 第 73 回日本矯正歯科学会大会. 千葉, 2014 年 10 月
- 28) 嶋田淳, 吉川秀明, 龍田恒康, 藤田昌樹, 大塚雄一郎, 松井成幸, 須田直人: 鼻下部粘膜を温存する Le Fort I 型骨切り術による上顎前方移動, 第 24 回日本顎変形症学会大会, 福岡, 2014 年 6 月

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 須田直人: ダウン症児のお子さまの咬み合わせ・歯並びの治療, 練馬区お口の健康づくり講演会, 2014 年 12 月
- 2) 須田直人: 矯正歯科治療時の歯の異常に起因する諸問題, 東京医科歯科大学大学院講義, 2014 年 2 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者 須田直人: 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B), 歯根-歯周組織ユニット」の形成によるヒト歯根再生への新規ストラテジー (25293422) 総額 17,550 千円, 2013 年 4 月 1 日-2016 年 3 月 31 日
- 2) 研究代表者 須田直人: 文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 酸感受性イオンチャネルをターゲットとした歯の移動時の疼痛制御への画期的アプローチ, (24659916) 総額 3,770 千円, 2012 年 4 月 1 日-2015 年 3 月 31 日
- 3) 研究代表者 佐々木会: 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B), 矯正誘発疼痛モデルの評価と新規疼痛管理薬物の探索, (26861799) 総額 1,950 千円, 2014 年 4 月 1 日-2015 年 3 月 31 日

- 4) 研究代表者 長谷川紘也：文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)，IRF-8 による破骨細胞の抑制機構とメカニカルストレスの関係，(25870674) 総額 4,030 千円，2013 年 4 月 1 日-2016 年 3 月 31 日

口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

齒 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 化 学 分 野

生化学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kusuyama J, Bandow K, Shamoto M, Kakimoto K, Ohnishi T, Matsuguchi T. : Low intensity pulsed ultrasound (LIPUS) influences the multilineage differentiation of mesenchymal stem and progenitor cell lines through ROCK-Cot/Tpl2-MEK-ERK signaling pathway. J Biol Chem. 289(15):10330-10344. 2014. 4
- 2) Takano T, Urushibara T, Yoshioka N, Saito T, Fukuda M, Tomomura M, Hisanaga S: LMTK1 regulates dendritic formation by regulating movement of Rab11A-positive endosomes. Mol. Biol. Cell 25(11):1755-1768, 2014. 6
- 3) Watanabe M, Suzuki R, Tomomura M, Sakagami H, Tomomura A, Shirataki Y: Constituents of the leaves of *Odontonia Marriei* Noel 'Velona' with inhibitory activity on RANKL-induced osteoclast differentiation. Jap J Pharmacognosy, 69(1):20-21, 2015. 1

C. その他の刊行物など

- 1) 坂東健二郎：L P S で誘導される高 O P N 骨芽細胞の骨免疫学的解析。科学研究費補助金基盤研究 C 報告書, 2014 年 6 月
- 2) 友村明人：セレンディピティの種 第 2 回－先人から渡された種。機能材料, **34**:63-65, 2014 年 8 月
- 3) 友村美根子：セレンディピティの種 第 3 回－巡り合った分子達に導かれて。機能材料, **34**:75-77, 2014 年 8 月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Tomomura A, Tomomura M: Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, suppresses osteoclastogenesis by regulation for the RANKL-mediated Src family kinase. 36th Annual Meeting for Bone Mineral Research, Houston, USA, 2019. 9
- 2) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H, Tomomura A: Rhinacanthin C inhibits RANKL-induced osteoclast differentiation by suppressing MAPKs/NF- κ B/NFATc1 pathway through preventing TRAF6-TAK1 formation. 36th Annual Meeting for Bone Mineral Research, Houston, USA, 2019. 9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 渡部美緒, 鈴木龍一郎, 友村美根子, 坂上宏, 友村明人, 白瀧義明: ラン科植物 *Odontioda Marie Noel* “Velano” 由来フェナンスレン類の破骨細胞分化抑制活性. 第 61 回日本生薬学会、福岡、2014 年 9 月
- 2) 長谷川紘也, 須田直人, 友村明人: 成熟破骨細胞の細胞内骨格に対するカルデクリンの影響. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
- 3) 友村明人, 長谷川紘也, 田村暢章, 須田直人, 友村美根子: 血清カルシウム降下因子カルデクリンは RANKL による細胞膜ラフト画分の Fyn の活性化を抑制して破骨細胞の分化を抑制する. 第 87 回日本生化学会大会, 京都, 2014 年 10 月
- 4) 友村美根子, 鈴木龍一郎, 渡部美緒, 白瀧義明, 坂上宏, 友村明人: リナカンチン C は RANKL による TRAF6-TAK1 複合体形成を阻害し、破骨細胞の分化を抑制する. 第 87 回日本生化学会大会, 京都, 2014 年 10 月
- 5) 坂東健二郎, 楠山譲二, 大西智和, 柿元協子, 松口徹也: 軟骨細胞分化における AMP-activated kinase の役割. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014 年 11 月
- 6) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H, Tomomura A: Geranylgeraniol enhances osteoblast differentiation, while it suppresses osteoclast differentiation. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014 年 11 月
- 7) Sharma G, Cho K, Tsutsumi K, Asada A, Saito T, Tomomura M, Hisanaga S: A role of Lemur kinase 1A (LMTK1A) in growth cone. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014 年 11 月
- 8) Urushibara T, Takano T, Tsuchiya Y, Saito T, Tomomura M, Hisanaga S: The role of Lemur kinase 1 (LMTK1), a novel neuronal Ser/Thr kinase, in migration and morphology of newborn neurons. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014 年 11 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 友村明人 (代表) : 破骨細胞の RANKL のシグナルプラットフォーム形成におけるカルデクリンの抑制機構. 基盤研究 C, 2012-2014
- 2) 友村美根子 (代表) : 破骨細胞形成におけるリナカンチン C の抑制作用の分子メカニズム. 基盤研究 C, 2013-2015

微生物学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 大森喜弘, 天野滋, 廣井美紀, 山口花: 2014 年度 微生物学実習(第6版), DTP 出版, 東京, 1-81, 2014 年

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 松井藍有美, 大川穰, 染川正多, 遠藤舞, 天野滋, 日比野靖, 岡本和彦, 大森喜弘, 中畠裕, 大川周治: 次亜塩素酸電解水を用いたアルジネート印象体の消毒に関する研究, 明海歯科医学, 44, 36-49, 2015 年
- 2) 寺西麻里奈, 谷田部一大, 天野滋, 中島明敏, 権海尚, 鈴木允文, 辰巳順一, 林丈一朗, 申基喆: 抗菌光線力学療法によるインプラント体表面に付着した歯周病原細菌に対する殺菌効果に関する *in vivo* 研究, 明海歯科医学, 44, 50-61, 2015 年

C. その他の刊行物など

- 1) 天野滋, 松本勝: 薬用デントポリス EX 歯磨きジェルの臨床試験, 株式会社大木, 2015 年

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 廣井美紀, 大森喜弘: ケモカイン遺伝子のメディエーター複合体による転写制御, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月.
- 2) 山口花, 廣井美紀, 大森喜弘: マウス扁平上皮癌細胞の IFN 耐性における細胞増殖制御遺伝子の DNA メチル化による発現抑制, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月.
- 3) 天野滋, 大森喜弘: 間質細胞から産生されている破骨細胞前駆細胞分化機能維持に影響する因子について, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月.
- 4) 森一将, 廣井美紀, 嶋田淳, 大森喜弘: 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子 GRIM19 の発現制御機構, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月.
- 5) 森一将, 廣井美紀, 嶋田淳, 大森喜弘: 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子 GRIM19 の発現制御機構, 第 59 回日本口腔外科学会学術大会, 千葉, 2014 年 10 月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 大森喜弘 (研究代表者): 基盤研究C, ケモカイン遺伝子の発現制御におけるメディエーター複合体の役割.
- 2) 廣井美紀 (研究代表者): 基盤研究C, 口腔扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの誘導機構ならびに機能解析.
- 3) 山口 花 (研究代表者): 若手研究B, マウスモデルを用いた口腔癌のインターフェロン耐性の生物学的意義の解明.
- 4) 天野 滋 (研究代表者): 挑戦的萌芽, 間質細胞由来破骨細胞前駆細胞機能維持因子の同定と炎症性骨破壊における役割の解明.
- 5) 大森喜弘 (研究分担者): 基盤研究C, 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子 GRIM-19 の発現制御機構.

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 廣井美紀: 宮田研究奨励金(A)、口腔癌の発生, 進展におけるケモカインの機能的役割の検討.

歯周病学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 申 基喆/編, 辰巳順一, 林 丈一朗, 谷田部一大, 大塚秀春, 大西英知, 石井麻紀子, 鈴木允文/著:歯周病学基礎実習書 2014 年度版, リューワ印刷, 川越, 2014 年 6 月
- 2) 鈴木允文, 新田 浩: 月刊糖尿病 ⑦歯周病治療の血糖コントロールへの効果, 医学出版, 2014 年 6 月
- 3) Kitetsu Shin : Section 5 - Surgical Treatment, Chapter59: The flap technique for pocket therapy, "Henry Takei, Fermin Carranza", Carranza's Clinical Periodontology, 12th ed, Saunders, pp593-603, 2014 年 7 月
- 4) 鈴木允文, 新田 浩: 月刊「デンタルハイジーン」別冊 Chapter4 ハンドスケーラーとパワー(超音波・エア) スケーラーを使い分けるための基本知識, 医歯薬出版株式会社, 2014 年 11 月
- 5) 林 丈一朗: 「iPS 細胞」, 「歯間乳頭の再生」 IN: Implant Dentistry Encyclopedia, クインテッセンス出版, 東京, pp146, pp198, 2014 年 12 月
- 6) 辰巳順一: 「遊離歯肉移植術」, 「(インプラント周囲の)骨吸収」「常在菌」 IN: Implant Dentistry Encyclopedia, "クインテッセンス出版, 東京, pp184, pp203-204, pp252, 2014 年 12 月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 寺西麻里奈, 谷田部一大, 天野 滋, 中島明敏, 権 海尚, 鈴木允文, 辰巳順一, 林 丈一朗, 申 基喆: 抗菌光線力学療法を用いたインプラント体表面に付着した歯周病原細菌に対する殺菌効果に関する *in vitro* 研究, 明海歯科医学, 44(1), pp50-61, 2015 年 2 月
- 2) 林 丈一朗, 吉田進也, 落合幸彦, 安井絢子, 新家央康, 石井麻紀子, 大西英知, 櫻井裕士, 申 基喆: 不織布フィルターを用いた閉鎖系デバイスによる顎骨骨髄からの間葉系幹細胞分離に関する研究, 明海歯科医学, 44(1), pp17-26, 2015 年 2 月

2. 総説

- 1) 辰巳順一, 成田宗隆, 申 基喆: 各種除染法の有効性に関する基礎的検討からインプラント周囲炎治療法を探る, 明海歯科医学, 44(1), pp9-16, 2015 年 2 月

C. その他の刊行物など

- 1) 申 基喆: 歯周病専門医が考える, 抜歯か保存か, 予後判定の実際 抜歯と宣告された歯を再生療法を用いて保存した症例から, 日本歯科評論, 74(5), pp58-67, 2014年5月
- 2) 申 基喆: 難治性の歯周炎で治療は?, 東京新聞, 2014年6月24日号, 暮らし面, 誌上診察室, 2014年6月
- 3) 申 基喆: 歯周外科による前歯部審美治療のその後, 根面被覆による軟組織増大成功のポイントと長期安定性, 日本歯科評論, 74(8), pp67-78, 2014年8月
- 4) 辰巳順一, 林 丈一朗: インプラント治療後のプラークコントロールに「ルシエロ歯ブラシ I-20 インプラント」および「ルシエロペリオブラシ」を応用する, ジーシーサークル 150 号, 24-30, 株式会社ジーシー, 2014年8月
- 5) 林 丈一朗: 超高齢社会の口腔ケアを支えるための3つのストラテジー-ソニックア어의活用術-, DENTAL DIAMOND, デンタルダイヤモンド社, 東京, 40 (580), pp148-153, 2015年2月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Marina Teranishi , Kazuhiro Yatabe , Heisan Kwon, Taro Fukushima, Joichiro Hayashi, Kitetsu Shin: An in vitro Study on Bacteriocidal Effects of Antimicrobial Photodynamic Therapy against Periodontopathic Bacteria Adhered to Implant Surface, The American Academy of Periodontology (AAP) 100th Anniversary Annual Meeting, San Francisco, CA, USA, 2014年9月
- 2) Hidetomo Onishi, Yuki Ono, Takafumi Suzuki, Noriyuki Kurihara, Akitoshi Nakajima, Hideharu Otsuka, Kitetsu Shin : Lysine-specific Activity in Gingival Crevicular Fluid as a Potential Activity Responsible for Tannerella Forsythia Forsythia Detaching Factor Modification, The American Academy of Periodontology (AAP) 100th Anniversary Annual Meeting, San Francisco, CA, USA, 2014年9月
- 3) Kouhei Hayashi, Junichi Tatsumi, Ayako Yasui, Makiko Ishii, Hisayasu shinya, Takayuki Kondo, Hiroshi Kawazu, Kitetsu Shin: The clinical study about the effects of antimicrobial photodynamic therapy on chronic periodontitis patients, The American Academy of Periodontology (AAP) 100th Anniversary Annual Meeting, San Francisco, CA, USA, 2014年9月

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント治療を考える - そのメンテナンスとインプラント周囲疾患への対応 -, 第 4 回関東 9 大学歯学部・日本臨床歯周病学会関東支部合同研修会 (第 70 回関東支部研修会併催), 東京, 2015 年 3 月

(2) シンポジウム

- 1) 申 基喆: tunnel technique と CTG による歯肉増生, 日本顎咬合学会第 32 回学術大会シンポジウム, 東京国際フォーラム, 2014 年 6 月
- 2) 辰巳順一: 歯周病患者の治療結果から処置方針を振り返る, 日本顎咬合学会第 32 回学術大会シンポジウム, 東京国際フォーラム, 2014 年 6 月
- 3) 林 丈一郎: 歯周病患者へのインプラント治療 -4 つの問題点とその解決法-, 第 32 回日本顎咬合学会学術大会, 東京国際フォーラム, 2014 年 6 月
- 4) 申 基喆: インプラント治療における tissue management, GIRC & 韓国ミレニアムインプラント研究会との合同研究発表会, 新宿ニューシティーホテル, 2014 年 6 月
- 5) 申 基喆: インプラント治療後のメンテナンスとペリインプランタイトィスへの対応, National Symposium OSTEOLOGY JAPAN 2014, ベルサール新宿グランド, 2014 年 7 月
- 6) 申 基喆: インプラント治療後のメンテナンスとペリインプランタイトィスへの対応, 第 2 回 ペリオウェイブ臨床研究会学術発表会, 帝国ホテル, 2014 年 7 月
- 7) 申 基喆: The necessity of Implant maintenance, and its method, Nobel Biocare Symposium 2014 Tokyo, 東京, 品川, 2014 年 9 月
- 8) 申 基喆: ペリオとインプラントのための審美形成外科, 第 7 回日本国際歯科大会, パシフィコ横浜, 2014 年 10 月

(3) 一般演題

- 1) Hidetomo Onishi, Kazuyuki Okada, Yuki Ono, Kenji Katsurayama, Kazuyuki Watanabe, Makiko Ishii, Hideharu Otsuka, Kitetsu Shin: Development of “Periodontal Biosensor” : A Pilot Study, 第 57 回春季日本歯周病学会学術大会, 岐阜, 2014 年 5 月
- 2) 林 丈一郎, 吉田進也, 落合幸彦, 林 鋼兵, 寺西麻里奈, 谷田部一大, 辰巳順一, 櫻井裕士, 申 基喆: 不織布フィルターを用いた閉鎖系システムによる顎骨骨髄からの間葉系幹細胞分離, 第 57 回春季日本歯周病学会学術大会, 岐阜, 2014 年 5 月
- 3) 大塚秀春: 歯周病のプロフェッショナルケアを考える -, 社団法人 埼玉県歯科衛生士会平成 26 年度 第 2 回第三次生涯研修会, さいたま, 2014 年 6 月

- 4) 石井麻紀子：末梢血由来単核球と人工骨移植材による骨再生効果の検討, 明海歯科医学会第 23 回学術大会, 坂戸, 2014 年 6 月
- 5) 小野裕貴：歯肉溝滲出液中の *Tannerella forsythia forsythia* detaching factor に対する分解酵素活性の治療効果判定への応用, 第 200 回大学院歯学研究科研究発表会, 坂戸, 2014 年 6 月
- 6) 林 鋼兵：慢性歯周炎患者に対する抗菌光線力学療法の有効性に対する臨床的研究, 第 200 回大学院歯学研究科研究発表会, 坂戸, 2014 年 6 月
- 7) Hidetomo Onishi, Joichiro Hayashi, Takafumi Suzuki, Kazuhiro Yatabe, Hideharu Otsuka, Junichi Tatsumi, Koh Ichimura, Kitetsu Shin: “Periodontal biosensor” : A pilot study, 141 回日本歯科保存学会 2014 年度秋季学術大会, 山形, 2014 年 10 月
- 8) 大塚秀春, 市村 光, 中島明敏, 小野裕貴, 寺西麻里奈, 鈴木允文, 谷田部一大, 林 丈一朗, 申 基喆：共振型音波歯ブラシの慢性歯周炎患者に対する治療効果 第 2 報 歯間鼓形空隙の大きさによるプラーク除去効果の評価, 第 57 回春季日本歯周病学会学術大会, 神戸, 2014 年 10 月
- 9) 石井麻紀子, 安井絢子, 権 海尚, 新家央康, 松井 奨, 栗原慎幸, 林 鋼兵, 大西英知, 辰巳順一, 申 基喆：歯周炎患者に対するコーヌステレスコープ義歯が残存歯の予後に及ぼす影響に関する後ろ向き研究, 第 57 回秋季日本歯周病学会学術大会, 神戸, 2014 年 10 月
- 10) 遠藤 学：歯周炎患者に対するコーヌステレスコープ義歯が残存歯の予後に及ぼす影響に関する後ろ向き, 第 203 回大学院歯学研究科研究発表会, 坂戸, 2015 年 1 月
- 11) 小川洋一：抗菌光線力学療法を用いたインプラント周囲炎の非外科的治療効果, 第 203 回大学院歯学研究科研究発表会, 坂戸, 2015 年 1 月
- 12) 大西英知, 安井絢子, 小野裕貴, 鈴木允文, 谷田部一大, 林 丈一朗, 申 基喆：歯周病検査用バイオセンサーの開発, 平成 26 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま, 2015 年 2 月
- 13) 石井麻紀子, 渡辺和志, 市村 光, 林 鋼兵, 大塚秀春, 渡辺幸男, 辰巳順一, 申 基喆：歯周炎患者に対するコーヌステレスコープ義歯が残存歯の予後に及ぼす影響に関する後ろ向き研究, 平成 26 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま, 2015 年 2 月

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 辰巳順一, 申 基喆：歯周病患者に対するコーヌステレスコープシステムを用いた機能回復法, 明海大学歯学部同窓会学術研修会, 上野ヨシダホール, 東京, 2014 年 4 月

- 2) 申 基喆: 日常臨床における歯周治療, 大阪歯科大学同窓会関東支部会 学術講演, 原宿 南国酒家, 2014年5月
- 3) 林 丈一朗: クリニカルステップアップセミナー ステップアップ歯周基本治療, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 東京 2014年5月
- 4) 申 基喆, 林 丈一朗: 基礎から始める歯周治療 –インプラント時代の歯周治療を成功に導くために– 豚顎を用いたフラップ手術と縫合のハンズオン実習, 明海大学歯学部同窓会 2013年度学術研修会, 東京, 2014年5月
- 5) 林 丈一朗: 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周治療の診査・診断と治療計画(歯周治療Ⅰ), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 東京, 2014年5月
- 6) 林 丈一朗: 歯周治療ベーシックシリーズ歯周基本治療(歯周治療Ⅱ), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 東京, 2014年6月
- 7) 林 丈一朗, 鈴木玲爾: インプラントベーシックプログラム 10日間コース セクション4, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 東京, 2014年7月
- 8) 辰巳順一: 歯周基本Ⅲ 歯周外科処置の基本(1), 明海大学・朝日大学生涯研修, 東京, 2014年7月
- 9) 辰巳順一: 歯周基本Ⅳ 歯周外科処置の基本(2), 明海大学・朝日大学生涯研修, 東京, 2014年7月
- 10) 申 基喆: 歯周病患者でもインプラント治療ができますか?, OJ主催 第2回都民フォーラム 歯を失う原因とインプラント治療, 日本歯科大学生命歯学部 100周年記念館, 2014年7月
- 11) 辰巳順一: インプラント周囲炎を知る 大きな危険を見逃さないために, Nobel Biocare Symposium 2014 Tokyo, 東京, 2014年9月
- 12) 申 基喆: ペリオとインプラントの組織再生療法, 明海大学歯学部同窓会 東北ブロック大会学術講演, 秋田, 2014年9月
- 13) 林 丈一朗: 口腔ケアが支える超高齢社会の未来 –ソニックケアの活用術–, 第7回ワールドデンタルショー2014, 横浜, 2014年10月
- 14) 林 丈一朗: 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, 第7回ワールドデンタルショー2014, 横浜, 2014年10月
- 15) 申 基喆: 歯周外科シリーズ-1, ペリオとインプラントのためのスーチャリングテクニック, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 2014年度セミナー, 東京, 2014年10月
- 16) 申 基喆: 歯周外科シリーズ-2, ペリオとインプラントのためのハードティッシュマネジメント, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 2014年度セミナー, 東京, 2014年11月
- 17) 申 基喆: 糖尿病と歯周病の関係 - 糖尿病患者のオーラルヘルスケアの重要性 -, トラゼンタ錠発売3周年記念講演会 in さいたま市, ブリランテ武蔵野, 2014年

11月

- 18) 辰巳順一:「インプラント周囲炎」その予防と対処法,福岡歯科大学 ICOI Fellowship program, 福岡歯科大学, 2014年11月
- 19) 林 丈一朗: 歯周病と糖尿病の関係について,明海大学歯学部附属明海大学病院「歯の健康づくり」患者様セミナー, 坂戸, 2014年11月
- 20) 申 基喆: 歯周外科シリーズ-3, ペリオドンタル&ペリインプラント・プラスチックサージェリー ライブオペコース, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 2014年度セミナー, PDI 浦安歯科診療所, 2014年12月
- 21) 申 基喆, 辰巳順一, 林 丈一朗: 歯周治療ベーシック&アドバンス 第1回 歯周治療ベーシック 診断から歯周基本治療まで,明海大学歯学部同窓会主催学術研修会, 上野ヨシダホール, 東京, 2014年12月
- 22) 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント治療後のメンテナンスとSPIS, ジーシーインプラントミーティング 2015, GC 本社, 2015年1月
- 23) 申 基喆, 林 丈一朗: 歯周外科シリーズ④ ペリオドンタル・フラップサージェリー ライブオペコース, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, PDI 浦安歯科診療所, 2015年1月
- 24) 申 基喆: 歯周外科シリーズ-4, アドバンスド・ペリオドンタル・フラップサージェリー(ライブオペコース),明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 2014年度セミナー, PDI 浦安歯科診療所, 2015年1月
- 25) 林 丈一朗: 口腔ケアが支える超高齢社会の未来 -ソニックアーの活用術-, 第3回 横浜鶴見歯周病研究会, 横浜, 2015年3月
- 26) 林 丈一朗: 歯科医師の立場から糖尿-歯周病患者の治療を考える,平成26年度糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携推進講習会, さいたま, 2015年3月
- 27) 申 基喆, 辰巳順一, 谷田部一大: デンタルスーチャリングとフラップ手術(エムドゲイン実習を含む),明海大学歯学部同窓会 2014年度学術研修会, 上野, ヨシダホール, 2015年3月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 申 基喆, 辰巳順一, 林 丈一朗, 谷田部一大, 大塚秀春, 大西英知:インプラント周囲炎に関するリスク因子解析のための前向き研究, 科学研究補助金, 基盤研究(C), 平成24~27年度, 2014年4月
- 2) 林 丈一朗, 友村明人, 申 基喆, 辰巳順一, 谷田部一大, 大西英知: 閉鎖系細胞分離システムを用いた歯槽骨由来の骨髄間葉系幹細胞による再生療法の開発, 平成26年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究, 2014年4月
- 3) 石井麻紀子:末梢血由来単核球とリン酸三カルシウム顆粒を用いた骨再生効果, 科

学研究費補助金，若手研究（B），2014年4月

- 4) 鈴木允文：慢性歯周炎でのメカニカルストレスに対する TRPV4 の役割の解明，科学研究費補助金，若手研究（B），2014年4月

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 大西英知：光ファイバ表面プラズモン共鳴による歯周病センサの開発，平成 26 年度学術研究振興資金(若手研究者奨励金)，2014年5月

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 谷田部一大：抗菌光線力学療法を用いたインプラント体表面の機械的および化学的除染効果に関する研究，宮田研究奨励金(A)，2014年5月

基礎生物学

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

(3) 一般演題

- 1) ケモカイン遺伝子のメディエーター複合体による転写制御, "廣井美紀, 大森喜弘", 2014年9月, 第56回日本歯科基礎医学会学術大会・総会
- 2) マウス扁平上皮癌細胞の IFN 耐性における細胞増殖制御遺伝子の DNA メチル化による発現抑制, 山口花、廣井美紀、大森喜弘, 2014年9月, 第56回日本歯科基礎医学会学術大会・総会
- 3) 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子 GRIM19 の発現制御機構, 森 一将, 廣井美紀、嶋田 淳、大森喜弘, 2014年9月, 第56回日本歯科基礎医学会学術大会・総会

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

廣井美紀(研究代表者):基盤研究(C), 口腔扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの誘導機構ならびに機能解析

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 廣井美紀:宮田研究奨励金(A), 口腔癌の発生, 進展におけるケモカインの機能的役割の検討

基礎化学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sekine S., Shimodaira C., Uesawa Y., Kagaya H., Kanda Y., Ishihara M., Asamo O., Sakagami H., Wakabayashi H.: Quantitative structure activity relationship (QSAR) analysis of cytotoxicity and anti-UV activity of 2-aminotropones. *Anticancer Res* 34: 174-1750, 2014.4
- 2) Shimada C., Uesawa Y., Ishihara M., Kagaya H., Kanamoto T., Terakubo S., Nakashima H., Takao K., Saito T., Sugita Y., Sakagami H.: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of phenylpropanoid amide. *Anticancer Res* 34:3543-3548, 2014.7
- 3) Shimada C., Uesawa Y., Ishihara M., Kagaya H., Kanamoto T., Terakubo S., Nakashima H., Takao K., Miyashiro T., Sugita Y., Sakagami H.: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of piperic acid amides. *Anticancer Res* 34:4877-4884, 2014.9

C. その他の刊行物など

- 1) 石原 真理子：2014年度総合理科実験（有）リュウワ印刷（埼玉）84-123頁執筆。2014年10月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 植沢芳広, 加賀谷肇, 石原真理子, 坂上宏, 嶋田智哉子, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 斎藤孝之, 高尾浩一, 杉田義昭: Phenylpropanoid amides の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析, 第130回日本薬理学会関東部会, 東京, 2014年7月
- 2) 石原真理子, 植沢芳広, 野澤(石井)玲子, 加賀谷肇, 坂上宏, 嶋田智哉子, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 宮城昂幹, 高尾浩一, 杉田義昭: Piperic acid amide 誘導体の定量的構造-細胞傷害性相関解析, 第130回日本薬理学会関東部会, 東京 2014年7月
- 3) 坂上宏, 嶋田智哉子, 石原真理子, 植沢芳広, 加賀谷肇, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 高尾浩一, 杉田義昭: 3-Styrylchromone 誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析, 第130回日本薬理学会関東部会, 東京, 2014年7月
- 4) 石原真理子, 山内雅司: ヒト口腔癌細胞に傷害活性を有する新規イソキノリン誘導体類のデザイン(その4), 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014

年 9 月

- 5) 石原 真理子 : The designing of the new derivatives of Coumarin having cytotoxic activity to human oral tumor cell (Part 1), 第 88 回日本薬理学会, 名古屋国際会議場, 2015 年 3 月

機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野（有床義歯）

歯科補綴学分野（クラウンブリッジ）

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション 学分野

歯科生体材料学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 中畠 裕: Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 2014 年
- 2) 日比野 靖, 長沢悠子, 中畠 裕: 14 義歯用材料. In: スタンダード歯科理工学 第 5 版-生体材料と歯科材料-, 榎本貢三, 中畠 裕, 西山典宏, 宮崎 隆, 米山隆之他編集, 学建書院, 東京, pp. 253-278, 2014 年

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Hoshino Y, Nakajima H, Akiba N, Hibino Y, Nagasawa Y, Sumi Y and Minakuchi S: Effect of composition of experimental fluorinated soft lining materials on bond strength to denture base resin. Dent Mater J 33, 621-630, 2014
- 2) Nagasawa Y, Hibino Y and Nakajima H: Retention of crowns cemented on implant abutments with temporary cements. Dent Mater J 33, 835-844, 2014
- 3) Inoue M, Nakajima H, Akiba N, Hibino Y, Nagasawa Y, Sumi Y and Minakuchi S: Influence of monomer content on the viscoelasticity, water sorption and solubility of experimental fluorinated soft lining materials. Dent Mater J 34, 70-77, 2015
- 4) 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 遠藤 舞, 松井藍有美, 大川 譲, 染川正多, 森 宏樹, 西脇信文, 曾根峰世, 岡本和彦, 中畠 裕, 大川周治: 金属色を遮断するクラスプコーティングレジンに関する研究-二酸化チタンの配合量が金属色遮断効果に及ぼす影響-. 明海歯学 44, 27-35, 2015 年
- 5) 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 松井藍有美, 大川 譲, 染川正多, 遠藤 舞, 天野 滋, 日比野 靖, 岡本和彦, 大森喜弘, 中畠 裕, 大川周治: 次亜塩素酸電解水を用いたアルジネート印象体の消毒に関する研究. 明海歯学 44, 36-49, 2015 年
- 6) 重田浩貴, 長沢悠子, 日比野 靖, 中畠 裕: 試作レジン成分の添加が充填用グラスアイオノマーセメントの破壊靱性値に及ぼす影響. 明海歯学 44, 62-73, 2015 年

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H and Nakajima H: Properties of experimental

temporary resin-cements made using different resin monomers. Academy of Dental Materials 2014 Annual Meeting. Bologna, Italy, October, 2014

- 2) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H and Nakajima H : Film thickness of experimental resin cements for temporary luting. 93rd General Session & Exhibition of International Association of Dental Research. Boston, U.S.A., March, 2015

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 重田浩貴, 松本賢一, 栗田 智, 尾松 純, 和田賢一, 長沢悠子, 日比野 靖, 中 嶋 裕 : 親水性レジン成分の添加が充填用従来型ガラスイオノマーセメントの破壊靱性値に及ぼす影響. 第 64 回日本歯科理工学会学術講演会, 広島, 2014 年 10 月.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 栗田 智 : 粉液比が高強度充填用ガラスイオノマーセメントの機械的性質に及ぼす影響. 第 202 回大学院歯学研究科研究発表会 (明海歯科医学会第 25 回学術大会), 坂戸, 2014 年 12 月.
- 2) 松本賢一 : レジン成分の違いが試作充填用レジン添加型ガラスイオノマーセメントの性質に及ぼす影響. 第 202 回大学院歯学研究科研究発表会 (明海歯科医学会第 25 回学術大会), 坂戸, 2014 年 12 月.
- 3) 高橋 衛 : 支台築造歯におけるセメント層の剥離が象牙質内応力分布へ及ぼす影響—鑄造ポストコアについて—. 第 203 回大学院歯学研究科研究発表会, 坂戸, 2015 年 1 月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 日比野 靖 : 基盤研究(C), 訪問診療での使用を目的とした低膨張性レジン添加型ガラスイオノマーセメントの開発.
- 2) 長沢悠子 : 若手研究(B), レジン系ディボンド型セメントの諸性質.

歯科補綴学(有床義歯)

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 頼近 繁, 眞木信太郎, 根来理沙, 濱坂弘毅, 遠藤 舞, 松井藍有美, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治: 運動エネルギーを指標とした新しい咀嚼機能評価システムの構築, "明海歯学誌, 43, 1-10", 2014年3月
- 2) 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 草野寿之, 根来理沙, 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 遠藤舞, 松井藍有美, 大川周治: 4基本味における味覚機能のスクリーニング検査法の構築, 顎機能誌 第20巻1号 115-129, 2014年3月
- 3) 奥津史子, 秋元俊成, 栗原美詠, 松井藍有美, 岡本和彦, 寺田信幸, 大川周治: Construction of a Practical System Using the Sieve Method and Image Analysis for Evaluation of Masticatory Performance—Development of a New Device for Scanning Masticatory Samples—, 明海歯科医学 43巻1号 11-17, 2014年1月
- 4) 松井藍有美, 栗原美詠, 奥津史子, 下川原 忍, 曾根峰世, 松川高明, 豊田有美子, 川上 寧, 荒野貴行, 岡本和彦, 関 雅寛, 大川周治: 下顎遊離端欠損症例における部分床義歯の設計の相違が咀嚼能率に及ぼす影響, 平成25年度日本補綴歯科学会東関東支部第17回学術大会, 埼玉, 2014年2月
- 5) 水口真美, 前川賢治, 菊谷 武, 田村文誉, 吉田光由, 大野友久, 玉田泰嗣, 近藤尚知, 木本克彦, 大川周治, 佐藤裕二, 鈴木浩司, 川良美佐雄, 窪木拓男: 患者のステージに応じた摂食・咀嚼・嚥下評価法とその対応法に関する研究: 口腔機能検査の実施可能性からみた評価法の検討, 日歯医学会誌 34, 94-98, 2015年3月
- 6) 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 遠藤 舞, 松井藍有美, 大川 穰, 染川正多, 森 弘樹, 西脇信文, 曾根峰世, 岡本和彦, 中嶋 裕, 大川周治: 金属色を遮蔽するクラスプコーティングレジンに関する研究—二酸化チタンの配合量が金属色遮蔽効果に及ぼす影響—, 明海歯科医学 44(1) 27-35, 2014年11月
- 7) 村田比呂司, 志賀博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西恭宏, 越野寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷武, 吉田光由, 古谷野潔: 高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日歯医学会誌 34, 54-58, 2015年3月
- 8) 志賀博, 横山正起, 横山敦郎, 坂口究, 服部佳功, 依田信裕, 赤川安正, 川良美佐雄, 大川周治, 祇園白信二, 小野 高裕, 前田芳信, 皆木省吾, 津賀一弘, 鱒見進一, 佐々木啓一: 歯科による口腔機能の改善が健康に及ぼす影響に関する臨床データベースの構築, 日歯医学会誌 34, 69-73, 2015年3月

- 9) 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 松井藍有美, 大川穰, 染川正多, 遠藤舞, 天野滋, 日比野 靖, 岡本和彦, 大森喜弘, 中畠裕, 大川周治: 次亜塩素酸電解水を用いたアルジネート印象体の消毒, 明海歯科医学 44 (1) 36-49, 2014年11月
- 10) 大倉一夫, 大川周治, 藤津政紀, 櫻井 薫, 馬場一美, 小川 匠, 矢谷博文, 窪木拓男, 松香芳三: 睡眠時ブラキシズムの簡便な診断法の確立と対処法の検討, 日歯医学会誌 34, 79-83, 2015年3月

3. 症例報告

- 1) M, Kawakami Y, Okutsu F, Matsukawa T, Toyota Y, Negoro R, Shimokawara S, Okamoto K and Ohkawa S : A Case Report of Occlusal Reconstruction with Overdentures Using Magnetic Attachments, Sone, JJ Mag Dent Vol.23 No.2 1-3. , 2014, 12
- 2) 曾根峰世, 川上寧, 奥津史子, 松川高明, 豊田有美子, 大川穰, 染川正多, 増田美至, 下川原忍, 岡本和彦, 大川周治: 磁性アタッチメントを応用したオーバーデンチャーにより咬合再建を行った1症例, 日磁歯誌 23 卷 1 号. 98-103, 2014年12月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Sone, M : A case report of a removable denture using magnetic attachments for mandibular molar missing with a decreased occlusal vertical dimension followed up for 3 years, "The 14th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry", 2015, 3
- 2) Kawakami, Y, Sone, M, Okutsu, F, Matsukawa, T, Toyota, Y, Negoro, R, Shimokawara, S, Seki, M, Okamoto, K, and Ohkawa, S : A Case Report of Occlusal Reconstruction with Overdenture Using Magnetic Attachments, The 13th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry, 2014, 3
- 3) Okutsu F, Somekawa S, Ohkawa Y, and Ohkawa S : Fabricating Dental Prosthesis for Odontophobic Patient with Abnormal Gag Reflex, "38th Annual Conherance of The European Prosthodontic Association (Istanbul, Turkey)", 2014, 9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 松井藍有美, 栗原美詠, 奥津史子, 下川原忍, 曾根峰世, 松川高明, 豊田有美子, 川上 寧, 荒野貴行, 岡本和彦, 大川周治: 下顎遊離端欠損症例における部分床義

- 歯の設計の相違が咀嚼能率に及ぼす影響,平成 25 年度(公社)日本補綴歯科学会東関東支部第 17 回学術大会(埼玉),2014 年 2 月
- 2) 竹下 玲, 広瀬公治, 岡本和彦, 高野安紀子, 末續真弓, 松本 勝, 清水良昭, 柴田えり子, 下島孝裕, 大川周治, 安井利一:骨芽細胞 MC3T3-E1 細胞における TNF- α による単球走化性因子 MCP-1 の発現誘導作用について,第 63 回日本口腔衛生学会・総会(熊本市),2014 年 5 月
 - 3) 奥津史子, 川上寧, 松川高明, 豊田有美子, 松井藍有美, 荒野貴行, 大川周治: 歯科恐怖症患者に全身麻酔法と系統的脱感作療法を併用して有床義歯補綴を行った 1 症例,平成 26 年度(公社)日本補綴歯科学会第 123 回学術大会(仙台),2014 年 5 月
 - 4) 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 曾根峰世, 下川原 忍, 松井藍有美, 大川 穰, 染川正多, 増田美至, 関 雅寛, 岡本和彦, 大川周治: 次亜塩素酸電解水を用いたアルジネート印象体の消毒に関する研究,(公社)日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 18 回学術大会,2015 年 2 月
 - 5) 遠藤 舞, 松川 高明, 豊田 有美子, 眞木 信太郎, 濱坂 弘毅, 松井 藍有美, 大川 穰, 染川 正多, 大川 周治: 垂直顎間距離決定の基準下顎位に関する研究—咬合支持喪失状態が[n]持続発音位に及ぼす影響—,平成 26 年度 日本顎口腔機能学会第 53 回学術大会(松戸),2014 年 10 月
 - 6) 曾根峰世: 低位咬合を伴う下顎臼歯部欠損に磁性アタッチメント義歯を応用した 3 年経過症例,日本磁気歯科学会第 24 回学術大会(熱海),2014 年 11 月
 - 7) 松川高明: 嗅覚療法を応用した高齢者における味覚機能低下の改善,明海歯科医学会第 23 回学術大会,2014 年 6 月
 - 8) 岡本和彦, 竹下 玲, 曾根峰世, 栗原美詠, 下川原 忍, 藤澤政紀, 安井利一, 大川周治: 骨芽細胞における TNF- α による単球走化性因子 MCP-1 の発現誘導作用について,平成 26 年度(公社)日本補綴歯科学会第 123 回学術大会, 仙台,2014 年 5 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 大川周治、村本和世、藤澤政紀、長谷川彰彦: 睡眠時ブラキシズムのナチュラル抑制療法の新開発, 科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 2014 年 5 月

歯科補綴学（クラウン・ブリッジ）

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 藤澤政紀：前処置，矢谷博文ら編．クラウンブリッジ補綴学第5版（医歯薬出版）104-112，2014年9月
- 2) 藤澤政紀，岩瀬直樹：概論，曾田雅啓ら編．冠橋義歯補綴学テキスト（永末書店）1-8，2015年2月
- 3) 藤澤政紀，遠藤聡：口腔内情報の記録，曾田雅啓ら編．冠橋義歯補綴学テキスト（永末書店）160-164，2015年2月

2. 訳本

- 1) 藤澤政紀，野露浩正，岩田健男：単独インプラントにおけるジルコニアアバットメントを応用したオールセラミッククラウン修復：ピンクベニアセラミックスによる審美的影響に関する前向きランダム化比較対照臨床試験，*Periodontics & restorative dentistry* 2014 Vol. 2 40-48，2014年4月
- 2) 藤澤政紀，佐藤雅介，岩田健男：860本の前歯および臼歯に対して行った二ケイ酸リチウム修復の臨床評価：術後平均3年，最長6年経過症例，*Periodontics & restorative dentistry* 2014 Vol. 3 30-41，2014年6月
- 3) 藤澤政紀，猪野照夫，岩田健男：接着性の部分被覆冠と全部被覆型メタルセラミッククラウンによって修復された根管治療後の歯の破折抵抗の比較，*Periodontics & restorative dentistry* 2014 Vol. 4 114-121，2014年8月
- 4) 藤澤政紀，飯塚知明，岩田健男：低侵襲の視点から見たラミネートベニアの支台歯形成における歯の色の影響：症例報告，*Periodontics & restorative dentistry* 2014 Vol. 5 22-29，2014年10月
- 5) 藤澤政紀，岩瀬直樹，岩田健男：顔と歯の審美性のパラメータ分析，*Periodontics & restorative dentistry* 2014 Vol. 6 32-39，2014年12月
- 6) 藤澤政紀，野露浩正，岩田健男：従来型可撤性全部床義歯をインプラント支持の固定性全部床義歯に変更することの影響，*Periodontics & restorative dentistry* 2015 Vol. 1 93-99，2015年2月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Fueki K, Ohkubo C, Yatabe M, Arakawa I, Arita M, Ino S, Kanamori T, Kawai Y, Kawara M, Komiyama O, Suzuki T, Nagata K, Hosoki M, Masumi S, Yamauchi M, Aita H, Ono T, Kondo H, Tamaki K, Matsuka Y, Tsukasaki H, Fujisawa M,

- Baba K, Koyano K, Yatani H: Clinical application of removable partial dentures using thermoplastic resin. Part II: Material properties and clinical features of non-metal clasp dentures Review, J Prosthodont Res, Vol. 58, No. 2, 71-84, 2014, 4
- 2) 佐藤雅介, 大塚英稔, 飯塚知明, 渡邊明, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 窪田佳寛, 寺田信幸, 斉藤小夏, 菅原絹枝, 藤澤政紀: 筋電計サンプリングレートの違いがブラキシズムイベントの検出能に及ぼす影響, 顎機能誌, Vol. 21, No. 1, 28-33, 2014年9月
 - 3) Sato M, Iizuka T, Watanabe A, Iwase N, Otsuka H, Terada N, Fujisawa M: Electromyogram biofeedback training for daytime clenching and its effect on sleep bruxism, J Oral Rehabil, Vol. 42, No. 2, 83-89, 2015, 2
 - 4) 澁谷 智明, 和気 裕之, 玉置 勝司, 島田 淳, 古谷野 潔, 鱒見 進一, 窪木 拓男, 皆木 省吾, 貞森 紳丞, 矢谷 博文, 藤澤 政紀, 林 勝彦, 玉井 和樹, 成田 紀之, 原 節宏, 馬場 一美, 尾口 仁志, 金村 清孝, 山口 泰彦, 西川 洋二, 塚原 宏泰, 松香 芳三, 葉山 莉香: 咬合違和感を訴える患者の実態に関する多施設実態調査, 日顎誌, Vol. 26, No. 3, 196-203, 2015年2月
 - 5) 大倉一夫, 大川周治, 藤澤政紀, 櫻井薫, 馬場一美, 小川匠, 矢谷博文, 窪木拓男, 松香芳三: 睡眠時ブラキシズムの簡便な診断法の確立と対処法の検討, 日本歯科医学会雑誌, Vol. 34, 79-83, 2015年

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 藤澤政紀: 咬合違和感と脳生理との関連を考える-知識から学ぶべきもの-咬合違和感 高次中枢関与を臨床的に診断する, 歯科心身医学会特別講演 (神奈川歯科大学横浜クリニック), 2014年7月

(2) シンポジウム

- 1) 藤澤政紀: Awake Bruxism は顎関節症の病因であるというエビデンスはあるか, 第27回日本顎関節学会総会・学術大会シンポジウム (九州大学医学部100周年講堂), 2014年7月

(3) 一般演題

- 1) 佐藤雅介, 大塚英稔, 飯塚知明, 渡邊明, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 窪田佳寛, 寺田信幸, 藤澤政紀: 筋電計サンプリングレートの違いがブラキシズムイベントの検出能に及ぼす影響, 日本顎口腔機能学会第52回学術大会 (岡山), 2014年4月

- 2) 渡邊明, 飯塚知明, 佐藤雅介, 大塚英稔, 岩瀬直樹, 川田祐, 廣川琢哉, 川邊崇史, 磯貝知範, 大久保佑香, 加藤智也, 木村英敏, 藤澤政紀: クレンチング習癖者におけるバイオフィードバック訓練閾値設定に関する検討, 日本補綴歯科学会第 123 回学術大会 (宮城), 2014 年 5 月
- 3) 川邊崇史, 野露浩正, 猪野照夫, 遠藤 聡, 日高達哉, 藤田崇史, 吉田有里, 勅使河原大輔, 渡邊美貴子, 藤澤政紀: 荷重部位の違いが支台歯歯根表面のひずみに及ぼす影響, 日本補綴歯科学会第 123 回学術大会 (宮城), 2014 年 5 月
- 4) 遠藤聡, 猪野照夫, 野露浩正, 勅使河原大輔, 藤澤政紀: 試作エピテーゼ用シリコーンの内部着色に関する研究, 日本顎顔面補綴学会第 31 回総会・学術大会 (仙台市民会館), 2014 年 6 月
- 5) 加藤智也, 野露浩正, 猪野照夫, 岩瀬直樹, 藤澤政紀: クラウンブリッジ補綴学のグループワーク実習に対するアンケート調査, 第 33 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 (北九州), 2014 年 7 月
- 6) 内田陸人, 佐藤雅介, 大塚英稔, 藤澤政紀, 寺田信幸: 覚醒時ブラキシズムに対する携帯型筋電計バイオフィードバック訓練が睡眠時ブラキシズムにおよぼす影響について, 生体医工シンポジウム 2014 (東京農工大), 2014 年 9 月
- 7) 内田陸人, 戸井田拓也, 北瀬祐也, 佐藤雅介, 藤澤政紀, 大塚英稔, 寺田信幸: 覚醒時ブラキシズムに対する携帯型筋電計バイオフィードバック訓練が睡眠時ブラキシズムにおよぼす影響, 第 5 回生体医工学研究センターシンポジウム (川越), 2015 年 2 月
- 8) 北瀬祐也, 戸井田拓也, 内田陸人, 佐藤雅介, 藤澤政紀, 大塚英稔, 寺田信幸: 携帯型筋電計装置を用いたバイオフィードバック訓練が睡眠中のブラキシズムと微小覚醒に及ぼす影響, 第 5 回生体医工学研究センターシンポジウム (川越), 2015 年 2 月
- 9) 戸井田拓也, 北瀬祐也, 内田陸人, 佐藤雅介, 藤澤政紀, 大塚英稔, 寺田信幸: 携帯型筋電計装置を用いたバイオフィードバック訓練が睡眠中の脳波に及ぼす影響, 第 5 回生体医工学研究センターシンポジウム (川越), 2015 年 2 月
- 10) 飯塚知明, 佐藤雅介, 大塚英稔, 勅使河原大輔, 渡邊 明, 岩瀬直樹, 齊藤小夏, 菅原絹枝, 猪野照夫, 藤澤政紀: 日中のバイオフィードバック訓練によるブラキシズムイベントと心拍数の変化, 平成 26 年度日本補綴歯科学会東関東支部学術大会 (水戸), 2015 年 2 月

3. 地方会

(2) シンポジウム

- 1) 藤澤政紀: 専門医研修セミナーメインテーマ「エビデンスに基づく補綴処置の治療計画立案について」補綴学会が提唱しているガイドラインについて, 平成 26

年度 公益社団法人日本補綴歯科学会西関東支部専門医研修セミナー（マホロバ
マインズ三浦），2014年8月

- 2) 佐藤雅介，藤澤政紀，飯塚知明，渡邊明，大塚英稔，岩瀬直樹，窪田佳寛，寺田
信幸：携帯型筋電計バイオフィードバック装置の臨床応用にむけて～これまでの
成果と今後の展望～Clinical Application of the Portable Electromyogram
Biofeedback Device～ Results of the past and Scope of the future ～，第5
回 生体医工学研究センターシンポジウム（川越），2015年2月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀：デリケートな咬合と色調を扱うために，鶴見大学補綴症例会特別講演
（鶴見大学），2014年4月
- 2) 勅使河原大輔：汎用デジタルカメラを用いた顔面形状計測，明海歯科医学会第23
回学術大会（第12回中間発表会）（明海大学）2014年6月
- 3) 藤澤政紀：デリケートな咬合を扱うための Tips, 岩手医科大学歯学部埼玉県同窓
会学術講演会（大宮），2014年7月
- 4) 藤澤政紀：測色法による歯冠色選択の臨床, 与野歯科医師会学術講演会（さいたま
市），2014年9月
- 5) 木村英敏：EMG バイオフィードバック訓練による日中クレンチング抑制効果の持
続性に関する検討，明海歯科医学会第24回学術大会（第13回中間発表会）（明海
大学），2014年10月
- 6) 大塚英稔：日中の咀嚼筋バイオフィードバック訓練が睡眠中の脳波に及ぼす影響，
第13回中間発表会（明海大学），2014年10月
- 7) 河合美貴子：天然歯における色彩学的研究—上下左右中切歯における厚径と色の
関連性— 明海歯科医学会第25回学術大会（第14回中間発表会）（明海大学），2014
年12月
- 8) 佐藤剛：有限要素法による支台築造歯の応力解析—ファイバーポスト併用による
支台築造—，明海歯科医学会第26回学術大会（明海大学），2015年1月
- 9) 藤澤政紀：日常臨床で気を付けたい咬合の問題—咬合違和感とブラキシズムへの
理解と対応—，北埼玉歯科医師会学術講演会（加須），2015年2月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 藤澤政紀：日中の筋電図バイオフィードバックが夜間ブラキシズム抑制に及ぼす
効果の多施設検証，日本学術振興会科学研究費補助金基盤(B)23390447 平成 23
年度から平成 27 年度.
- 2) 渡邊 明：ストレスレベルとの関連性からみたクレンチングコントロールに対す

るアプローチ，日本学術振興会科学研究費補助金若手研究（B）24792103 平成 24 年度から 26 年度．

- 3) 藤澤政紀（分担者；岡本和彦(研究代表者)：歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科補綴学における臨床的意義，日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C）23592866 平成 24 年度から 26 年度．
- 4) 藤澤政紀：超高齢社会に適応するデジタルデンティストリーシステムの構築，日本学術振興会科学研究費助成事業挑戦的萌芽研究 2667084 平成 25 年度から 26 年度．
- 5) 飯塚知明：日中と夜間のブラキシズムの関連をストレスレベルから解明する，日本学術振興会科学研究費助成事業若手研究（B）25861863 平成 25 年度から 26 年度．
- 6) 藤澤政紀（分担者；金村清孝（研究代表者）：小型筋電計による終日咀嚼筋筋電図記録をインプラントの難易度判定に応用する，日本学術振興会科学研究費補助金基盤（C）25463014 平成 25 年度から 27 年度．
- 7) 野露浩正：次世代型ファイバーポストコアの力学的検討，日本学術振興会科学研究費助成事業若手研究（B）26861651 平成 26 年度から 28 年度．

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 遠藤聡：コンピューターカラーマッチングによるエpiteーゼの色調構築に関する色彩学的検討，宮田研究奨励金（A）平成 26 年度．
- 2) 勅使河原大輔：超高齢化社会に対応するデジタルデンティストリーシステムの構築，宮田研究奨励金（E）平成 26 年度．

保存治療学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 横瀬敏志, 小林健二, 中村裕子, 門倉弘志, 市村 葉, 小谷依子, 高橋哲哉, 小澤有美, 鈴木瑛子, 橋島弓子, 井出祐樹, 高良芳樹, 藤原ひかり, 横山博一, 高瀬啓一郎, 上田堯之, 石岡和仁, 小川千尋, 日下洋平, 高橋淳哉, 松本まりさ : 歯内療法学実習書, 株式会社ヨシダ, 東京, 2014年11月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 鈴木瑛子 : 薬液を応用した NiTi ファイル破折片の除去に関する基礎的研究—薬液温度および浸漬方法が腐食に及ぼす影響—, 日本歯科保存学雑誌, 57, 245-259, 2014年6月

2. 総説

- 1) 中村裕子 : 専門医への道, 日本歯内療法学会雑誌, 35, 82 - 85, 2014年5月

C. その他の刊行物など

- 1) 市村葉、横瀬敏志 : 顎関節痛へのツボ刺激の効果, "デンタルダイヤモンド, 2014, 39, (575), 110 - 111." , 2014年10月
- 2) 横瀬敏志, 鈴木瑛子, 小谷依子 : 上顎前歯の意図的な再植に炭酸ガスレーザーを応用した症例, 埼玉県歯科医師会 埼玉歯だより 秋号 No. 556 『臨床サロン』, 6-9, 2014年9月
- 3) 横瀬敏志 : 上顎臼歯の移植法に炭酸ガスレーザーを応用した症例, 埼玉県歯科医師会 埼玉歯だより 冬号 No. 557 『臨床サロン』 55-58, 2014年12月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 中村裕子, 井出祐樹, 門倉弘志, 高橋哲哉, 横瀬敏志 : Mineral Trioxide Aggregate による歯髄組織反応の組織学的研究, 第140回 日本歯科保存学会 2014年春季学術大会, 滋賀, 2014年6月
- 2) 市村葉、片山直、横瀬敏志 : 痛みのコントロールにおける合谷と迎香の関連について—ハリとCO2レーザーとの比較—, 第140回 日本歯科保存学会 2014年春

季学術大会, 2014年6月

- 3) 門倉弘志, 横瀬敏志: Collagen matrix によるラット初代歯髓細胞の3次元培養法, 第140回日本歯科保存学会2014年春季学術大会, 2014年6月
- 4) 高橋哲哉, 門倉弘志, 井出祐樹, 鈴木瑛子, 中村裕子, 横瀬敏志: 吸収性ガッタパーチャを移植したラット脛骨の組織学的観察, 第35回日本歯内療法学会学術大会, 新潟, 2014年7月
- 5) 小澤有美, 片山直, 市村葉, 横瀬敏志: 各種コンポジットレジンの色彩学的研究, 第22回日本歯科色彩学会総会, 2014年7月
- 6) 高橋哲哉, 門倉弘志, 井出祐樹, 上田堯之, 日下洋平, 鈴木瑛子, 横瀬敏志: 吸収性ガッタパーチャを移植したラット脛骨の骨組織に及ぼす影響, 第141回日本歯科保存学会, 2014年10月
- 7) 山崎崇秀, 門倉弘志, 菊井徹哉, 横瀬敏志: ラット脛骨骨欠損部位の治癒過程に及ぼす半導体レーザー照射の影響について, 第26回日本レーザー歯学会学術大会 2014年12月
- 8) 吉野晃, 門倉弘志, 横瀬敏志: 炭酸ガスレーザー照射によりフィクスチャーの動揺が消失した1症例, 第26回日本レーザー歯学会学術大会, 2014年12月

3. 地方会

(2) シンポジウム

- 1) 小林健二: 歯内療法からみた外傷歯の保存の限界, 第4回日本外傷歯学会東日本地方会総会・学術大会, 東京, 2014年4月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 市村葉, 小山悠子, 棕梨兼彰: 女性のための歯科東洋医学, 日歯科東洋医学会セミナー, 東京, 2014年8月
- 2) 小林健二, 横瀬敏志: イオン徐放性 S-PRG フィラー含有ルートキャナルシーラーを移植したラット脛骨の組織学的観察, 生体機能性材料“S-PRG フィラー”研究会, 京都, 2015年2月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 高橋哲哉: 根管内破折した NiTi ファイルを腐食により脆弱化させて除去を容易にする方法の確立, 科学研究費補助金, 若手研究 (B), 2014年4月
- 2) 横瀬敏志: 未知なる歯髓細胞の機能を解析し、新たな歯髓再生療法の臨床的展開を目指す。科学研究費補助金, 基盤研究 (A), 2014年
- 3) 中村裕子: エナメルプロテインに関わる血管内皮細胞実験系の研究, 科学研究費

補助金, 基盤研究 (C) , 2014 年 4 月

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 中村裕子: 歯髄創傷治癒に及ぼす Enamel matrix derivative の影響, 宮田研究奨励金 (A)

オーラル・リハビリテーション学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kenichi Mizobe, Yoshihiro Kawabe, Yasuhiko Bando, Koji Sakiyama, Hisao Araki, and Osamu Amano : Localization of Hsp27 in the Rat Submandibular Gland Following the Application of Various Surgical Treatments, *Acta of Histochem and Cytochem*, 47 (6), 255-264, 2014, 12

3. 症例報告

- 1) 谷本博則, 川邊好弘, 本木萌洋, 北風新平, 溝部健一, 荒木久生 : インプラント周囲組織に対しティッシュマネージメントを行った一症例, *明海歯学誌*, 44, 106-113, 2015年2月
- 2) 伊藤善浩, 川邊好弘, 本木萌洋, 北風新平, 溝部健一, 荒木久生 : 下顎位の偏位を伴う患者に対し咬合再構成を行った一症例, *明海歯学誌*, 44, 98-105, 2015年2月
- 3) 荒木久生 : 上顎犬歯欠損にインプラント治療を行った一症例, *日本歯周病学会会誌*, 第56巻第3号 323-329, 2014年9月

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 川邊好弘, 溝部健一, 天野修 : 外科的刺激のラット顎下腺筋上皮細胞の形態変化, 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会・福岡市, 2014年9月

(3) 一般演題

- 1) Sakashita H, Bando Y, Sakiyama K, Kawabe Y, Owada Y, Sakashita H and Amano O : Immunocalization of E-FABP in Meckel's Cartilage of Mice, 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会・神戸市, 2015年3月
- 2) Bando Y, Sakashita H, Kawabe Y, Sakiyama K, Yamamoto M, Iseki S, Owada Y and Amano O : Influence by excess and deficiency of retinoic acids on septoclasts in the epiphyseal plate of mice, 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会・神戸市, 2015年3月
- 3) Sakiyama K, Bando Y, Kawabe Y, Sakashita H and Amano O : Insulin-Growth Factor I Affects the Expression of Irisin, 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会・神戸市, 2015年3月
- 4) Kawabe Y, Mizobe K, Bando Y, Sakiyama K and Amano O : Morphological Changes

- of Myoepithelial Cells in the Rat Submandibular Gland Following the Partial or Total Sialoadenectomy, 第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会・神戸市, 2015 年 3 月
- 5) Suzuki, Shigeki Matsumoto, Tatsuhiko Tanabe, Masako Abe : The Improvement of Quality of Life by Utilizing Dental Implants, Reiji, "ICOI (International Congress of Oral Implantologists) World Congress XXXI. Tokyo, Japan", 2014, 10
 - 6) 鈴木惇也, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 荒木久生 : すれ違い咬合患者に対して咬合再構成を行った一症例, 第 32 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2014 年 6 月
 - 7) 荒木久生 : ブラッシングを再考する, 第 35 回日本歯内療法学会学術大会, 2014 年 7 月
 - 8) 北風新平, 荒木久生 : 広汎型慢性歯周炎患者に対して歯周外科治療を行った一症例, 第 57 回春季日本歯周病学会学術大会, 岐阜, 2014 年 5 月
 - 9) 谷本博則, 荒木久生 : 広汎型慢性歯周炎患者に対して歯周組織再生療法および歯周形成外科を行った一症例, 第 57 回春季日本歯周病学会学術大会, 岐阜, 2014 年 5 月
 - 10) 谷本博則, 荒木久生 : 上下顎欠損補綴に対する包括的治療, 日本顎咬合学会第 32 回学術大会, 2014 年 6 月
 - 11) 田邊達彦, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 荒木久生 : 上顎右側中切歯単独欠損に対してインプラント修復を行った一症例, 第 32 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2014 年 6 月
 - 12) 崎山浩司, 坂東康彦, 川邊好弘, 坂下英, 天野修 : 成長因子と irisin との関係, 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会・福岡市, 2014 年 9 月
 - 13) 大島拓也, 荒木久生 : 清掃性を考慮し歯周組織再生療法と LOT を応用した一症例, 日本顎咬合学会第 32 回学術大会, 2014 年 6 月
 - 14) 根本聡, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 荒木久生 : 多数歯欠損患者への咬合再構成の一症例, 第 32 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2014 年 6 月
 - 15) 松田哲, 儀保逸哉, 溝部健一, 川邊好弘, 荒木久生 : 明海大学 PDI 東京歯科診療所における新来患者臨床統計的検討, 第 27 回日本口腔診断学会学術大会, 2014 年 9 月
 - 16) 松本和也, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 荒木久生 : 臨床的歯冠長延長術を行った後全顎的補綴を行った一症例, 第 32 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2014 年 6 月
 - 17) 溝部健一, 荒木久生 : 咬合過重負担を伴ったインプラント周囲炎患者に対し, 再生療法を行った一症例, 第 57 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2014 年 10 月
 - 18) 伊藤善浩, 川邊好弘, 荒木久生 : 咬合再構成を行った一症例, 日本顎咬合学会第 32 回学術大会, 2014 年 6 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 竹ノ谷淳, 鏡智雄: ブラッシング指導を中心に口腔内環境の改善を図った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 2) 大高由誉, 本木萌洋: 全身疾患を伴う慢性歯周炎患者の歯周基本治療, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 3) 中浜亮, 宮崎啓: 重度歯周病患者に対し, 歯周基本治療を行った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 4) 月田友哉, 北風新平: 重度歯周炎患者に対し FMD を行った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 5) 古谷信一, 北風新平: フラットテーブルを用いて, 下顎位の修正を行った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 6) 鈴木智史, 川邊好弘: 安定した中心咬合位をもとめて移行義歯を利用した一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 7) 高橋政嗣, 若菜健弘: オーバーデンチャーで残存歯の歯根膜反射をコントロールした一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 8) 中野俊介, 若菜健弘: 上下顎総義歯を新製した一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 9) 三木あゆみ, 本木萌洋: 前歯部補綴におけるプロビジョナルレストレーションの応用, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 10) 橋本昂, 北風新平: 矯正的挺出を応用した補綴症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 11) 伊藤友里子, 松本篤樹: 補綴前処置として MTM を行った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 12) 本田篤史, 溝部健一: 根面被覆の術式選択に CBCT を応用した一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 13) 玉置佳嵩, 鈴木玲爾: 補綴前処置として歯周外科処置を行った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月
- 14) 浅見健介, 谷本博則: 慢性歯周炎患者に対して歯肉弁剥離搔把術を行った一症例, 第 35 回 PDI 研修医症例報告会, 2015 年 3 月

病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野 1

口腔顎顔面外科学分野 2

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

病理学

1. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 田中収, 嶋田淳, 白川正順; 執筆者: 相浦州吉, 赤澤敏之, 秋月達也, 浅井宏行, 菊池建太郎, 他 199 名: Implant Dentistry Encyclopedia. クインテッセンス出版株式会社, 東京, 215:222-223, 2014 年 12 月
- 2) 草間薫: がん患者の口腔ケアと医療連携 その 3; よく分かる口腔がん発生・進展の機序. 平成 26 年度日本大学歯学部生涯学習講演会, 生涯学習シリーズ(17), 2015 年 3 月

2. 学術論文

1. 原著

- 1) Horie N, Hashimoto K, Hino S, Kato T, Shimoyama T, Kaneko T, Kusama K, Sakagami H: Anti-inflammatory potential of Rikkosan based on IL-1 network through macrophages to oral tissue cells. *In Vivo*, 28(4):563-9, 2014.7
- 2) Kato T, Hino S, Horie N, Shimoyama T, Kaneko T, Kusama K, Sakagami H: Anti-UV activity of Kampo medicines and constituent plant extracts: re-evaluation with skin keratinocyte system. *In Vivo*, 28(4):571-8, 2014.7
- 3) Inoue H, Tsuchiya H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Ide F, Sakashita H, Kusama K: Podoplanin expressing cancer-associated fibroblast in oral cancer. *Tumour Biol*, 35(11):11345-52, 2014.11

2. 総説

- 1) 井上ハルミ, 星野都, 菊池建太郎, 宮崎裕司, 坂下英明, 草間薫: 各種病変における podoplanin 発現とその意義. *明海歯科医学*, 44(1):1-8, 2015 年 2 月
- 1) Ide F, Kikuchi K, Sakashita H, Muramatsu T, Kusama K: Neurovascular involvement in central odontogenic fibroma: a potential source of confusion with invasive carcinoma. *Histopathology*, 66(7):1044-6, 2015.2
- 2) Ide F, Kikuchi K, Kusama K, Muramatsu T: Primordial odontogenic tumor: is it truly novel? *Histopathology*, 66(4):603-4, 2015.3
- 3) Ide F, Kikuchi K, Miyazaki Y, Kusama K, Saito I, Muramatsu T: The early history of odontogenic ghost cell lesions: from Thoma to Gorlin. *Head Neck Pathol*, 9(1):74-8, 2015.3

3. 症例報告

- 2) 清河年彦, 重松久夫, 奥結香, 星野都, 菊池建太郎, 坂下英明: 多発性口内炎と疣贅型黄色腫を併発した1例. 日本口腔科学会雑誌, 63:226-32, 2014年4月
- 3) 小高杏子, 重松久雄, 河本生実, 鈴木正二, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 小児の舌に発生した神経鞘腫の1例—文献的考察を加えて—. 日本小児口腔外科学会雑誌, 24:38-44, 2014年6月
- 4) 田村暢章, 竹島浩, 菊池建太郎, 後藤英之, 青木竜平, 藤田耕太郎, 川口祥子, 大山洋子, 園川拓哉, 豊田博行, 浦啓修, 松山博康, 田草川徹, 龍田恒康, 草間薫, 嶋田淳: 下顎骨に発生した正角化性歯原性嚢胞の1例. 明海歯科医学雑誌, 44:114-8, 2015年2月

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 菊池建太郎: 歯原性腫瘍の病理診断. 第63回日本病理学会関東地方学術集会, 東京, 2014年6月

(3) 一般演題

- 1) 菊池建太郎, 伊藤由美, 星野都, 井上ハルミ, 宮崎裕司, 井出文雄, 斉藤一郎, 小島勝, 山内雅司, 草間薫: Overexpression of AID in MTX- and age? related EBV-associated B cell lymphoproliferative disorders of the head and neck. 第103回日本病理学会総会, 広島, 2014年4月
- 2) 藤原敬子, 森一将, 小貫裕之, 松本聡, 鈴木崇夫, 岩橋由佳子, 菊池建太郎, 草間薫, 嶋田淳: 上顎歯肉癌切除後の口蓋欠損部に有茎移植術を施行した1例. 第68回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2014年5月
- 3) 星野都, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 坂下英明, 草間薫: 口腔顎顔面領域における角化性嚢胞状病変に関する研究. 第68回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2014年5月
- 4) 森一将, 藤原敬子, 小貫裕之, 藤田耕太郎, 峯岸敏, 菊池建太郎, 草間薫, 嶋田淳: 骨髄移植後GVHD経過中に発症した下唇疣贅扁平上皮癌の1例. 第68回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2014年5月
- 5) 江口碧, 重松久夫, 奥結香, 勅使河原睦, 鈴木正二, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 舌に生じた血栓の1例. 第197回日本口腔外科学会関東地方学術集会, 栃木, 2014年6月
- 6) 菊池建太郎, 奥結香, 星野都, 井上ハルミ, 宮崎裕司, 井出文雄, 坂下英明, 草間薫: A case of mantle cell lymphoma presenting with hard palatal swelling as the first clinical sign. 第25回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 新潟, 2014年8月

- 7) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 星野都, 井上ハルミ, 山内雅司, 草間薫: 口腔におけるテロメラーゼ活性と癌進展との相関性に関する研究. 第 56 回 歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
- 8) 奥結香, 勅使河原睦, 鈴木正二, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 舌根部正中に発生した異所性粘液嚢胞の 1 例. 第 59 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 東京, 2014 年 10 月
- 9) 田村暢章, 岩橋由佳子, 池田善彦, 菊池建太郎, 竹島浩, 草間薫, 嶋田淳: 下顎前歯部に発生した腺性嚢胞の 1 例. 第 59 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 東京, 2014 年 10 月
- 10) 藤原敬子, 森一将, 松山博康, 上杉祐一郎, 菊池建太郎, 田村暢章, 竹島浩, 草間薫, 嶋田淳: 顎下腺原発と考えられた悪性リンパ腫の 1 例. 第 59 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 東京, 2014 年 10 月
- 11) 新井麻貴, 鈴木正二, 堀智一, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: クラインフェルター症候群の一例. 第 26 回 日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 栃木, 2014 年 11 月
- 12) 鈴木晴奈, 重松久夫, 奥結香, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 下顎骨中心性癌の 1 例. 第 198 回 日本口腔外科学会関東地方会, 神奈川, 2014 年 12 月
- 13) 森一将, 藤原敬子, 菊池建太郎, 草間薫, 嶋田淳: Methotrexate に起因したと考えられた難治性潰瘍の一例. 第 24 回 日本有病者歯科医療学会総会, 北海道, 2015 年 3 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 菊池建太郎: 口腔癌の発生・浸潤・転移メカニズムにおける EBV と歯周病の関与. 科学研究助成事業 基盤研究 (C): 研究課題番号: 25463118, 2013-2015

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 宮崎裕司: 口腔におけるテロメラーゼ活性化要因の同定および発癌・癌進展への影響に関する研究. 宮田研究奨励金 (A)

薬理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 牧純, 田邊知孝, 畑晶之, 関谷洋志, 玉井栄治, 坂上宏, 舟橋達也 (牧純編著): 日本史にみる医薬と健康. 翔雲社出版 (福知山) 教科書, 1-123, 2014, 9
- 2) 安達一典: パーキンソン病での咀嚼解析. Annual Review 2015 神経, 189-195, 2015年1月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sekine S, Shimodaira C, Uesawa Y, Kagaya H, Kanda Y, Ishihara M, Amano O, Sakagami H and Wakabayashi H: Quantitative structure activity relationship (QSAR) analysis of cytotoxicity and anti-UV activity of 2-aminotropones. Anticancer Res, 34: 174-1750, 2014. 4
- 2) 堀江憲夫, 長尾隆英, 日野峻輔, 加藤崇雄, 金子貴広, 坂上宏, 安達一典: 立効散鎮痛効果の仮性疼痛モデルによる検討. 歯薬療法, 33(1): 1-9, 2014年6月
- 3) Horie N, Hashimoto K, Hino S, Kato T, Shimoyama T, Kaneko T, Kusama K and Sakagami H: Anti-inflammatory potential of Rikkosan based on IL-1 β network through macrophage to oral tissue cells. In Vivo, 28: 563-570, 2014. 7
- 4) Kato T, Hino S, Horie N, Shimoyama T, Kaneko T, Kusama K and Sakagami H: Anti-UV activity of Kampo medicines and constituent plant extracts: re-evaluation with skin keratinocyte system. In Vivo, 28(4): 571-578, 2014. 7
- 5) Garcia-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Kanda Y, Nakajima H and Sakagami H: Cytotoxicity and pro-inflammatory action of chemo-mechanical caries removal agents against oral cells. In Vivo, 28: 549-556, 2014. 7
- 6) Shimada C, Uesawa Y, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K, Saito T, Sugita Y and Sakagami H: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of phenylpropanoid amide. Anticancer Res, 34(7): 3543-3548, 2014. 7
- 7) Suzuki R, Matsuo S, Sakagami H, Okada Y and Shirataki Y: Search of new cytotoxic crude materials against human oral squamous cell carcinoma using NMR metabolomics. Anticancer Res, 34(8): 4117-4120, 2014. 8
- 8) Mena AA, Sakagami H, Matsuta T, Adachi K, Otsuki S, Nakajima H, Satoh K, Kananoto T, Terakubo S, Nakashima H, Salgado AV and Montiel NM: Cytoprotective

- effects of *Opuntia Ficus-Indica* extract. *New Food Industry*, 56(9): 59-69, 2014.9
- 9) Shimada C, Uesawa Y, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K, Miyashiro T, Sugita Y and Sakagami H: Quantitative structure cytotoxicity relationship of piperic acid amides. *Anticancer Res*, 34(9): 4877-4884, 2014.9
- 1 0) Garcia-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Kanda Y, Nakajima H and Sakagami H: Effects of TiO₂ nano glass ionomer cements against normal and cancer oral cells. *In Vivo*, 28(5): 895-907, 2014.9
- 1 1) Ohno H, Miyoshi S, Araho D, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Tsuda T, Sunaga K, Amano S, Ohkoshi E, Sakagami H, Satoh K and Yamamoto M: Efficient utilization of licorice root by alkaline extraction. *In Vivo*, 28(5): 785-794, 2014.9
- 1 2) 南部久美, 富田至保, 坂上 宏, 嶋田淳: Genitinib と SN-38 の併用による口腔扁平上皮癌細胞株の増殖抑制効果. *明海歯学 (J Meikai Dent Med)*, 43(2): 131-139, 2014年9月
- 1 3) Shimada C, Uesawa Y, Ishii-Nozawa R, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K, Sugita Y and Sakagami H: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-styrylchromones. *Anticancer Res*, 34(10): 5405-5412, 2014.10
- 1 4) Garcia-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Sakagami H, Morales-Lukie RA and Nakajima H: A comparative in vitro efficacy of conventional rotatory and chemo-mechanical caries removal: influence on cariogenic flora. microhardness and residual composition. *J Conserv Dent*, 17: 536-540, 2014.11
- 1 5) Matsuo Y, Sakagami H and Mimaki Y: A rare type of sesquiterpene and β -santalol derivatives from *Santalum album* and their cytotoxic activities. *Chem Pharm Bull*, 62(12):1192-1199, 2014.12
- 1 6) Maki J, Tanabe T, Sekiya H, Hata M, Tamai E, Sakagami H and Funahashi T: The visual recognition of parasitic helminths in Japan before the introduction of parasitology from Germany - A preliminary note on the confirmation from Jomon Period onward. *Matsuyama University Review*, 26(5): 231-248, 2014.12
- 1 7) Watanabe M, Suzuki R, Tomomura M, Sakagami H, Tomomura A and Shirataki Y: Constituents of the leaves of *Odontioda Marie Noel 'Verano'* with inhibitory activity on RANKL-induced osteoclast differentiation. *Shoyakugaku Zasshi*,

69(1): 20-21, 2015.1

- 18) Kuroda M, Ori K, Takayama H, Sakagami H and Mimaki Y: Karataviosides G-K, five new bisdesmosidic steroidal glycosides from the bulbs of *Allium karataviense*. *Steroids*, 93: 96-104, 2015.1
- 19) Gul HI, Tugrak M and Sakagami H: Synthesis of some acrylophenones with N-methylpiperazine and evaluation of their cytotoxicities. *Enzyme Inhib Med Chem*, 20: 1-5, 2015.2

2. 総説

- 1) 牧純, 畑晶之, 田邊知孝, 関谷洋志, 玉井栄治, 坂上宏, 舟橋達也: 薬学・科学用語を中心とした頭字語の A から Z (ミニレビュー). *愛媛県病薬会誌*, 115: 11-14, 2014年9月
- 2) Sakagami H: Biological activities and possible dental application of three major groups of polyphenols. *J Pharmacol Sci*, 126: 92-106, 2014.10
- 3) 坂上宏, 杉本昌弘: 網羅的メタボローム解析を用いた口腔扁平上皮癌細胞死誘導における代謝動態の解析. *口腔組織培養学会誌*, 23(2): 9-17, 2014年10月
- 4) Ikeda H, Adachi K, Fujita S, Tomiyama K, Saigusa T, Kobayashi M, Koshikawa N and Waddington JL: Investigating complex basal ganglia circuitry in the regulation of motor behaviour, with particular focus on orofacial movement. *Behav Pharmacol*, 26(1-2): 18-32, 2015.2

C. その他の刊行物

- 1) 牧純, 関谷洋志, 田邊知孝, 畑晶之, 舟橋達也, 玉井栄治, 河瀬雅美, 坂上宏: 体への寄生虫感染を警戒すべき食材(11) “勇氣”では防げないマンソン孤虫の感染と驚愕の結末. *New Food Industry*, 56(5): 59-65, 2014年5月
- 2) 坂上宏, 新井友理, 久野貴史, 久保英範, 染川正多, 高野頌子, 津島浩憲, 三次義人, 秋田紗世子, 健石雄, 大越絵実加, 田中庄二, 松本勝, 安井利一, 伊藤一芳, 牧純, 渡邊康一, 北嶋まどか, 堀内美咲, 賈俊業, 大泉浩史: 大泉高明ササヘルス配合歯磨剤の口腔環境改善効果: 口臭と舌細菌数の相関. *New Food Industry*, 56(6): 27-35, 2014年6月
- 3) 坂上宏: セレンディピティの種一抗ウイルス剤の開発、ネットワークはふとした出会いから始まる. *機能材料*, 36:65-67, 2014年6月
- 4) 牧純, 田邊知孝, 畑晶之, 関谷洋志, 坂上宏, 難波弘行, 玉井栄治, 舟橋達也, 山口巧: 薬学史の時代区分に関する研究ー(3)江戸時代の別府地域(大分県)における温泉の医療利用に関する時系列的研究. *松山大学論文*, 26(2): 121-133, 2014年6月

- 5) 坂上宏:組織の活性化と人材の育成～自主性とコミュニケーションの大切さ. *New Food Industry*, 56:93-98, 2014年8月
- 6) 牧純, 田邊知孝, 畑晶之, 関谷洋志, 坂上宏, 玉井栄治, 舟橋達也:江戸時代の海外交流と医療・感染症に関する基盤研究の試み—前後の時代との比較も視野に入れて—. *松山大学論集*, 26(5):165-203, 2014年10月
- 7) 坂上宏, 佐藤和恵, 加藤崇雄, 下山哲夫, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 須永克佳, 津田整, 牧純, 吉原正晶:松の実殻アルカリ抽出液(SPN)の生物活性と今後の展望. *New Food Industry*, 57(1):19-26, 2015年1月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Umemura N, Ohkoshi E and Sakagami H: CD44-targeted chemotherapy inhibits tumor recurrence in head and neck squamous cell carcinoma. 19th World Congress on Advances in Oncology and 17th International Symposium on Molecular Medicine, Athens, Greece, 2014.10
- 2) Adachi K, Hino S, Odai R, Shimoyama T, Sakagami H, Gilles JL and Barry J: Glycine-mediated jaw-opening reflex excitability in rats. *Neuroscience*, Washington DC, USA, 2014.11
- 3) Sasaki A, Hasegawa N, Takahashi K, Yun G, Nagao T, Suda N, Sakagami H and Adachi K: Morphological and physiological alterations evoked by orthodontic force in rats. *Neuroscience*, Washington DC, USA, 2014.11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田島雅道, 坂上宏:グルタミン酸は zoledronate による骨芽細胞障害を抑制する. 第56回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014年9月
- 2) 坂上宏, 嶋田智哉子, 神田由未子, 天野修, 杉本昌弘, 高尾浩一, 杉田義昭: (E)-3-(4-Hydroxystyryl)-6-methoxy-4H-chromen-4-one のヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する選択毒性の解析. 第131回日本薬理学会関東部会, 横浜, 2014年10月
- 3) 坂上宏, 嶋田智哉子, 石原真理子, 植沢芳広, 加賀谷肇, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 高尾浩一, 杉田義昭: 3-Styrylchromone 誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析. 第130回日本薬理学会関東部会, 東京, 2014年7月
- 4) 植沢芳広, 加賀谷肇, 石原真理子, 坂上宏, 嶋田智哉子, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 斎藤孝之, 高尾浩一, 杉田義昭: Phenylpropanoid amides の定量的構

- 造 - 細胞傷害性相関解析. 第 130 回日本薬理学会関東部会, 東京, 2014 年 7 月
- 5) 石原真理子, 植沢芳広, 野澤 (石井) 玲子, 加賀谷肇, 坂上宏, 嶋田智哉子, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 宮城昂幹, 高尾浩一, 杉田義昭 : Piperic acid amide 誘導体の定量的構造-細胞傷害性相関解析. 第 130 回日本薬理学会関東部会, 東京, 2014 年 7 月
 - 6) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H and Tomomura A : Rhinacanthins C Inhibits RANKL-induced Osteoclast Differentiation by Suppressing MAPKs/NF- κ B/NFATc1 Pathways through Preventing TRAF6-TAK1 Formation. American Society for Bone and Mineral Research, 2014.9
 - 7) 坂上宏, 大越絵実加, 加藤崇雄, 下山哲夫, 北嶋まどか, 賈俊業, 大泉高明, 杉本昌弘 : クマ笹アルカリ抽出液のヒト歯肉線維芽細胞に対する抗炎症効果の解析. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 8) 尾台令奈, 日野峻輔, 渡部茂, 坂上宏, 安達一典 : グリシンの三叉神経運動核への投与がラットの顎開口反射興奮性に及ぼす影響. 第 56 回歯科基礎医学会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 9) 佐々木会, 長谷川尚哉, 坂上宏, 天野修, 安達一典, 須田直人 : 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルの薬理的評価. 第 56 回歯科基礎医学会, 2014.9・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 10) 田島雅道, 坂上宏 : グルタミン酸は zoledronate による骨芽細胞傷害を抑制する. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 11) 梅村直己, 坂上宏 : 腫瘍内浸潤マクロファージは解糖系亢進とともに免疫抑制能を保持する. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 12) 田中庄二, 秋田紗世子, 谷口潔, 片山直, 荻原孝, 小口寛子, 渡部茂, 坂上宏, 杉本昌弘 : 小児および成人の唾液メタボローム解析 : 特に、プロリン/グリシン比の変動に着目して. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 13) 大越絵実加, 梅村直己, 坂上宏 : 頭頸部扁平上皮癌における berberine の Notch-1 のダウンレギュレーション. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 14) 渡部美緒, 鈴木龍一郎, 友村美根子, 坂上宏, 友村明人, 白瀧義明 : ラン科植物 *Odontioda Marie Noel* ‘Velano’ 由来フェナンスレン類の破骨細胞分化抑制活性. 生薬学会, 福岡, 2014 年 9 月
 - 15) 田草川 徹, 松山博康, 前川雄哉, 田島雅道, 嶋田 淳 : Zoledronate の骨芽細胞障害に対するグルタミン酸の防御作用について. 第 59 回日本口腔外科学会学術大会, 千葉, 2014 年 10 月
 - 16) 友村美根子, 鈴木龍一郎, 渡部美緒, 白瀧義明, 坂上宏, 友村明人 : リナカンチン C は RANKL による TRAF6-TAK1 複合体形成を阻害し、破骨細胞の分化を抑制す

- る。第 87 回日本生化学会大会，京都，2014 年 10 月
- 1 7) 佐々木会，安達一典，加藤悠歩，藤本舞，真野樹子，天野修，須田直人：矯正治療に伴う痛みの定量評価：動物モデルによる解析。第 73 回日本矯正歯科学会大会，幕張，2014 年 10 月
 - 1 8) 長谷川尚哉，佐々木会，坂上 宏，安達一典，須田直人：歯の移動に伴う疼痛の評価モデル。第 8 回三叉神経感覚－運動統合機能研究会，長野，2014 年 10 月
 - 1 9) 尾台令奈，日野峻輔，渡部茂，坂上宏，安達一典：睡眠時の刺激応答性変化に関わるグリシン受容体機構の検討。第 8 回三叉神経領域の感覚－運動統合機構研究会，長野，2014 年 10 月
 - 2 0) Tajima M, Sakagami H: Aspartic acid suppresses the bisphosphonate-induced damage of osteoblastic cells. 第 88 回日本薬理学会年会，名古屋，2015.3
 - 2 1) Ohkoshi E, Umemura N and Sakagami H: Baicalein, a major ingredient of herbal medicines, induced inadequate expression of CD44 that attenuated apoptotic response at G2/M phase in human head and neck squamous cell carcinoma. 第 88 回日本薬理学会年会，名古屋，2015 年 3 月
 - 2 2) Sakagami H, Shimada C, Kanda Y, Amano O, Sugimoto M, Takao K and Sugita Y: Metabolic profiling of 3-styrylchromone-induced cytotoxicity in an oral squamous cell carcinoma cell line. 第 88 回日本薬理学会年会，名古屋，2015 年 3 月
 - 2 3) 黒田明平，石原舞，米山由里香，梅村直己，坂上宏，三巻祥浩：Thevetia neriifolia 種子のカルデノリド配糖体と腫瘍細胞毒性 (1)。日本薬学会発第 135 年会，神戸，2015 年 3 月
 - 2 4) 木村優里子，青山弘枝，下津祐樹，黒田照夫，坂上宏，波多野力：ハンカチノキの成分 (その 1)。日本薬学会発第 135 年会，神戸，2015 年 3 月
 - 2 5) 松島玄明，新井由香，今泉俊介，鈴木龍一郎，坂上宏，佐藤和恵，金本大成，寺久保繁美，中島秀喜，白瀧義明：口腔疾患に有効な生薬エキス成分の解析。日本薬学会発第 135 年会，神戸，2015 年 3 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上宏：クマザサ葉アルカリ抽出液「ササヘルス」：①3 つの特徴的な生物作用②口腔疾患への応用③配合歯磨剤の開発。緑健会九州合同支部交流会，TKP 博多駅前シティセンター，2014 年 10 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上 宏，植物性食品および生薬中の抗腫瘍物質としての高分子ポリフェノール

- 研究の展開（基盤研究(C)），2013年4月1日～2016年3月31日，研究分担者
- 2) 坂上 宏, コラーゲン代謝物に着目した唾液老化マーカーの開発（挑戦的萌芽研究），2013年4月1日～2015年3月31日，研究代表者
 - 3) 安達 一典, 酸感受性イオンチャネルをターゲットとした歯の移動時の疼痛制御への画期的アプローチ（挑戦的萌芽研究），2012年4月1日～2015年3月31日，研究分担者
 - 4) 安達 一典, In vivo マルチパッチクランプ法による島皮質統合機構の解明（基盤研究(C)），2014年4月1日～2017年3月31日，研究代表者
 - 5) 梅村 直己, 口腔扁平上皮がん幹細胞の治療抵抗性の克服（若手研究(B)），2014年4月1日～2017年3月31日，研究代表者

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

宮田研究奨励金（A）：梅村 直己

- 1) 頭頸部扁平上皮癌の癌幹細胞を標的とした新規治療法の開発

総合臨床歯科学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 村上幸生：判例からみた医療安全. In: 2 章判例事案解説と対応策－保存修復・歯周治療・歯内療法, 小林 馨, 足立 進, 中島 丘 編者. わかば出版, 11-14, 2014 年 10 月
- 2) 村上幸生：判例からみた医療安全. In: 2 章判例事案解説と対応策－補綴, 小林 馨, 足立 進, 中島 丘 編者. わかば出版, 33-35, 2014 年 10 月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 坂上 宏, 新井友理, 久野貴史, 久保英範, 染川正多, 高野頌子, 津島浩憲, 三次義人, 秋田紗世子, 健石雄, 大越絵実加, 田中庄二, 松本 勝, 安井利一, 伊藤一芳, 牧 純, 渡邊康一, 北嶋まどか, 堀内美咲, 賈 俊業, 大泉浩史, 大泉高明: ササヘルス配合歯磨剤の口腔環境改善効果: 口臭と舌細菌数の相関. *New Food Industry*, 56: 27-35, 2014 年 5 月
- 2) 村上幸生, 川田朗史, 片山 直: 明海大学病院における臨床研修歯科医の実態調査. *日本総合歯科学会雑誌*, 6: 42 - 45, 2014 年 6 月
- 3) 関 勇哉, 村上幸生, 川田朗史, 町野 守, 片山 直: コラーゲンジペプチド (Pro-Hyp, Hyp-Gly) によるマウス骨代謝に対する効果. *明海歯学*, 43: 115 - 130, 2014 年 9 月
- 4) 川田朗史, 村上幸生, 岡田典久, 田中庄二, 新居智恵, 町野 守, 片山 直: 明海大学歯学部附属病院口腔診断科ドライマウス外来における過去 4 年間の患者動向調査. *明海歯学*, 43: 148-154, 2014 年 9 月
- 5) Murakami Y, Kawata A, Ito S, Katayama T and Fujisawa S: Inhibitory effects of *p*-cresol and *p*-hydroxy anisole dimers on expression of the cyclooxygenase-2 gene and lipopolysaccharide-stimulated activation of nuclear factor- κ B in RAW264.7 cells. *In vivo*, 28: 719-726, 2014.9

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 大井優一: 旧義歯を参考に新義歯の顎位を改善した総義歯の一症例. 第 32 回日本顎咬合学会, 東京, 2014 年 6 月
- 2) 町野 守, 高松紗耶子, 田村靖子, 村上幸生, 宇津木千鶴, 松田光悦: 類天疱瘡

- の2症例. 第27回日本口腔診断学会, 福岡, 2014年9月
- 3) 田中庄二, 秋田紗世子, 谷口 潔, 片山 直, 荻原 孝, 小口寛子, 渡部 茂, 坂上 宏, 杉本昌弘: 小児および成人の唾液メタボローム解析: 特に、グリシン/プロリン比の変動に注目して. 第56回歯科基礎医学会学術大会総会, 2014年9月
 - 4) 川田朗史: Magnolol と honokiol による *Porphyromonas gingivalis* リポ多糖体刺激 TNF- α 発現の調節作用. 第24回明海歯科医学会, 坂戸, 2014年10月
 - 5) 村上幸生, 片山 直: 明海大学病院における臨床研修歯科医の診療環境と実態調査. 第30回歯科人間工学会, 東京, 2014年10月
 - 6) 丸山直美, 村上幸生, 川田朗史, 大井優一, 片山 直: 口腔管理によって義歯を装着できた肉芽腫性エプーリス患者の1例. 第7回日本総合歯科学会, 大阪, 2014年11月
 - 7) 大井優一, 村上幸生, 川田朗史, 丸山直美, 片山 直: 残存歯をエプーリスと共に抜歯し総義歯にて治療した一症例. 第7回日本総合歯科学会, 大阪, 2014年11月
 - 8) 多田充裕, 藤井規孝, 岡田智雄, 鶴田 潤, 村上幸生: 日本総合歯科学会における「若手症例発表」に対するアンケート調査. 第7回日本総合歯科学会, 大阪, 2014年11月
 - 9) 宇津木千鶴, 片山 直, 町野 守: 当科における周術期口腔機能管理の現状. 第24回日本有病者歯科医療学会, 旭川, 2015年3月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 村上幸生, 川田朗史, 松村正晃, 丸山直美: 明海大学歯学部における共用試験歯学系 OSCE の役割と概要 歯科医学教育ならびに歯科医師育成のための3つのステップ. 財団法人ライフプランニングセンター模擬患者定例研修会, 2014年5月
- 2) 松村正晃, 松村正平: 口腔衛生状態の改善について. 御狩場小学校平成26年度第2回学校保健委員会後援会, 2014年12月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 田中庄二: 唾液中の老化及び歯周病マーカーの探索と実用化. 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金), 基盤研究(C), 2014年4月
- 2) 片山 直: ヒト歯髄幹細胞の造骨性分化を誘導する PI 3-Kinase/Akt シグナルの解析. 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金), 基盤研究(C), 2014年4月

3) 村上幸生：酸化還元感受性転写因子の抗酸化性フェノール関連化合物による調節作用を探る．日本学術振興会科学研究費助成事業（科学研究費補助金），基盤研究（C），2014年4月

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

1) 村上幸生：植物性抗酸化フェノール関連化合物の歯周病原細菌菌体成分刺激による転写因子活性化制御機構を探る．2014年度 宮田研究奨励金【A】2014年4月

歯科放射線学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 奥村泰彦, 高橋伸年, 小澤智宣, 小泉伸秀, 大高祐聖, 井澤真希, 瀬寄雄介, 鈴木 優, 桶田賢次, 芝規良, 鈴木達也, 齊藤嘉大, 岸田尚樹: 2014年度 歯科放射線学実習書, 共書 リュウワ印刷, 埼玉, 1-52, 2014年9月
- 2) 荒木和之, 井川知子, 泉雅浩, 江島堅一郎, 小川匠, 奥村泰彦, 香川豊宏, 河合泰輔, 川股亮太, 末瀬一彦, 原田康雄, 三島章, 山本健, 湯浅賢治: デンタルデンティストリー. 永末書店, 2015年1月
- 3) 川股亮太, 内藤宗孝, 原田康雄, 荒木和之, 佐藤健児, 遠藤 敦, 杉原義人, 奥村康彦: 歯科用コーンビーム CT (CBCT) 評価の標準化項目の提案. 日本歯科医学会, 34: 84-88, 2015年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 大高祐聖, 小泉伸秀, 坂英樹, 木村直人, 桶田賢次, 鈴木達也, 丸山亮, 奥村泰彦: 下顎骨埋伏歯の位置移動に関する画像解析. 歯科放射線, 54(3):22-26, 2014年12月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Sezaki Y, Oketa K, Suzuki T, Takahashi N and Okumura Y : Growth and Development of the Mandibular Canal which used CBCT. 90th European Orthodontics Society(Warszawa, Poland), 2014.6
- 2) Sezaki Y, Saito Y, Suzuki T, Koizumi N, Takahashi N and Okumura Y: Transition of Mandibular Bone which was associated with its Development, IADR General session(Boston, USA) , 2015.3

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) Otaka Y, Saka H, Harata Y, Izawa M, Kishida N, Saito Y and Okumura Y : Investigation of portable X-ray units suitable for victim dental identification. 9th International Symposium on ADVANCES INLEGAL MEDICINE (Fukuoka, Japan) , 2014.6

(3) 一般演題

- 1) 小泉伸秀：2次元超解像画像の画像再構成アルゴリズム開発と回転式パノラマ断層撮影装置への応用，明海歯科医学会第23回学術大会(埼玉)，2014年6月
- 2) 小泉伸秀，瀬寄雄介，桶田賢次，池真樹子，高橋伸年，奥村泰彦：2次元超解像技術を応用した高解像度パノラマエックス線画像．日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京)，2014年6月
- 3) 大高祐聖，坂英樹，原田康雄，井澤真希，芝規良，岸田尚樹，奥村泰彦：ポータブルX線発生装置における安全管理について，第13回警察歯科医会全国大会(徳島)，2014年8月
- 4) 鈴木優，岸田尚樹，齊藤嘉大，小澤智宣，高橋伸年，奥村泰彦：下顎骨の成長・発育に伴う骨梁構造のフラクタル次元解析．日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京)，2014年6月
- 5) 鈴木達也，小泉伸秀，大高祐聖，木村直人，小澤智宣，奥村泰彦：下顎骨の成長発育に伴う下顎管の走行．日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京)，2014年6月
- 6) 大高祐聖，坂英樹，井澤真希，鈴木達也，齊藤嘉大，奥村泰彦：携帯型X線撮影装置の防護について．日本法歯科医学会第8回学術大会(千葉)，2014年5月
- 7) 井澤真希，原田康雄，芝規良，岸田尚樹，齋藤圭輔，大高祐聖，小林育夫，奥村泰彦：光刺激ルミネセンス(OSL)線量計による低線量モード歯科用コーンビームCTの臓器線量測定．NPO法人日本歯科放射線学会第19回臨床画像大会(岡山)，2014年11月
- 8) 原田康雄，井澤真希，境野利江，佐藤健児，西川慶一，奥村泰彦：口内法撮影X線装置の品質管理で遭遇した特異な事例．日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京)，2014年6月
- 9) 大高祐聖，原田康雄，坂英樹，井澤真希，芝規良，奥村泰彦：在宅医療における携帯型口内法X線撮影装置の線量測定，日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京・日本大学松戸歯学部)，2014年6月
- 10) 大高祐聖，坂英樹，原田康雄，鈴木達也，奥村泰彦：歯科用携帯型X線撮影装置の安全使用について．第98次日本法医学会学術全国集会(福岡)，2014年6月
- 11) 池真樹子，堀内悟，田中礼，曾我麻里恵，新垣元基，小山和泉，小澤智宣，高橋伸年，奥村泰彦，林孝文：超音波検査による咽頭気道形態の評価法の検証．日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京)，2014年6月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 井澤真希, 原田康雄, 芝 規良, 岸田尚樹, 齋藤圭輔, 大高祐聖, 小泉伸秀, 高橋伸年, 奥村泰彦: i-CAT FLXの使用経験. 日本歯科放射線学会 第219回関東地方会・第34回北日本地方会・第22回合同地方会(松本), 2014年7月
- 2) 岸田尚樹, 井澤真希, 原田康雄, 小林育夫, 芝規良, 齋藤圭輔, 高橋伸年, 奥村泰彦: コーンビームCT装置KaVo3DeXam+の三次元セファロメトリにおける実効線量. 日本歯科放射線学会第220回関東地方会(東京), 2015年1月
- 3) 井澤真希, 原田康雄, 芝規良, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: 歯科用コーンビームCTの品質管理のための画像性能評価. 日本歯科放射線学会第55回総会・学術大会(東京), 2014年6月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 奥村泰彦: X線の分類分類, 放射線の種類. 日本歯科放射線学会ステップアップ講習会(東京), 2015年3月
- 2) 高橋伸年: エックス線画像の読影. 比企歯科医師会(埼玉), 2014年9月
- 3) 奥村泰彦, 高橋伸年, 大高祐聖, 鈴木優, 瀬寄雄介, 井澤真希: 子ども大学にしているま 「超音波でからだの中をのぞいてみよう!」. テレビさいたま ごごたま(埼玉), 2014年9月
- 4) 奥村泰彦: 歯科放射線の臨床応用. 明海大学歯学部長野県人会(長野), 2014年10月
- 6) 金田隆, 奥村泰彦, 佐藤健児, 西川慶一, 原田康雄, 境野利江, 井澤真希, 高橋伸年, 小澤智宣, 小泉伸秀, 大高祐聖, 瀬崎雄介, 芝規良, 桶田賢次, 鈴木達也: 顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会. NPO 法人日本歯科放射線学会(埼玉), 2015年1月

口腔顎顔面外科学分野(1)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順, 竹島 浩, 龍田恒康, 田村暢章, 田草川 徹, 他: Implant Dentistry Encyclopedia. クインテッセンス出版株式会社, 2014. 年 12 月
- 2) 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順, 他: インプラントデンティストリーエンサイクロペディア. クインテッセンス出版株式会社, 2014 年 11 月
- 3) 井出吉昭, 上野大輔, 小倉 晋, 尾関雅彦, 春日井昇平, 加藤仁夫, 小林真理子, 笹倉裕一, 佐藤淳一, 嶋田 淳, 関根秀志, 高森 等, 田村暢章, 萩原芳幸, 本間慎也, 矢島安朝: 歯学生の口腔インプラント学. 医歯薬出版株式会社, 2014 年 8 月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 藤田昌樹, 大塚雄一郎, 西野広人, 遠藤則和, 三條恵介, 藤本 舞, 吉川秀明, 龍田恒康, 松井成幸, 嶋田 淳, 須田直人: 顔面非対称症例に対する Short Lingual Osteotomy を用いた SSR0 と IVRO の術後成績. 明海歯学誌, 43:140-147, 2014 年 9 月
- 2) 佐野哲文, 立花太陽, 小出明子, 渡邊淳一, 龍田恒康, 佐野正之, 嶋田淳: 上顎前歯部埋伏過剰歯の臨床的検討, 小児歯科学会雑誌 52(4)487-492
- 3) 佐野哲文, 立花太陽, 小出明子, 渡邊淳一, 龍田恒康, 佐野正之, 嶋田 淳 : 上顎前歯部埋伏過剰歯の深度に関する CBCT とパノラマエックス線との比較研究, 小児歯科学会雑誌 53(1)22-26

3. 症例報告

- 1) 田村暢章, 竹島 浩, 菊池建太郎, 後藤英之, 青木竜平, 藤田耕太郎, 川口祥子, 大山洋子, 園川拓哉, 豊田博行, 浦 啓修, 松山博康, 田草川 徹, 龍田恒康, 草間 薫, 嶋田 淳: 下顎骨に発生した正角化性歯原性嚢胞の 1 例. 明海歯学誌, 44:114-118, 2015 年 2 月
- 2) 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳: 片側性特発性舌下神経麻痺の 1 例. 日本口腔診断学会雑誌, 28:44-47, 2015 年 2 月

C. その他の刊行物など

- 1) 龍田恒康: 骨髓炎. 東京新聞, 平成 26 年 9 月 2 日朝刊, 健康欄, 2014 年 9 月

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田村暢章, 竹島 浩, 龍田恒康, 田草川 徹, 森 一将, 嶋田 淳: 2013年度卒前教育での口腔インプラント実習に対するアンケート調査. 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会北九州国際会議場, 2014年7月
- 2) 竹島 浩, 武田順天, 田村暢章, 藤田耕太郎, 嶋田 淳: CTを用いた下顎管を基準とした骨高径・骨幅径についての検討. 第44回 日本口腔インプラント学会・学術大会(東京国際フォーラム), 2014年9月
- 3) 森 一将, 藤原敬子, 菊池建太郎, 草間 薫, 嶋田 淳: Methotrexateに起因したと考えられた難治性舌潰瘍の1例. 第24回(一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2015年3月
- 4) 田草川 徹, 松山博康, 前川雄哉, 田島雅道, 嶋田 淳: Zoledronateの骨芽細胞障害に対するグルタミン酸の防御作用について. 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会(幕張メッセ:千葉県), 2014年10月
- 5) 田草川 徹, 田村暢章, 嶋田 淳: Zoledronateの骨芽細胞障害作用に対する1-34PTH併用の影響. ICOI Study Club Japan 2014年 第1回 関東甲信越支部学術大会(東京医科歯科大学), 2014年3月
- 6) 田草川 徹, 松山博康, 田村暢章, 竹島 浩, 嶋田 淳: インプラント機能後にBRONJを発症し下顎骨区域切除術を行なった1例. 第44回 日本口腔インプラント学会・学術大会(東京国際フォーラム), 2014年9月
- 7) 吉川秀明, 田草川 徹, 園川拓哉, 豊田博行, 浦 啓修, 青木竜平, 大山洋子, 龍田恒康, 佐藤泰則, 嶋田 淳: 下顎枝矢状分割術におけるPiezo Electric Deviceの有用性に関する検討—Bone Saw使用群との比較—第2報. 第24回日本顎変形症学会総会・学術大会(アクロス福岡:福岡), 2014年5月
- 8) 田村暢章, 岩橋由佳子, 池田善彦, 菊池建太郎, 龍田恒康, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳: 下顎前歯部に発生した腺性歯原性嚢胞の1例. 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会(幕張メッセ 国際会議場・国際展示場), 2014年10月
- 9) 藤原敬子, 森 一将, 松山博康, 上杉祐一郎, 菊池建太郎, 田村暢章, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳: 顎下腺原発と考えられたMALTリンパ腫の1例. 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会(幕張メッセ 国際会議場・国際展示場), 2014年10月
- 10) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子GRIM19の発現制御機構. 第56回歯科基礎医学会学術大会・総会, 2014年9月
- 11) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: 口腔癌細胞におけるアポトーシス

制御因子GRIM19の発現制御機構. 第59回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・
学術大会, 2014年10月

- 1 2) 森 一将, 藤原敬子, 菊池建太郎, 草間 薫, 嶋田 淳: 骨髄移植後のGVHD経過中に発症した下唇疣贅扁平上皮癌の1例. 第68回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 2014年5月
- 1 3) 佐野哲文, 森 一将, 龍田恒康, 佐野正之, 嶋田 淳: 小児歯科専門医院における外傷性歯牙脱臼の臨床的検討. 小児歯科専門医院における外傷性歯牙脱臼の臨床的検討. 第4回日本外傷歯学会東日本地方会総会・学術大会, 東京, 2014年4月
- 1 4) 藤原敬子, 森 一将, 小貫裕之, 松本 聡, 鈴木崇夫, 岩橋由佳子, 菊池建太郎, 草間 薫, 嶋田 淳: 上顎歯肉癌術後の口蓋欠損に対し頬脂肪体弁移植術を施行した1例. 第68回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 2014年5月
- 1 5) 田村暢章, 谷口展子, 松山博康, 田草川 徹, 嶋田 淳: 上顎洞内迷入インプラント体摘出と同時に上顎洞底挙上術を行った1例. 第44回日本口腔インプラント学会学術大会(東京国際フォーラム:東京), 2014年9月
- 1 6) 龍田恒康: 歯科治療における合併症 歯科治療時における全身管理(術前・術中・術後の患者管理). 2014年度日本顎咬合学会 basic seminar(東京), 2014年7月
- 1 7) 藤原敬子, 森 一将, 長谷川彰彦, 嶋田 淳: 扁平上皮癌下顎辺縁切除術症例にヘパリンブリッジ法を施行した1例. 第24回(一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2015年3月
- 1 8) 松本聡、小貫裕之、森一将、園川拓哉、大原正太郎、龍田恒康、嶋田淳: 根尖性歯周炎により早期に病的骨折まで至った下顎骨骨髓炎の1例: 第68回NPO法人、日本口腔科学会学術集会, 2014年5月
- 1 9) 佐野 哲文: 上顎正中中部埋伏過剰歯が永久歯の萌出に及ぼす影響について: 明海歯科医学会 第24回学術大会, 2014年10月
- 2 0) 青木 竜平: ラット視床網様核の味覚情報処理におけるフィードバック機構の解明: 明海歯科医学会 第25回学術大会, 2014年12月
- 2 1) 園川 拓哉: 上顎 Lefort I 型骨切り術が頭蓋底に及ぼす力学的影響: 明海歯科医学会 第25回学術大会, 2014年12月
- 2 2) 豊田 博行: 上顎 Lefort I 型骨切り術における翼突上顎縫合分離時の衝撃力が頭蓋に及ぼす影響について: 明海歯科医学会 第25回学術大会, 2014年12月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 龍田恒康: インプラント手術のための全身管理. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム, CE ベーシック(東京都新宿区), 2014年4月
- 2) 龍田恒康: インプラント手術のための全身管理. 明海大学・朝日大学歯学部生涯

研修プログラム, CE ベーシック(東京都新宿区), 2014 年 6 月

- 3) 龍田恒康: 歯科治療と全身管理. 平成 26 年度 PDI 埼玉歯科診療所研修会(埼玉県入間市), 2014 年 6 月
- 4) 龍田恒康: 平成 26 年度本庄児玉郡歯科医師会学術講演(埼玉県本庄市), 2015 年 2 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 田村暢章, 友村明人: 炎症性サイトカインによる破骨細胞性骨吸収に対するカルゲクリンの分子機構の解明. 基盤研究(C). 平成 24~26 年度
- 2) 森一将(代表): 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子 GRIM19 の発現制御機構. 基盤研究(C). 平成 25~27 年度

口腔顎顔面外科学分野(2)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 坂下英明, 井上勝元, 奥結香, 重松久夫, 鈴木正二: CHAPTER2 抜歯器具. In: 抜歯テクニックコンプリートガイド 安全にうまく抜歯するためのさまざまなアプローチ, 坂下英明. クイッテンス出版, 東京, 30-42, 2015年3月
- 2) 坂下英明: CHAPTER3 下顎埋伏智歯. In: 抜歯テクニックコンプリートガイド 安全にうまく抜歯するためのさまざまなアプローチ, 坂下英明. クイッテンス出版, 東京, 44-93, 2015年3月
- 3) 坂下英明: column1-5. In: 抜歯テクニックコンプリートガイド 安全にうまく抜歯するためのさまざまなアプローチ, 坂下英明. クイッテンス出版, 東京, 42, 106, 158, 186, 210, 2015年3月
- 4) 坂下英明: lecture1 新しい抜歯器具. In: 抜歯テクニックコンプリートガイド 安全にうまく抜歯するためのさまざまなアプローチ, 坂下英明. クイッテンス出版, 東京, 40-41, 2015年3月
- 5) 福田正勝, 坂下英明: lecture2 下顎埋伏智歯抜去の「2回法」と「コロネクトミー」. In: 抜歯テクニックコンプリートガイド 安全にうまく抜歯するためのさまざまなアプローチ, 坂下英明. クイッテンス出版, 東京, 94-96, 2015年3月
- 6) 坂下英明, 重松久夫: 治療編 1章 手術総論. In: サクシント 口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東京, 410-417, 2015年3月
- 7) 坂下英明, 鈴木正二: 治療編 1章 手術総論. In: サクシント 口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東京, 426-427, 430-433. 2015年3月
- 8) 坂下英明, 福田正勝: 治療編 3章 その他の治療法. In: サクシント 口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東京, 548-550, 2015年3月
- 9) 坂下英明: 疾患編 1章 先天異常・発育異常 A歯の異常. In: サクシント 口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東京, 4-25, 2015年3月
- 10) 坂下英明, 重松久夫: 疾患編 2章 外傷. In: サクシント 口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東京, 84-87, 2015年3月
- 11) 坂下英明: 疾患編 4章 粘膜疾患. In: サクシント 口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東京, 140-157. 2015

年 3 月

- 1 2) 坂下英明, 田中章夫: 疾患編 6 章 腫瘍・腫瘍類似疾患. In: サクシント
口腔外科学, 内山健志, 大関悟, 近藤壽郎, 坂下英明編. クイッテンス出版, 東
京, 212-313, 2015 年 3 月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Bando Y, Yamamoto M, Sakiyama K, Inoue K, Takizawa S, Owada Y, Iseki S, Kondo H, Amano O: Expression of epidermal fatty acid binding protein (E-FABP) in septoclasts in the growth plate cartilage of mice. *Journal of Molecular Histology* 2014.5
- 2) Shigematsu H, Oku Y, Kawamoto Y, Ohyama Y, Takizawa S, Inoue K, Fukuda M, Suzuki S, Sakashita H: Two-channel endoscopic sinus surgery for postoperative maxillary cyst. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* (26) 317-323 2014.7
- 3) 井上ハルミ, 星野都, 菊池健太郎, 宮崎祐司, 坂下英明, 草間薫: 各種病変における podoplanin 発現とその意義. *明海歯学*, 44:1-8, 2015 年 2 月
- 4) 江口碧, 重松久夫, 勅使河原睦, 清河年彦, 奥結香, 坂下英明: 抜歯中断で当科に紹介された 100 症例に関する臨床的検討. *Hospital Dentistry&Oral-Maxillofacial Surgery*, 26: 41-47, 2014 年 6 月

2. 総説

- 1) 坂下英明, 重松久夫: Epker の下顎枝矢状分割術変法-Short lingual cut 法. *小児口腔外科*, 24: 9-14, 2014 年 6 月

3. 症例報告

- 1) Okada M, Shigematu H, Nakano T and Sakasita H: A Case of Lymphoepithelial Cyst arising in The Parotid Gland. *Hospital Dentistry&Oral-Maxillofacial Surgery*, 26, 49-52. 2014. 6
- 2) 竹内菊子, 今村敏克, 鈴木正二, 長谷川彰彦: 口腔外科患者における底磁場 MRI 検査での鎮静に苦慮した 2 症例. *日本歯科麻酔学会誌*, 42:638-639, 2014 年 6 月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Fukuda M, Takizawa S, Kawamoto Y, Ohyama Y, Inoue K, Suzuki S and Sakashita

H: Expression of MUC1 in human squamous cell carcinoma of the oral cavity. 96th, the American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons' Annual Meeting. in Honolulu, Hawaii, USA. 2014.9

- 2) 真野樹子, 松本美樹, 田中恵理, 時岡一幸, 奥結香, 坂下英明, 須田直人: UCLP 児における初診時鼻上顎複合体の特徴と術前顎矯正の関係. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術大会(札幌), 2014 年 5 月
- 3) 勅使河原睦, 井上勝元, 奥結香, 福田正勝, 重松久夫, 鈴木正二, 坂下英明, 長谷川彰彦, 菊池建太郎, 草間薫: 後期高齢者口腔扁平上皮癌患者の臨床的検討. 第 23 回日本有病者歯科医療学会学術大会(福岡), 2014 年 3 月
- 4) 奥結香, 鈴木正二, 勅使河原睦, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 舌根部正中に発生した異所性粘液嚢胞の 1 例. 第 59 回 日本口腔外科学会総会(千葉), 2014 年 10 月
- 5) Hide Sakasita, Yasuhiko Bando, Koji Sakiyama, Yoshihiro Kawabe, Yuji Owada, Hideaki Sakashita, Osamu Amano: Immunolocalization of E-FABP in Meckel's Cartilage of Mice. 解剖学会(神戸), 2014 年 3 月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 鈴木晴奈, 重松久夫, 奥結香, 菊池健太郎, 草間薫, 坂下英明: 下顎骨中心性癌の 1 例. 第 198 回 日本口腔外科学会関東支部学術集会(神奈川), 2014 年 12 月
- 2) 重松久夫, 坂下英, 平芙蓉子, 星野都, 瀧澤将太, 大山嘉人, 川本幸寛, 井上勝元, 奥結香, 福田正勝, 鈴木正二, 馬越誠之, 岡田宗久, 鈴木円, 宮田勝, 菊池健太郎, 草間薫, 坂下英明: 耳下腺部 space-occupying lesions の 56 症例に関する臨床的検討. 第 48 回 NPO 法人日本口腔科学会関東地方部会(東京), 2014 年 10 月
- 3) 江口碧, 重松久夫, 奥結香, 勅使河原睦, 鈴木正二, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 舌に生じた血栓の 1 例. 第 197 回日本口腔外科学会関東地方会(栃木), 2014 年 6 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂下英明: 口の中にもがんがある -知らないと怖い口の中の病気たち-. 彩の国大学コンソーシアム公開講座. 2014 年 9 月
- 2) 坂下英明: 難抜歯をマスターする -埋伏歯の適切な抜歯方法-. クリニカルステップアップセミナー(東京)2014 年 11 月

歯科麻酔学分野

A. 著書・訳本

2. 訳本

- 1) 小長谷 光：薬理学的基本事項 In:鎮静法ハンドブック:飯島毅彦,上農喜明監訳,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,10-38,2014年10月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Oono Y, Wang K, Baad-Hansen L, Futarmal S, Kohase H, Svensson P, and Arendt-Nielsen L:Conditioned pain modulation in temporomandibular disorders (TMD) pain patients. Exp Brain Res, 232(10):3111-9, 2014.10
- 2) Ogami S, Yamada M, Kanazawa M, Takeda K, Kimura N, Mizutani H, Kohase H and Fukayama H: The effectiveness of a mouth guard to protect against strong occlusion caused by modified electroconvulsive therapy. Traumatol, 30(5): 368-73, 2014.10
- 3) Takeuchi R, Hoshijima H, Doi K, and Nagasaka H: The use of sugammadex in a patient with Kennedy's disease under general anesthesia. Saudi J Anaesth, 8(3):418-20, 2014.7

2. 総説

- 1) 西澤秀哉, 中山英人: 生命を脅かす歯痛. 臨床麻酔, 38(4): 591-597, 2014年4月
- 2) 中島丘: 【問診票で全身疾患が判明したら……ここまで聞いて治療時の危険を回避しよう!】. 歯科衛生士 38(10): 72-80, 2014年10月

3. 症例報告

- 1) 山田守正, 大上沙央理, 堀内隆作, 小林義和, 佐藤公治, 水谷英樹: 口蓋形成術後に気道閉塞をきたした1症例. 臨床麻酔, 38(6):951-952, 2014年6月
- 2) 山田守正, 堀内隆作, 新居憲, 大上沙央理, 小林義和, 水谷英樹: 舌動脈瘤破裂により気道閉塞をきたした1症例. 臨床麻酔, 38(10):1467-1468, 2014年10月
- 3) 大野由夏, 小長谷光, 市川怜那, 田草川裕子, 深山治久: 院内にて心室細動による心肺停止後に蘇生しえた1例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 42(2):208-212, 2014年9月
- 4) 竹内菊子, 今村敏克, 鈴木正二, 長谷川彰彦: 口腔外科患者における低磁場MRI検査での鎮静に苦慮した2症例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 42(5):638-639, 2014

年 10 月

- 5) 竹内梨紗, 星島宏, 堀越雄太, 中村智奈, 岩瀬良範, 長坂浩: レクセルフレーム装着成人にPentax Airwayscope小児用イントロックを使用し気管挿管に成功した1症例. 麻酔, 63 (8): 881-883, 2014年8月
- 6) 小鹿恭太郎, 佐塚祥一郎, 西澤秀哉, 芹田良平, 小坂橋俊哉: 舌部分切除術後の異常出血による舌腫脹から気道閉塞を呈した1症例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (2): 216-217, 2014年4月
- 7) 竹内菊子, 今村敏克, 鈴木正二, 長谷川彰彦: 口腔外科患者における低磁場MRI検査での鎮静に苦慮した2症例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (5): 638-639, 2014年10月
- 8) 大野聖加, 有山淳, 辻田美紀, 上嶋浩順, 今西宏和, 寺尾和久, 三枝勉, 北村晶: PAPA症候群合併妊婦の全身麻酔症例. 麻酔, 63 (8): 921-923, 2014年8月
- 9) 大原大, 野口いづみ, 河原博, 尾崎道郎, 大野聖加, 小林克江, 西部伸一: 口腔悪性腫瘍再建術後の患者に対してデクスメデトミジンをを用いて意識下ファイバースコープ挿管を行った1症例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (5): 644-645, 2014年1月
- 10) 松本勝洋, 宮本智行, 灰田悠, 深山治久: 口蓋裂を伴ったStickler症候群の患児の周術期気道管理に配慮した1症例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (2): 220-221, 2014年4月

C. その他の刊行物など

- 1) 中島丘:【一般臨床医のための歯科小手術スキルアップ】(第I章)小手術のための基礎知識 歯科小手術にあたって必要な書類 問診用紙、かかりつけ医への対診書. 日本歯科評論, 増刊: 26-30, 2014年10月
- 2) 中島丘: 救急蘇生に備えて(Q&A). DENTAL DIAMOND, 39 (7); 101-103, 2014年5月

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Ogami S, Kohase H, Yoshino A, Yamada M and Natsume N : Medical support for children with cleft-lip and/or palate surgery in Vietnam. The forth Workshop of the International Cleft Lip and Palate Foundation, in Ulaanbaatar, Mongolia, 2014.9

(3) 一般演題

- 1) Oono Y, Kohase H, Matsumoto K, Imamura T, Wang K and Arendt-Nielsen L : The

reliability of new pressure algometer in measuring pressure pain threshold in human studies, The 15th World Congress on Pain; International Association study of Pain, Buenos Aires. Argentina, 2014.9

- 2) Atis ES, Wang K, Oono Y, Tatar Y, Arendt-Nielsen L. Exteroceptive reflex parameters for different temperatures application on masseter muscle of healthy human. , The 15th World Congress on Pain; International Association study of Pain, Buenos Aires. Argentina, 2014.9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 今村敏克, 小長谷光: paperChart と医薬品バーコードを利用した手術室薬剤管理. 第 32 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会, 京都, 2014 年 12 月
- 2) 今村敏克: セボフルラン全身麻酔下におけるフェンタニルの血圧と心拍数, および Bispectral index 値, 95% spectral edge frequency に及ぼす影響 -年齢の脳波変動に及ぼす影響-. 明海歯科医学会, 2015 年 1 月
- 3) 脇田亮, 石田譲, 小長谷光, 深山治久: 巨大舌腫瘍患者に対する経鼻ファイバー挿管にデクスメドミジン・レミフェンタニル併用鎮静法が有用であった症例. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会, 新潟, 2014 年 10 月
- 4) 神野成治, 馬場有希子, 水谷文子, 大上沙央理, 深山治久: 口腔保健学科における歯科麻酔科臨床体験実習の教育効果. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014 年 10 月
- 5) 脇田亮, 小長谷光, 阿部桂子, 深山 治久: 高度腎障害と高度肥満を伴う精神遅滞患者の静脈内鎮静法に際し, 超音波エコー併用下に静脈確保した症例. 第 31 回障害者歯科学会総会, 仙台, 2014 年 11 月
- 6) 小長谷光, 大野由夏, 大上沙央理, 脇田亮, 道泰之, 原田清, 島本裕彰, 原田浩之: 磁気センサーを利用した経鼻栄養チューブの留置法. 第 30 回日本経腸栄養学会学術集, 神戸, 2015 年 2 月
- 7) 丸山清孝, 稲田穰, 阪柳敏春, 菊田高行, 桜井真理, 峯岸忠, 原田達也, 白井弘三, 新井嘩子, 戸坂清二, 鈴木朋, 神野成治, 小長谷光, 篠塚修, 深山治久: 同一歯科医師会内の連携で, 全身麻酔下歯科治療を行い初期治療が完結した 2 例. 第 31 回障害者歯科学会総会, 仙台, 2014 年 11 月
- 8) 今村敏克, 内田茂則, 大野聖加, 長谷川彰彦, 長坂浩: 明海大学病院における静脈内鎮静法の現状. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014 年 10 月
- 9) 今村敏克, 長谷川彰彦: 明海大学病院手術室への自動麻酔記録ソフトウェア「paperChart」の導入. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014

年 10 月

- 1 0) 西澤秀哉, 中山英人, 長坂浩: デスフルラン吸入による全身麻酔の導入は可能か? 第 34 回日本臨床麻酔学会, 東京, 2014 年 11 月
- 1 1) 西澤秀哉, 竹内梨紗, 長坂浩: デスフルランを用いて管理した多発性硬化症患者の麻酔経験. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014 年 10 月
- 1 2) 西澤秀哉, 中山英人: デスフルラン吸入による全身麻酔の導入は可能か? 第 11 回麻酔科学サマーセミナー, 名護市, 2014 年 6 月
- 1 3) 星島宏, 水田健太郎, 高橋温: チューブガイド付きビデオ硬性挿管用喉頭鏡が有用であった挿管困難の既往を持つラッセル・シルバー症候群の全身麻酔経験. 第 31 回障害者歯科学会総会, 仙台, 2014 年 11 月
- 1 4) 山本奈央, 水田健太郎, 星島宏, 正木英二: 脊髄性筋萎縮症 III 型患者の全身麻酔経験. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014 年 10 月
- 1 5) 竹内菊子, 木村友美, 林泰葉, 宮迫志織, 高鍋雄亮, 田山道太, 丸岡 豊, 河内正治: Ehlers Danlos Syndrom 疑いのある患者の全身麻酔下での含歯性嚢胞摘出術の 1 例. 第 24 回日本有病者歯科医療学会総会・学術集会, 旭川, 2015 年 3 月
- 1 6) 竹内菊子, 佐藤剛: コントロール不良のてんかん合併患者の全身麻酔下拔牙術の周術期管理経験. 第 31 回障害者歯科学会総会, 仙台, 2014 年 11 月
- 1 7) 竹内菊子, 林泰葉, 五味由季: Ehlers Danlos Syndrome 疑いにて遺伝子解析中の患者の全身麻酔下での含歯性嚢胞摘出術の 1 例. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014 年 10 月
- 1 8) 加藤百合子, 有山淳, 辻田美紀, 寺尾和久, 大野聖加, 北村晶: 軟口蓋癌に対する皮弁再建術後に気道閉塞を生じた 1 症例. 第 34 回日本臨床麻酔学会, 東京, 2014 年 11 月
- 1 9) 大野聖加, 有山淳, 辻田美紀, 小林克江, 関口淳裕, 北村晶: PAPA 症候群を合併した妊婦の全身麻酔経験. 第 34 回日本臨床麻酔学会, 東京, 2014 年 11 月
- 2 0) 大野聖加, 小林克江, 大木良藏, 磨田裕, 北村晶, 長谷川彰彦: 長時間麻酔中に生じた人工鼻の閉塞が原因と考えられる換気不全の 2 症例. 第 42 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014 年 10 月
- 2 1) 小宅宏史, 浅野聖子, 須藤史成, 藤田修平, 安田治男: 217 例で検討した Concentrated Growth Factors の凝固不良に関する研究. 第 44 回日本口腔インプラント学会年次学術集会, 東京, 2014 年 9 月
- 2 2) 安田治男, 大滝祐吉, 宮坂伸, 矢島章秀, 小宅宏史: 自家歯移植の長期経過報告. 第 44 回日本口腔インプラント学会年次学術集会, 東京, 2014 年 9 月
- 2 3) 安田 治男, 安田 佳子, 小宅 宏史, 小宅 麗来, 北爪 昭彦: Eichner の分類 C1 症例に対するインプラント応用 1 次固定と 2 次固定のコンビネーションデンチャーの長期経過報告. 第 44 回日本口腔インプラント学会年次学術集会, 東京, 2014

年 9 月

- 2 4) 柵山泰昭, 末吉正幸, 清水畑倫子, 加藤大樹, 橋本かほる, 外園智唯, 金栗勝仁, 滝田和弘, 広瀬芳之, 市川裕文, 鹿野敏和, 長嶋和浩, 落合俊輔, 田村純治, 今井昭彦, 田村朗, 子安裕之, 古川隆彦, 石川祥一: 当口腔保健センターにおける口腔ケアサポーター養成研修会における試み. 第 31 回障害者歯科学会総会, 仙台, 2014 年 11 月
- 2 5) 高橋正人, 星健太郎, 大谷津幸生, 西部有里沙, 山口智恵, 千葉真紀子, 小山潤: 東関東某市にある中核病院口腔外科における障害児(者)歯科治療の取り組み. 第 31 回障害者歯科学会総会, 仙台, 2014 年 11 月

3. 地方会

(2) シンポジウム

- 1) 外園智唯: 障害者歯科における口腔保健センターの展望(スタッフのスキルアップとリスクマネジメントについて). 第 5 回関東障害者歯科臨床研究会, 埼玉, 2014 年 7 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 今村敏克: ASA Monitored Anesthesia care と歯科麻酔学会静脈内鎮静ガイドラインについて. 埼玉医科大学病院麻酔科臨床研修会埼玉医科大学病院, 2015 年 1 月
- 2) 小長谷光: 歯科麻酔学の過去・現在・未来. 東京医科歯科歯学部同窓会, 東京, 2015 年 3 月
- 3) 今村敏克, 長谷川彰彦: 第 1 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学附属明海大学病院, 2014 年 5 月
- 4) 小長谷光, 大上沙央理, 今村敏克, 長坂浩, 岸田全人: 第 1 回明海大学歯学部 BLS 講習会(救急医学会認定コース). 明海大学歯学部, 2015 年 1 月
- 5) 今村敏克, 大上沙央理, 小長谷光, 岸田全人, 長坂浩: 第 1 回明海大学歯学部 BLS 講習会救急医学会認定コース. 明海大学歯学部, 2015 年 2 月
- 6) 今村敏克, 長谷川彰彦: 第 2 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学附属明海大学病院, 2014 年 6 月
- 7) 今村敏克, 小長谷光: 第 3 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学附属明海大学病院, 2014 年 9 月
- 8) 今村敏克, 小長谷光: 第 4 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学附属明海大学病院, 2014 年 9 月
- 9) 今村敏克, 小長谷光: 第 5 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学附属明海大学病院, 2014 年 10 月
- 10) 今村敏克, 小長谷光: 第 6 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学附属明海大学

病院, 2014 年 11 月

- 11) 今村敏克, 大上沙央理, 小長谷光: 第 7 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学
附属明海大学病院, 2014 年 12 月
- 12) 今村敏克, 大上沙央理, 小長谷光: 第 8 回平成 26 年度院内 BLS 研修. 明海大学付
属明海大学病院, 2015 年 1 月
- 13) 小長谷光: 知って得する歯科医院での救急処置. 平成 26 年度明海大学歯学部病診
連携講演会, 2015 年 3 月
- 14) 大上沙央理: 知って得する静脈内鎮静法. 平成 26 年度明海大学歯学部病診連携講
演会, 2015 年 3 月
- 15) 今村敏克, 大上沙央理, 小長谷光, 岸田全人, 長坂浩: 明海大学歯学部 BLS 講習
会救急医学会認定コース. 明海大学附属明海大学病院, 2015 年 2 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 小長谷 光 (代表) 基盤 (C) 2014 広範囲侵害性調節性機構と慢性痛との
関連 -カテコールアミン神経機構の役割-
- 2) 小長谷光 (分担) 基盤 (B) 臨床体験型コンピュータシミュレーション教材
の標準化と医歯学融合教育での教育効果
- 3) 大野由夏 (代表) 若手 (B) 慢性疼痛患者の疼痛コントロール 痛みのテ
ーラーメード治療を目指して

歯科法医学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Ikari Y, Kinoshita H, Agematsu H, Saka H, Matsunaga S, Ide Y and Abe S :
Three-Dimensional Analysis of Pulp Chambers in Mandibular Second Deciduous
Molars. J Hard Tissue Biology, 23:211-216, 2014.4
- 2) 大高祐聖, 小泉伸秀, 坂 英樹, 木村直人, 桶田賢次, 鈴木達也, 芝 規良, 丸
山 亮, 奥村泰彦: 下顎骨埋伏歯の位置移動に関する画像解析. 歯科放射
線, 54:22-26, 2014年12月

3. 症例報告

- 1) 坂 英樹: サイパン島での戦没者遺骨発掘作業における歯科法医学的見地からの
人種鑑別. 日本歯科医師会雑誌, 67:393-403, 2014年8月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Y.Otaka, H.Saka, Y.Harata, M.Izawa, N.Kishida, Y.Saitou, N.Koizumi, T.Ozawa,
Y.Okumura: On the portable X-ray units suitable for dental identification.
9th international symposium on advances in legal medicine, Fukuoka, 2014.6

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 坂 英樹, 井澤真希, 鈴木達也, 齊藤嘉大, 奥村泰彦: 携帯型X線撮影
装置の防護について. 日本法歯科医学会第8回学術大会, 千葉, 2014年5月
- 2) 大高祐聖, 坂 英樹, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 奥村泰彦: 在宅医療におけ
る携帯型口内法X線撮影装置の線量測定. 日本歯科放射線学会第55回総会・学術大
会, 東京, 2014年6月
- 3) 大高祐聖, 坂 英樹, 原田康雄, 鈴木達也, 小泉伸秀, 小澤智宣, 奥村泰彦: 歯
科用携帯型X線撮影装置の安全使用について. 第98次日本法医学会学術全国集会,
福岡, 2014年6月
- 4) 坂 英樹, 橋本正次, 大高祐聖, 奥村泰彦: サイパン島での戦没者遺骨発掘作業
における歯科法医学および法人類学的見地からの人種鑑別. 第98次日本法医学会
学術全国集会, 福岡, 2014年6月
- 5) 大高祐聖, 坂 英樹, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 岸田尚樹, 奥村泰彦: ポー

ダブルX線発生装置における安全管理について. 第13回警察歯科医会全国大会, 徳島, 2014年8月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹:インプラント治療に必要な解剖学. Dental Implant Seminar スキルアップ 8日間コース, 袋井, 2014年6月
- 2) 坂 英樹:身元確認につながる歯の役割. 2014年度第3回明海大学歯学部オープンキャンパス模擬授業, 坂戸, 2014年7月
- 3) 坂 英樹:海外における大規模災害時の身元確認作業. 第13回身元確認班研修会, 埼玉県歯科医師会, さいたま, 2014年8月
- 4) 坂 英樹:法歯学. 朝日大学第5,6学年特別講義, 瑞穂, 2014年9月
- 5) 坂 英樹:歯からわかるー「この人は誰?」ー. 平成26年度こども大学にしているま【はてな学】, 2014年9月
- 6) 坂 英樹:歯科保健. 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科特別講義, 朝霞, 2014年10月
- 7) 坂 英樹:大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題. 平成26年度栃木県法医談話会研修会, 宇都宮, 2014年11月
- 8) 坂 英樹:インプラント治療に必要な解剖学. 口腔インプラント生涯研修センター第29回口腔インプラントセミナー, 名古屋, 2014年12月

社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

障がい者歯学分野

基礎数学・統計学分野

口腔衛生学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 松本 勝, 石上恵一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信: メディカルチェック・デンタルチェック, III章スポーツのためのデンタルチェック, 要説スポーツ歯科医学, 安井利一編集, 医学情報社, 東京, 33-35, 2015年1月
- 2) 竹下 玲: 「A. 疾病予防の概念」, 4章 疾病予防と健康管理, スタンダード衛生・公衆衛生(第14版), 安井利一, 神原正樹, 荒川浩久 編集, 学健書院, 東京, 43-48, 2015年3月
- 3) 竹下 玲: 「B. 感染症の予防」, 4章 疾病予防と健康管理, スタンダード衛生・公衆衛生(第14版), 安井利一, 神原正樹, 荒川浩久 編集, 学健書院, 東京, 49-61, 2015年3月
- 4) 竹下 玲: 「C. 生活習慣病の予防」, 4章 疾病予防と健康管理, スタンダード衛生・公衆衛生(第14版), 安井利一, 神原正樹, 荒川浩久 編集, 学健書院, 東京, 62-70, 2015年3月
- 5) 竹下 玲: 「D. 健康管理」, 4章 疾病予防と健康管理, スタンダード衛生・公衆衛生(第14版), 安井利一, 神原正樹, 荒川浩久 編集, 学健書院, 東京, 71-75, 2015年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 高橋明子, 清水良昭, 北 邦宏, 仲筋宣子, 小野大地, 滝田裕美, 安井利一: 頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出, 明海歯科医学 43, 34-43, 2014年2月
- 2) 西脇孝彦, 松本 勝, 飯沼光男, 星屋正彦, 永瀬永康, 深井智子, 前田芳信, 石神恵一, 上野俊明, 小出 馨, 松田成俊, 杉山義祥, 阿部義和, 安井利一: ぎふ清流国体・ぎふ清流大会デンタルサポート事業, スポーツ歯学 18(1), 5-12, 2014年8月
- 3) 高橋明子, 清水良昭, 西條光雅, 高野理沙, 小野大地, 滝田裕美, 安井利一: 頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出—食物物性の違いによる差の検出—, 明海歯科医学 44, 92-97, 2015年2月
- 4) 西脇孝彦, 松本 勝, 飯沼光生, 星屋正彦, 廣瀬永康, 深井智子, 前田芳信, 石上恵一, 上野俊明, 小出 馨, 松田成俊, 杉山義祥, 阿部義和, 安井利一: 国民体育大会における指導者および選手に対するマウスガードの調査研究—ぎふ清流国体・ぎふ清流大会デンタルサポート事業から—, スポーツ歯学 18(2), 57-64, 2015年2月

- 5) 吉野仙峰, 安井利一, 前田芳信, 石上恵一, 上野俊明, 小出馨, 松本 勝, 鷹股哲也, 川良美佐雄: 咬合支持の維持・回復と全身の平衡機能および転倒防止に関する文献レビュー2014, スポーツ歯学 18(2), 83-94, 2015年2月
- 6) 安井利一, 前田芳信, 吉野仙峰, 石上恵一, 上野俊明, 松本 勝, 鷹股哲也, 小出 馨, 川良美佐雄: 口腔疾患の治療や口腔機能の維持・回復が全身の健康に与える影響に関するプロジェクト研究 咬合支持の維持・回復は転倒の防止に寄与するか 日本スポーツ歯科医学会が提案したプロジェクト研究の成果から, 日本歯科医学会誌 34, 64-68, 2015年3月

2. 総 説

- 1) 安井利一, 松本 勝: スポーツ歯科医学の最前線, スポーツ歯科医学の目標と展望, 臨床スポーツ医学 31(6), 498-502, 2014年6月
- 2) 安井利一, 前田芳信, 石上恵一, 上野俊明, 小出 馨, 松本 勝, 松田成俊: 2014年度 日本スポーツ歯科医学会が提唱する標準的で適切に製作されたマウスガードのコンセンサス コンセンサス形成の背景とその過程, スポーツ歯学 18(2), 70-71, 2015年2月

C. その他の刊行物

- 1) 末續真弓: 「ジョイント4シンポジウム Work Shop 2014 報告」, 口腔衛生関東地方研究会ニュースレターNo.16, 2014年12月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takahashi A, Shimizu Y and Yasui T: A study on the outline detection method for measuring laryngeal movement -the effect of food texture-, 22nd International Congress for Disability and Oral Health(Berlin, Germany), 2014.10

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 深井智子, 岩崎和子, 竹下 玲, 松本 勝, 東真理子, 三木とみ子, 安井利一: セルフチェック顎関節評価表「あごの健康診断チャート」を用いた自覚症状の学年による比較, 第10回日本健康相談活動学会学術集会, 岡山市, 2014年3月
- 2) 広瀬公治, 大橋明石, 竹下 玲, 安井利一: *Porphyromonas gingivalis*による肺上皮細胞からのLL-37の発現について, 第63回日本口腔衛生学会・総会, 熊本市,

2014年5月

- 3) 深井智子, 高橋明子, 杉陽子, 宮澤慶, 安井利一: セルフチェック顎関節評価表「あごの健康診断チャート」による自覚症状と考慮すべき要因の検討, 第63回日本口腔衛生学会, 熊本市, 2014年5月
- 4) 竹下玲, 広瀬公治, 岡本和彦, 高野安紀子, 末續真弓, 松本勝, 清水良昭, 柴田えり子, 下島孝裕, 大川周治, 安井利一: 骨芽細胞 MC3T3-E1 細胞における TNF- α による単球走化性因子 MCP-1 の発現誘導作用について, 第63回日本口腔衛生学会・総会, 熊本市, 2014年5月
- 5) 岡本和彦, 竹下玲, 曾根峰世, 栗原美詠, 下川原忍, 藤澤政紀, 安井利一, 大川周治: 骨芽細胞における TNF- α による単球走化性因子 MCP-1 の発現誘導作用について, 第123回日本補綴歯科学会学術大会, 仙台, 2014年5月
- 6) 宮澤慶, 松本勝, 竹下玲, 深井智子, 高橋明子, 北邦宏, 杉山義祥, 安井利一: 歯科衛生士学校の学生に対するスポーツ歯学の授業に関する調査, 第25回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 大阪, 2014年6月
- 7) 高橋明子: 頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出—摂食・嚥下障害のスクリーニング法開発のための基本的研究—, 第23回明海歯科医学会学術大会, 2014年6月
- 8) 上野俊明, 添島沙夜香, 田中沙織, 豊島由佳子, 高橋敏幸, 近藤尚知, 松本芳郎, 宇都宮幸正, 宮澤慶, 松本勝: ジュニアアスリートの歯科外傷経験とマウスガード使用に関する分析調査, 第25回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 大阪, 2014年6月
- 9) 宮永裕彰, 安藤貴則, 武田友孝, 中禮宏, 宮澤慶, 渡辺愛斗, 町博之, 大野かをる, 高柳博, 植木公一, 村松仁志: 日本スポーツ歯科医学会におけるマウスガード(MG)製作の標準化ワークショップ—WG1: マウスガードの印象・模型製作・デザイナー—, 第25回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 大阪, 2014年6月
- 10) 安井利一, 吉野仙峰, 石上恵一, 上野俊明, 川良美佐雄, 小出馨, 鷹股哲也, 前田芳信, 松本勝: 咬合支持の回復は姿勢の維持と転倒防止に寄与するか?, 第25回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 大阪, 2014年6月
- 11) 西脇孝彦, 松本勝, 飯沼光生, 星屋正彦, 廣瀬永康, 深井智子, 石上恵一, 前田芳信, 上野俊明, 杉山義祥, 阿部義和, 安井利一: ぎふ清流国体・ぎふ清流大会デンタルサポート事業(第3報) メディカルスタッフに対するスポーツ歯科に関するアンケート調査, 第25回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 大阪, 2014年6月
- 12) 田中沙織, 添島沙夜香, 豊島由佳子, 高橋敏幸, 近藤尚知, 松本芳郎, 宇都宮幸正, 宮澤慶, 松本勝, 上野俊明, 川原貴: JOC エリートアカデミー生の歯科

保健状況について，第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会，東京，2014 年 11 月

- 13) 近藤尚知，添島沙夜香，田中沙織，高橋敏幸，上野俊明，松本芳郎，松本 勝，宮澤 慶，宇都宮幸正，川原 貴：マウスガード装着とスポーツ飲料がトップアスリートの齲蝕歯保有状況に及ぼす影響，第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会，東京，2014 年 11 月
- 14) 宮澤 慶，松本 勝，深井智子，安井利一：咬合支持域が身体動揺に及ぼす影響について，第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会，東京，2014 年 11 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 末續真弓：「1 歳 6 か月児のお子さんを持つママ・パパへ，仕上げみがきのポイントについて①」，比企郡（ときがわ町保健センター），2014 年 4 月
- 2) 末續真弓：「1 歳 6 か月児のお子さんを持つママ・パパへ，仕上げみがきのポイントについて②」，比企郡（ときがわ町保健センター），2014 年 6 月
- 3) 高橋明子：「乳歯ってどんな歯？，フッ素のはたらき・楽しい歯みがき」，比企郡（ときがわ町保健センター，よい歯の教室-1），2014 年 7 月
- 4) 末續真弓：「1 歳 6 か月児のお子さんを持つママ・パパへ，仕上げみがきのポイントについて③」，比企郡（ときがわ町保健センター），2014 年 7 月
- 5) 末續真弓：「1 歳 6 か月児のお子さんを持つママ・パパへ，仕上げみがきのポイントについて④」，比企郡（ときがわ町保健センター），2014 年 8 月
- 6) 末續真弓：「1 歳 6 か月児のお子さんを持つママ・パパへ，仕上げみがきのポイントについて⑤」，比企郡（ときがわ町保健センター），2014 年 10 月
- 7) 末續真弓：「むし歯になる条件、母乳はむし歯になりやすいか？年齢ごとの口腔ケアについて」，比企郡（ときがわ町保健センター），よい歯の教室-2，2015 年 3 月
- 8) 竹下 玲：「知っておきたい！歯周病が関わるからだの病気」，練馬区（石神井健康相談所），お口の健康づくり講演会，2015 年 3 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 安井利一(研究代表者)，竹下 玲(分担者)，岡本和彦(分担者)，高野安紀子(分担者)：細胞内に侵入した歯周病原性細菌の病態形成機構とその侵入細菌の除去薬剤の検索，日本学術振興会（文部科学省科学）研究費補助金 基盤研究 (C)，2014 年度
- 2) 岡本和彦(研究代表者)，安井利一(分担者)，竹下 玲(分担者)，高野安紀子(分担者)，藤沢政紀(分担者)：歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科

補綴学における臨床的意義，日本学術振興会（文部科学省科学）研究費補助金 基盤研究（C），2014 年度

- 3) 竹下 玲(研究代表者)，安井利一(分担者)，岡本和彦(分担者)，高野安紀子(分担者)：歯周病原性細菌の細胞内侵入に及ぼす口腔内連鎖球菌の影響，日本学術振興会（文部科学省科学）研究費補助金 基盤研究（C），2014 年度

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 宮澤 慶：宮田研究奨励金(A)，部分的咬合干渉が身体動揺に与える影響について～咬合不良と体の重心の安定性について～. 2014 年度

スポーツ歯学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 松本 勝, 石上恵一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信: メディカルチェック・デンタルチェック, III章スポーツのためのデンタルチェック, 要説スポーツ歯科医学, 安井利一編集, 医学情報社, 東京, 33-35, 2015年1月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 西脇孝彦, 松本 勝, 飯沼光男, 星屋正彦, 廣瀬永康, 深井智子, 前田芳信, 石上恵一, 上野俊明, 小出馨, 松田成俊, 杉山義祥, 阿部義和, 安井利一: ぎふ清流国体・ぎふ清流大会デンタルサポート事業—メディカルスタッフに対するスポーツ歯科に関するアンケート調査—, スポーツ歯学 18(1), 5-12, 2014年8月
- 2) 西脇孝彦, 松本勝, 飯沼光生, 星屋正彦, 廣瀬永康, 深井智子, 前田芳信, 石上恵一, 上野俊明, 小出馨, 松田成俊, 杉山義祥, 阿部義和, 安井利一: 国民体育大会における指導者および選手に対するマウスガードの調査研究—ぎふ清流国体・ぎふ清流大会デンタルサポート事業から—, スポーツ歯学 18(2), 57-64, 2015年2月
- 3) 吉野 仙峰, 安井 利一, 前田 芳信, 石上 恵一, 上野 俊明, 小出 馨, 松本 勝, 鷹股 哲也, 川良 美佐雄: 咬合支持の維持・回復と全身の平衡機能および転倒防止に関する文献レビュー2014, スポーツ歯学 18(2), 83-94, 2015年2月
- 4) 安井利一, 前田芳信, 吉野仙峰, 石上恵一, 上野俊明, 松本 勝, 鷹股哲也, 小出馨, 川良美佐雄: 口腔疾患の治療や口腔機能の維持・回復が全身の健康に与える影響に関するプロジェクト研究—咬合支持の維持・回復は転倒の防止に寄与するか—日本スポーツ歯科医学会が提案したプロジェクト研究の成果から, 日本歯科医学会誌 34, 64-68, 2015年3月

2. 総説

- 1) 安井 利一, 松本 勝: 【スポーツ歯科医学の最前線】 スポーツ歯科医学の目標と展望, 臨床スポーツ医学 31(6), 498-502, 2014年6月
- 2) 安井利一, 前田芳信, 石上恵一, 上野俊明, 小出 馨, 松本 勝, 松田成俊: 2014年度 日本スポーツ歯科医学会が提唱する標準的で適切に製作されたマウスガードのコンセンサス—コンセンサス形成の背景とその過程—, スポーツ歯学 18(2), 70-71, 2015年2月

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

松本 勝：アスリーートの歯・口と顎顔面を守るために スポーツ環境とう蝕・酸蝕症リスク，第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会，東京，2014 年 11 月

(3) 一般演題

- 1) 深井智子，岩崎和子，竹下玲，松本 勝，東真理子，三木とみ子，安井利一：セルフチェック顎関節評価表「あごの健康診断チャート」を用いた自覚症状の学年による比較，第 10 回日本健康相談活動学会学術集会，岡山市，2014 年 3 月
- 2) 竹下玲，広瀬公治，岡本和彦，高野安紀子，末續真弓，松本 勝，清水良昭，柴田えり子，下島孝裕，大川周治，安井利一：骨芽細胞 MC3T3-E1 細胞における TNF- α による単球走化性因子 MCP-1 の発現誘導作用について，第 63 回日本口腔衛生学会・総会，熊本市，2014 年 5 月
- 3) 上野俊明，添島沙夜香，田中沙織，豊島由佳子，高橋敏幸，近藤尚知，松本芳郎，宇都宮幸正，宮澤 慶，松本 勝：ジュニアアスリーートの歯科外傷経験とマウスガード使用に関する分析調査，第 25 回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大阪，2014 年 6 月
- 4) 宮澤 慶，松本 勝，竹下 玲，深井智子，高橋明子，北 邦宏，杉山義祥，安井利一：歯科衛生士学校の学生に対するスポーツ歯学の授業に関する調査，第 25 回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大阪，2014 年 6 月
- 5) 安井利一，吉野仙峰，石上恵一，上野俊明，川良美佐雄，小出 馨，鷹股哲也，前田芳信，松本 勝：咬合支持の回復は姿勢の維持と転倒防止に寄与するか？，第 25 回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大阪，2014 年 6 月
- 6) 宮永裕彰，安藤貴則，武田友孝，中禮 宏，宮澤 慶，渡辺愛斗，町 博之，大野かをる，高柳 博，植木公一，村松仁志：日本スポーツ歯科医学会におけるマウスガード(MG)製作の標準化ワークショップ -WG1：マウスガードの印象・模型製作・デザイナー，第 25 回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大阪，2014 年 6 月
- 7) 西脇孝彦，松本 勝，飯沼光生，星屋正彦，廣瀬永康，深井智子，石上恵一，前田芳信，上野俊明，杉山義祥，阿部義和，安井利一：ぎふ清流国体・ぎふ清流大会デンタルサポート事業(第 3 報) メディカルスタッフに対するスポーツ歯科に関するアンケート調査，第 25 回日本スポーツ歯科医学会学術大会，大阪，2014 年 6 月
- 8) 田中沙織，添島沙夜香，豊島由佳子，高橋敏幸，近藤尚知，松本芳郎，宇都宮幸正，宮澤 慶，松本 勝，上野俊明，川原 貴：JOC エリートアカデミー生の歯科保健状況について，第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会，東京，2014

年 11 月

- 9) 近藤尚知, 添島沙夜香, 田中沙織, 高橋敏幸, 上野俊明, 松本芳郎, 松本 勝, 宮澤 慶, 宇都宮幸正, 川原 貴: マウスガード装着とスポーツ飲料がトップアスリーの齲蝕歯保有状況に及ぼす影響, 第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 2014 年 11 月
- 10) 宮澤 慶, 松本 勝, 深井智子, 安井利一: 咬合支持域が身体動揺に及ぼす影響について, 第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 2014 年 11 月

障がい者歯科学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 牧野兼三：4 小児の摂食嚥下，栃木県 摂食・嚥下指導マニュアル，植原雅章，小林克則，星 雅朗，大島基嗣，渋谷光子，牧野兼三 編集，栃木県保健福祉部健康増進課，栃木，33-35，2015年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 高橋明子，清水良昭，北 邦宏，仲筋宣子，小野大地，滝田裕美，安井利一：頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出，明海歯科医学 43，34-43，2014年2月
- 2) 高橋明子，清水良昭，西條光雅，高野理沙，小野大地，滝田裕美，安井利一：頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出-食物物性の違いによる差の検出-，明海歯科医学 44，92-97，2015年2月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takahashi A, Shimizu Y and Yasui T: A study on the outline detection method for measuring laryngeal movement-the effect of food texture-. 22nd International Congress for Disability and Oral Health(Berlin, Germany), 2014年10月

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 若林竹彦，牧野兼三：診療時の保護者同席についてのアンケート調査(第2報) 親の意識調査，第31回障害者歯科学会学術大会，仙台市，2014年11月

3. 地方会

(2) シンポジウム

- 1) 牧野兼三，重枝昭広，高野宏二，牧野兼三，外園智唯，三浦 誠，間宮秀樹：障害者歯科における口腔保健センターの展望，第5回 関東障害者歯科臨床研究会，さいたま市，2014年7月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Furuya T and Hayami T : Hochschild cohomology ring of a cluster-tilted algebra of type D_4 , "SUT Journal of Mathematics, 50 (2014), pp439-473.", 2014, 12
- 2) Furuya T : Hochschild cohomology for a class of some self-injective special biserial algebra of rank four, "Journal of Pure and Applied Algebra 219, pp240-254", 2015, 2

2. 総説

- 1) Furuya T and Hayami T : On some finiteness questions about Hochschild cohomology of finite-dimensional algebras, "Proceedings of the 46th Symposium on Ring Theory and Representation Theory, pp28-32", 2014, 3
- 2) 古谷貴彦, 速水孝夫 : Hochschild cohomology and support varieties for finite-dimensional algebras, 第 59 回代数学シンポジウム報告集 (2014) pp21-29, 2015 年 2 月
- 3) Itaba A, Furuya T and Sanada K : On the decomposition of the Hochschild cohomology group of a monomial algebra satisfying a separability condition, "Proceedings of the 47th Symposium on Ring Theory and Representation Theory, pp41-48. Ed. A. Hida, Saitama, Japan", 2015, 2

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 古谷貴彦, 速水孝夫 : ホッホシルトコホモロジーに関するスナシャルの問題について, 日本数学会 2014 年度会, 代数学分科会, 東京, 2014 年 3 月
- 2) Furuya T and Hayami T : Hochschild cohomology and support varieties for finite-dimensional algebras, 第 59 回代数学シンポジウム, 東京, 2014 年 9 月
- 3) Itaba A, Furuya T and Sanada K : On the decomposition of the Hochschild cohomology group of a monomial algebra satisfying a separability condition, 第 47 回環論および表現論シンポジウム, 大阪, 2014 年 9 月
- 4) 板場綾子, 古谷貴彦, 眞田克典 : On the decomposition of the Hochschild cohomology group of a monomial algebra satisfying a separability condition, 日本数学会 2014 年度秋季総合分科会, 広島, 2014 年 9 月

総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

内科学

B. 学術論文

3. 症例報告

- 1) 竹内菊子, 今村敏克, 鈴木正二, 長谷川彰彦: 口腔外科患者における低磁場MRI検査での鎮静に苦慮した2症例. 日本歯科麻酔学会雑誌 42, 638-639, 2014年

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 飯島里子, 長谷川彰彦, 後藤誠一, 古賀紀子: 歯学部学生における臨床実習および卒業試験・国家試験の影響—健康診断結果の検討—. 第52回全国大学保健管理研究集会, 東京, 2014年9月
- 2) 大野聖加, 小林克江, 大木良藏, 磨田裕, 北村晶, 長谷川彰彦: 長時間麻酔中に生じた人工鼻の閉塞が原因と考えられる換気不全の2症例. 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014年10月
- 3) 今村敏克, 内田茂則, 大野聖加, 長谷川彰彦, 長坂浩: 明海大学病院における静脈内鎮静法の現状. 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014年10月
- 4) 今村敏克, 長谷川彰彦: 明海大学病院手術室への自動麻酔記録ソフトウェア「paperChart」の導入. 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 新潟, 2014年10月
- 5) 藤原敬子, 森一将, 長谷川彰彦, 嶋田淳: 扁平上皮癌下顎辺縁切除術症例にヘパリンブリッジ法を施行した1例. 第24回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 旭川, 2015年3月

特別研究室

M P L

M P L

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sekine S, Shimodaira C, Uesawa Y, Kagaya H, Kanda Y, Ishihara M, Asamo O, Sakagami H and Wakabayashi H : Quantitative structure-activity relationship analysis of cytotoxicity and anti-UV activity of 2-aminotropones. *Anticancer Res*, 34: 174-1750, 2014. 4
- 2) Takano T, Urushibara T, Yoshioka N, Saito T, Fukuda M, Tomomura M and Hisanaga S: LMTK1 regulates dendritic formation by regulating movement of Rab11A-positive endosomes. *Mol. Biol. Cell*, 25(11): 1755-1768, 2014. 6
- 3) 坂上宏, 新井友理, 久野貴史, 久保英範, 染川正多, 高野頌子, 津島浩憲, 三次義人, 秋田紗世子, 健石雄, 大越絵実加, 田中庄二, 松本勝, 安井利一, 伊藤一芳, 牧純, 渡邊康一, 北嶋まどか, 堀内美咲, 賈俊業, 大泉浩史: 大泉高明ササヘルズ配合歯磨剤の口腔環境改善効果: 口臭と舌細菌数の相関. *New Food Industry*, 56(6): 27-35, 2014年6月
- 4) Suzuki R, Matsuo S, Sakagami H, Okada Y and Shirataki Y : Search of new cytotoxic crude materials against human oral squamous cell carcinoma using NMR metabolomics. *Anticancer Res*, 34 (8): 4117-4120, 2014. 8
- 5) Mena AA, Sakagami H, Matsuta T, Adachi K, Otsuki S, Nakajima H, Satoh K, Kananoto T, Terakubo S, Nakashima H, Salgado AV and Montiel NM : Cytoprotective effects of *Opuntia Ficus-Indica* extract. *New Food Industry*, 56 (9): 59-69, 2014. 9
- 6) Ohno H, Miyoshi S, Araho D, Kanamoato T, Terakubo S, Nakashima H, Tsuda T, Sunaga K, Amano S, Ohkoshi E, Sakagami H, Satoh K and Yamamoto M : Efficient utilization of licorice root by alkaline extraction. *In Vivo*, 28 (5): 785-794, 2014. 9
- 7) Matsuo Y, Sakagami H and Mimaki Y : A rare type of sesquiterpene and β -santalol derivatives from *Santalum album* and their cytotoxic activities. *Chem Pharm Bull (Tokyo)*, 62(12): 1192-1199, 2014. 12
- 8) Watanabe M, Suzuki R, Tomomura M, Sakagami H, Tomomura A and Shirataki Y: Constituents of the Leaves of *Odontioda Marie Noel* 'Velano' with Inhibitory Activity on RANKL-induced Osteoclast Differentiation. *The Japanese Journal of Pharmacognosy*, 69(1): 20-21, 2015. 1
- 9) Gul HI, Tugrak M and Sakagami H : Synthesis of some acrylophenones with N-methylpiperazine and evaluation of their cytotoxicities. *Enzyme Inhib Med*

Chem, 20: 1-5, 2015.2

- 10) Nakagawa-Goto K, Oda A, Hamel E, Ohkoshi E, Lee KH, Goto M, J Med Chem. Development of a novel class of tubulin inhibitor from desmosdumotin B with a hydroxylated bicyclic B-ring. J Med Chem, 58(5):2378-2389, 2015.3

2. 総説

- 1) Sakagami H : Biological activities and possible dental application of three major groups of polyphenols. J Pharmacol Sci, 126: 92-106, 2014.10
- 2) 坂上宏, 杉本昌弘: 網羅的メタボローム解析を用いた口腔扁平上皮癌細胞死誘導における代謝動態の解析. 口腔組織培養学会誌, 23(2):9-17, 2014年10月

C. その他の刊行物など

- 1) 坂上宏: セレンディピティの種-抗ウイルス剤の開発、ネットワークはふとした出会いから始まる. 機能材料, 34:65-67, 2014年6月
- 2) 坂上宏: 組織の活性化と人材の育成 自主性とコミュニケーションの大切さ. New Food Industry, 56:93-98, 2014年8月
- 3) 友村美根子: セレンディピティの種-巡り合った分子達に導かれて. 機能材料, 34:75-77, 2014年8月
- 4) 坂上宏, 佐藤和恵, 加藤崇雄, 下山哲夫, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 須永克佳, 津田整, 牧純, 吉原正晶: 松の実殻アルカリ抽出液 (SPN) の生物活性と今後の展望. New Food Industry, 57 (1): 19-26, 2015年1月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H and Tomomura A: Rhinacanthin C Inhibits RANKL-induced osteoclast differentiation by suppressing MAPKs/NF-kB/NFATc1 pathways through preventing TRAF6-TAK1 formation. 36th Annual Meeting The American Society for Bone and Mineral Research, Houston, USA, 2014.9
- 2) Tomomura A and Tomomura M: Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, suppresses osteoclastogenesis by regulation for the RANKL-mediated Src family kinase. 36th Annual Meeting The American Society for Bone and Mineral Research, Houston, USA, 2014.9

- 3) Umemura N, Ohkoshi E and Sakagami H: CD44-targeted chemotherapy inhibits tumor recurrence in head and neck squamous cell carcinoma. 19th World Congress on Advances in Oncology and 17th International Symposium on Molecular Medicine, Metropolitan Hotel, Athens, Greece, 2014.10

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 坂上宏, 嶋田智哉子, 石原真理子, 植沢芳広, 加賀谷肇, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 高尾浩一, 杉田義: 3-Styrylchromone 誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析. 第 130 回日本薬理学会関東部会, 東京, 2014 年 7 月
- 2) 渡部美緒, 鈴木龍一郎, 友村美根子, 坂上宏, 友村明人, 白瀧義明: ラン科植物 *Odontioda Marie Noel* 'Velano' 由来フェナンスレン類の破骨細胞分化抑制活性. 第 61 回日本生薬学会, 福岡, 2014 年 9 月
- 3) 坂上宏, 大越絵実加, 加藤崇雄, 下山哲夫, 北嶋まどか, 賈俊業, 大泉高明, 杉本昌弘: クマ笹アルカリ抽出液のヒト歯肉線維芽細胞に対する抗炎症効果の解析. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
- 4) 大越絵実加, 梅村直己, 坂上宏: 頭頸部扁平上皮癌における berberine の Notch-1 のダウンレギュレーション. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月
- 5) 坂上宏, 嶋田智哉子, 神田由未子, 天野修, 杉本昌弘, 高尾浩一, 杉田義昭: (*E*)-3-(4-Hydroxystyryl)-6-methoxy-4*H*-chromen-4-one のヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する選択毒性の解析. 第 131 回日本薬理学会関東部会, 横浜, 2014 年 10 月
- 6) 友村美根子, 鈴木龍一郎, 渡部美緒, 白瀧義明, 坂上宏, 友村明人: リナカンチン C は RANKL による TRAF6-TAK1 複合体形成を阻害し、破骨細胞の分化を抑制する. 第 87 回日本生化学会大会, 京都, 2014 年 10 月
- 7) 友村明人, 長谷川紘也, 田村暢章, 須田直人, 友村美根子: 血清カルシウム降下因子カルデクリンは RANKL による細胞膜ラフト画分の Fyn の活性化を抑制して破骨細胞の分化を抑制する. 第 87 回日本生化学会大会, 京都, 2014 年 10 月
- 8) Sharma G, Cho K, Tsutsumi K, Asada A, Saito T, Tomomura M and Hisanaga S: A role of Lemur Kinase 1A (LMTK1A) in growth cone. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014 年 11 月
- 9) Urushibara T, Takano T, Tsuchiya Y, Saito T, Tomomura M and Hisanaga S: The role of Lemur kinase 1 (LMTK1), a novel neuronal Ser/Thr kinase, in migration and morphology of newborn neurons. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014 年 11 月

- 1 0) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H and Tomomura A: Geranylgeraniol enhances osteoblast differentiation, while it suppresses osteoclast differentiation. 第 37 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014. 11
- 1 1) Sakagami H, Shimada C, Kanda Y, Amano O, Sugimoto M, Takao K and Sugita Y: Metabolic profiling of 3-styrylchromone-induced cytotoxicity in an oral squamous cell carcinoma cell line. 第 88 回日本薬理学会年会, 名古屋, 2015 年 3 月
- 1 2) Ohkoshi E, Umemura N and Sakagami H: Baicalein, a major ingredient of herbal medicines, induced inadequate expression of CD44 that attenuated apoptotic response at G2/M phase in human head and neck squamous cell carcinoma. 第 88 回日本薬理学会年会, 名古屋, 2015 年 3 月
- 1 3) 黒田明平, 石原舞, 米山由里香, 梅村直己, 坂上宏, 三巻祥浩: *Thevetia neriifolia* 種子のカルデノリド配糖体と腫瘍細胞毒性 (1). 日本薬学会発第 135 年会, 神戸, 2015 年 3 月
- 1 4) 木村優里子, 青山弘枝, 下津祐樹, 黒田照夫, 坂上宏, 波多野力: ハンカチノキの成分(その 1). 日本薬学会発第 135 年会, 神戸, 2015 年 3 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上宏: クマザサ葉アルカリ抽出液「ササヘルス」: ①3 つの特徴的な生物作用②口腔疾患への応用③配合歯磨剤の開発. 緑健会九州合同支部交流会, TKP 博多駅前シティセンター, 2014 年 10 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上 宏 (代表) : コラーゲン代謝物に着目した唾液老化マーカーの開発. 挑戦的萌芽研究. 2013-2014
- 2) 坂上 宏 (分担) : 波多野力(代表). 植物性食品および生薬中の抗腫瘍物質としての高分子ポリフェノール研究の展開. 基盤研究 C. 2013-2015
- 3) 友村美根子 (分担) : 友村明人(代表). 破骨細胞の RANKL のシグナルプラットフォーム形成におけるカルデクリンの抑制機構. 基盤研究 C. 2012-2014
- 4) 友村美根子 (代表) : 破骨細胞形成におけるリナカンチン C の抑制作用の分子メカニズム. 基盤研究 C. 2013-2015
- 5) 大越絵実加 (代表) : 口腔癌がん幹細胞の標的治療(抗 CD44 療法)後に誘発される多剤耐性化の解明と克服. 基盤研究 C. 2014-2016

